EPSON

PX-7000/9000

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

4022430-02

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、iMac、PowerBook、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、ColorSync は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、PostScript、AdobeAcrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

簡単なネットワーク共有

Windows からの印刷

Macintosh からの印刷

操作パネルの使い方

オプションと消耗品

困ったときは

付録

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい（操作）を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1] 用語の説明を記載していることを示しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。また、Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 95/98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

掲載している画面について

お使いの機種により表示される画面が異なる場合があります。

簡単なネットワーク共有

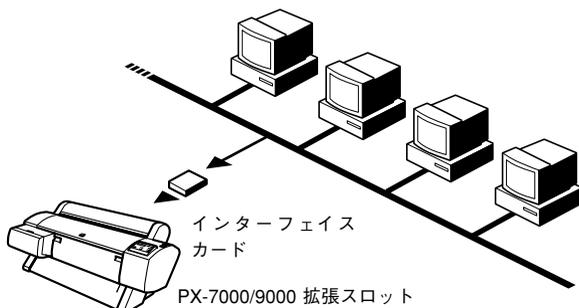
ここでは、ネットワーク環境で本機を共有する手順について説明します。

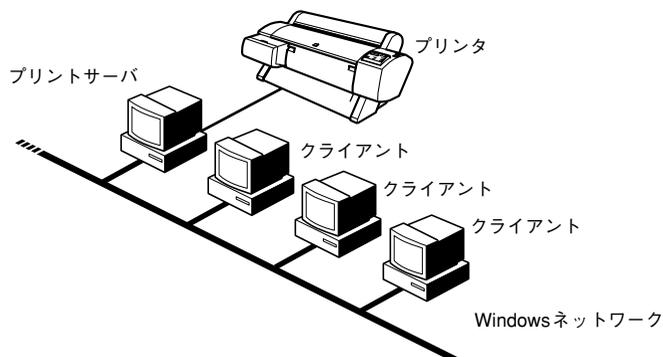
Windows でのプリンタの共有

ネットワーク環境でプリンタを共有する方法について説明します。

ネットワーク接続の形態

本機は、以下の方法によりネットワーク上での共有が可能です。

オプションのインターフェイスカードによる共有

本機の拡張スロットに、オプションのインターフェイスカードを装着することにより、異なるネットワーク環境の混在や特定のネットワーク上で本機を共有することができます。詳細については、オプションのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

ピアトゥピアによる共有

Windows では、コンピュータに直接（ローカル）接続されたプリンタをネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。このようにインターフェイスカードやネットワークサーバーを使用することなくプリンタを共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。ピアトゥピア接続環境の構築については、お使いのコンピュータの取扱説明書または Windows の取扱説明書を参照してください。

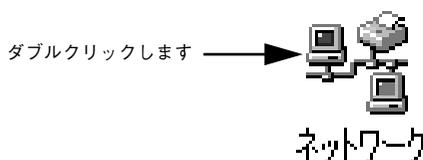
ピアトウピア接続時のプリントサーバの設定

以下の設定方法は、すでに Windows のピアトゥピア環境が構築されていること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバ[*1] の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

*1 サーバ：ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

Windows 95/98/Me の場合

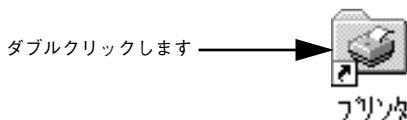
1. 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

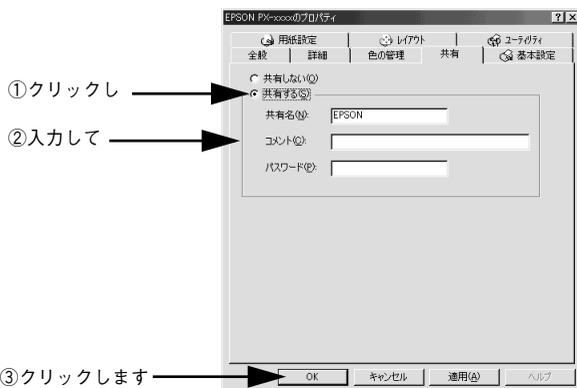
2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

❹ ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

❺ ネットワークの設定画面で［OK］ボタンをクリックします。

- Windows の CD-ROM を要求する画面が表示された場合は Windows の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、❻ の手順から設定してください。

❻ コントロールパネルで［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 ［PX-7000/9000］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］をクリックして、必要に応じて各項目を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  悪い例：PX□7000、PX□9000、PX-7000、PX-9000
  良い例：PX_7000、PX7000、PX_9000、PX9000 など
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタ させる］をチェックしてください
  本書 67 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000 の場合

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

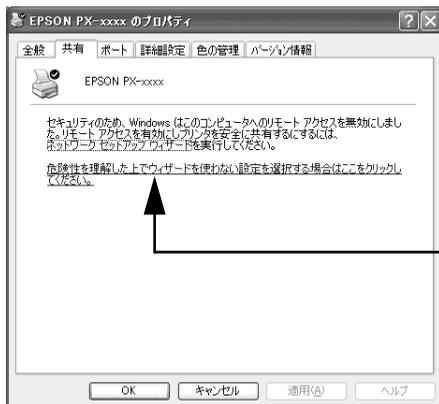
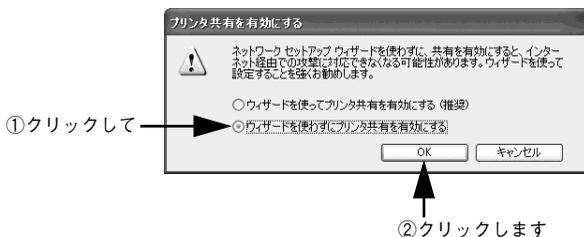
- Windows XP の場合

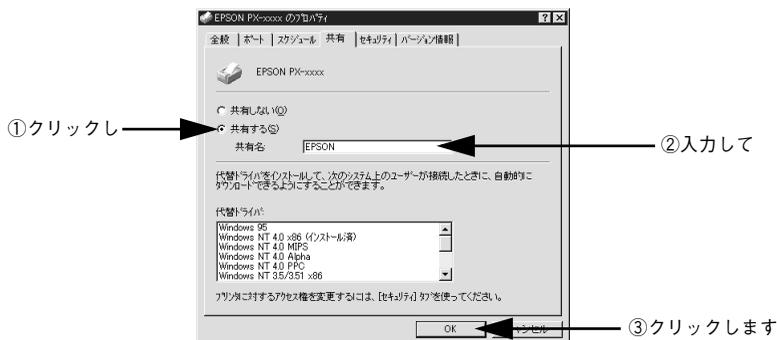
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

2［PX-7000/9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、[危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。]をクリックします。

以下のダイアログが表示されますので［ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。**

Windows XP の場合は、[このプリンタを共有する]を選択して[共有名]を入力します。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  悪い例：PX □ 7000、PX □ 9000、PX-7000、PX-9000
  良い例：PX_7000、PX7000、PX_9000、PX9000 など
- Windows NT4.0 の［代替ドライバ］のリストは選択しないでください。また、Windows 2000/XP の［追加ドライバ］ボタンはクリックしないでください。
- ［セキュリティ］タブをクリックして、ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタ させる］をチェックしてください
  本書 67 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

クライアント側の設定

以下の設定方法は、すでにWindowsのピアトゥピア環境が構築されていること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。ここでは、共有するプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

ポイント

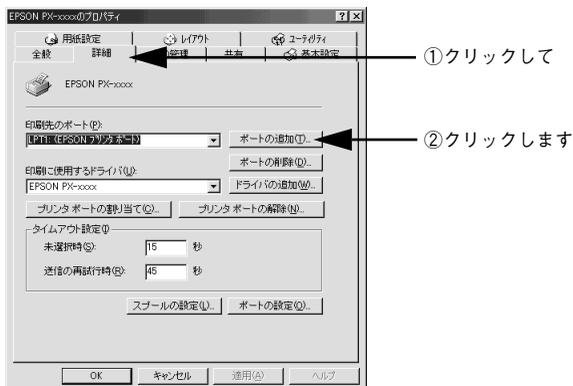
クライアントにまだプリンタドライバがインストールされていない場合は、以下のページを参照して先にインストールしてください。
スタートアップガイド27ページ「ソフトウェアのインストール（Windows）」

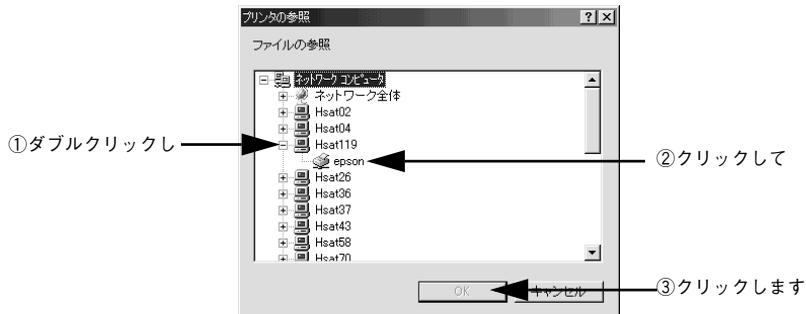
Windows 95/98/Me の場合

1 **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］を開きます。**

画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 **［PX-7000/9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 ［詳細］タブをクリックして、［ポートの追加］ボタンをクリックします。

4 ［ネットワーク］のラジオボタンを選択してから、［参照］ボタンをクリックします。
ご利用の環境のネットワーク構成図が表示されます。

5 共有するPX-7000/9000を接続しているコンピュータをダブルクリックし、［epson］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。
プリントサーバ側の設定で共有名を［epson］以外に設定している場合があります。プリントサーバ側の設定を確認してください。

❻ ［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタへのネットワークパス］の欄に［¥¥共有プリンタを接続しているコンピュータ名（プリントサーバ）¥共有プリンタ名］が入力されます。

❼ ［印刷先のポート］が ❻ で設定されたポートになっていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

以上でクライアント側の設定は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

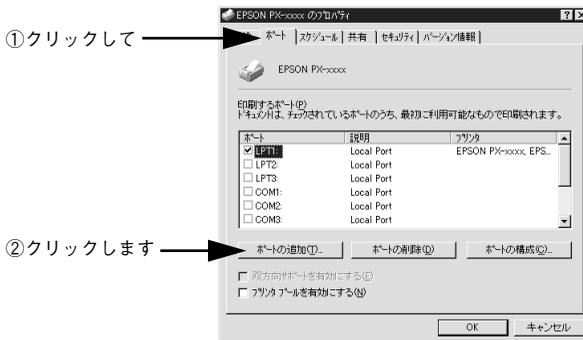
- **Windows XP の場合**

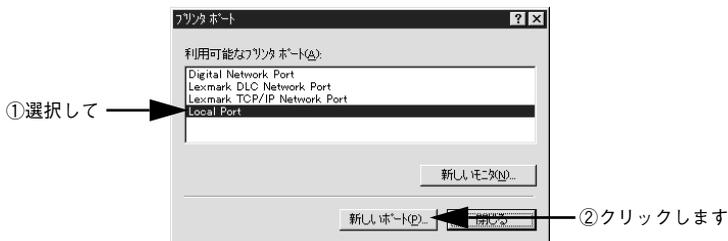
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［PX-7000/9000］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、［ポートの追加］ボタンをクリックします。

下記の画面の表示がされたら、［はい］ボタンをクリックして、次のステップに進んでください。

4 ［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 **プリンタを共有しているコンピュータ名と共有されているプリンタの共有名を、以下の書式で入力し、［OK］ボタンをクリックします。**

すべての文字は半角文字で入力します。書式や名称が正しくないと次のステップに進めません。

¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

コンピュータの名前は以下の方法で確認できます。各コンピュータのアイコンにつけられている名前がコンピュータ名です。

- Windows NT4.0 では［ネットワークコンピュータ］アイコンをダブルクリックして開くとコンピュータ名を確認することができます。
- Windows 2000 では［マイネットワーク］をダブルクリックして開き、さらに［近くのコンピュータ］をダブルクリックして開くと、コンピュータ名を確認することができます。
- Windows XP では［スタート］から［マイネットワーク］を選択して開き、［ネットワークタスク］の［ワークグループのコンピュータを表示する］をクリックします。

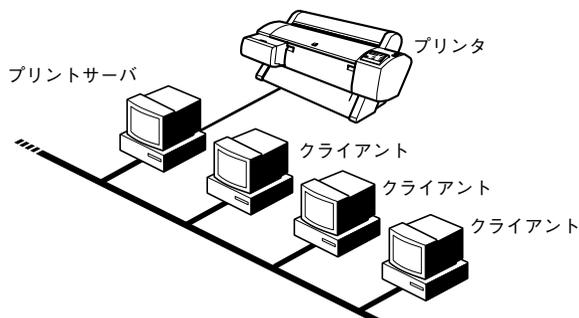
さらに目的のコンピュータ名のアイコンをダブルクリックして開くと、共有プリンタ名を確認することができます。ダブルクリックして開いた画面内のプリンタアイコンにつけられている名称が共有プリンタ名です。

6 ［閉じる］ボタンをクリックします。

7 「印刷するポート」の一覧に設定した名前が表示され、チェックボックスがチェックされていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

以上でクライアント側の設定は終了です。

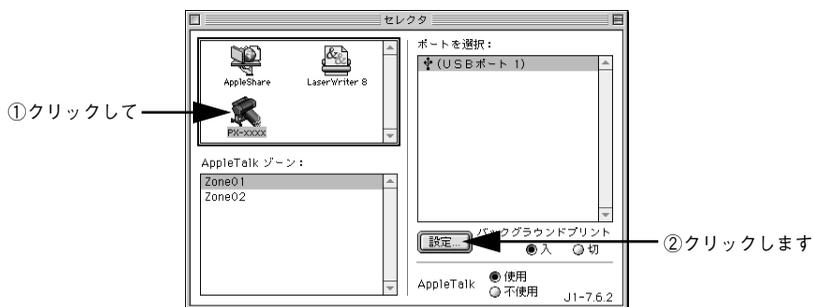
Macintosh でのプリンタの共有

ネットワーク環境でプリンタを共有する方法について説明します。ネットワーク環境が整っている場合は、本機をネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。このように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタを共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。

以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築され、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にある場合です。

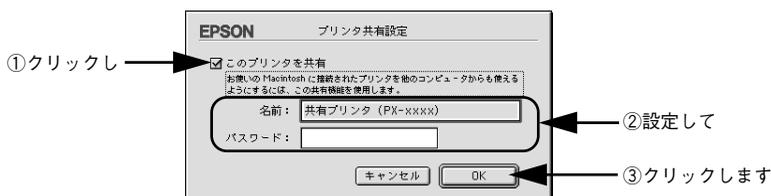
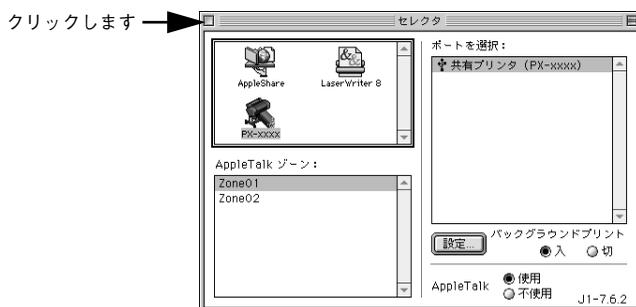
プリントサーバ側の設定

ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバの役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

1 画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。

2 ［PX-7000/9000］アイコンをクリックしてから［設定］ボタンをクリックします。

［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。

3 ［このプリンタを共有］のチェックボックスをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力すると、ほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

クライアント側の設定

以下の設定方法は、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。ここでは、共有するプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

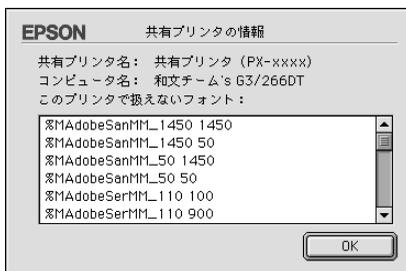
1. 画面左上のアップルメニューから [セレクタ] をクリックして選択します。

2. [PX-7000/9000]アイコンをクリックして、[ポートを選択] の一覧に表示された共有プリンタの名前をクリックして選択します。

- ［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。

3 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

ポイント

セレクタで［情報］ボタンをクリックすると、プリンタを接続しているMacintosh にはインストールされているフォントのうち、お使いの Macintosh にインストールされていないフォントが表示されます。印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。解消するためには、置き換わってしまったフォントをご利用のコンピュータにインストールする必要があります。

Windows からの印刷

ここでは、Windows で印刷する場合の手順や、プリンタドライバの詳細な内容などについて説明します。

印刷の設定と実行

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。ここでは、基本的な印刷の方法について説明します。

ポイント

プリンタドライバの設定画面の開きかたやボタン名は、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 プリンタの準備をします。

- プリンタの電源をオンにします。
- 印刷する用紙をセットします。
  ☞ スタートアップガイド 52 ページ「用紙の取り扱い」
- 用紙に合わせてプリンタの［用紙選択］スイッチで用紙種類を選択します。

2 アプリケーションソフトを起動します。

3 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。

4 各項目を設定します。

［ページ設定］ダイアログで用紙サイズなど必要な項目を設定します。各項目については、ダイアログ右上のヘルプ（?）ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。

<例>「ペイント」の場合

ポイント

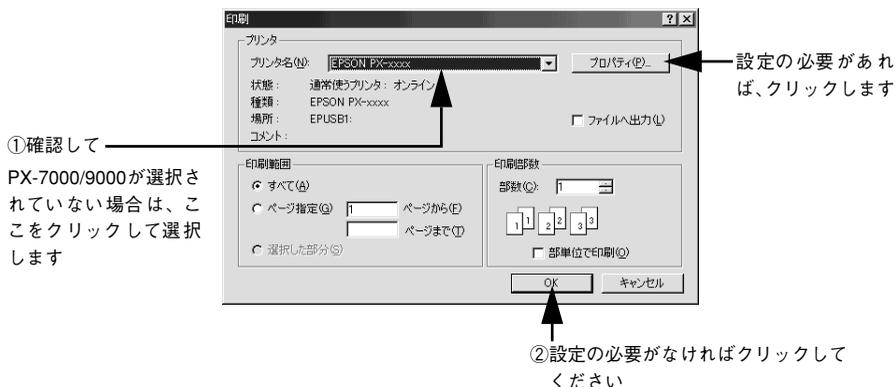
アプリケーションソフトによって、独自の［ページ設定］ダイアログを表示します。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

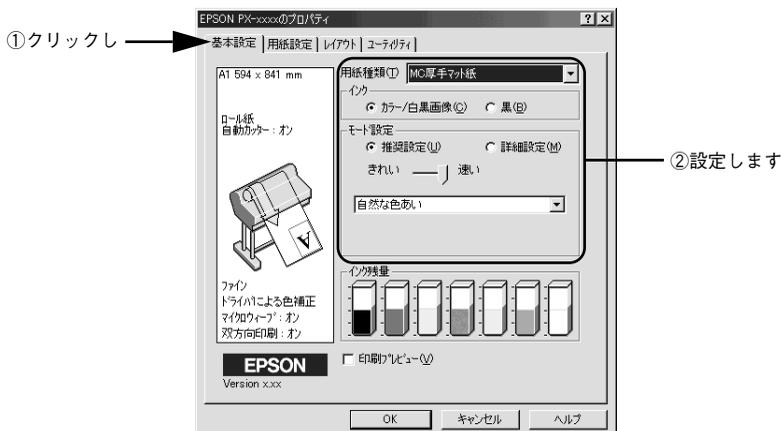
5 ［OK］ボタンをクリックして、［ページ設定］ダイアログを終了します。

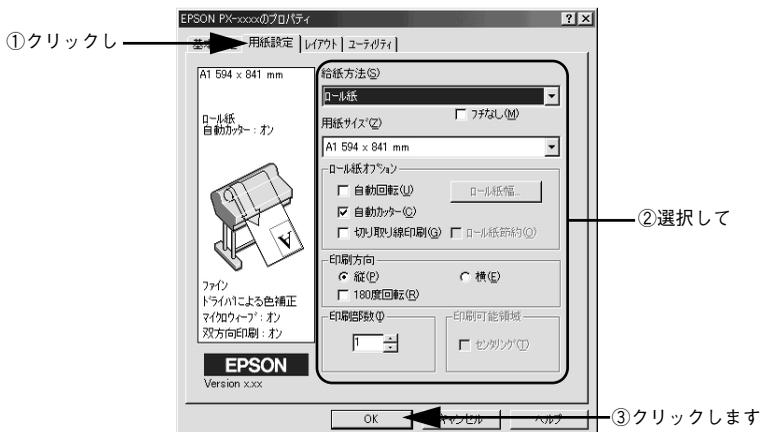
この後、印刷データファイルを作成します。

6 **印刷データファイルを作成したら［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を指定します。**

7 **PX-7000/9000 が選択されていることを確認し、［OK］ボタン（または［印刷］ボタンなど）をクリックして印刷を実行します。**

プリンタドライバを設定する必要があれば、［プロパティ］ボタンをクリックして次に進みます。プリンタドライバの設定画面が表示されます。

［基本設定］ダイアログ

- セットした用紙に合わせて、［用紙種類］を選択します。
- 通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。
本書 41 ページ「基本設定」
- モード設定のプリセットメニューを利用して印刷品質を向上させることもできますが、独自に詳細な設定を登録して利用することもできます。
本書 44 ページ「高度な印刷設定について」

［用紙設定］ダイアログ

- セットした用紙に合わせて、［給紙方法］と［用紙サイズ］を選択します。
- 通常は、印刷する前に［用紙設定］ダイアログの各項目を設定しておくことをお勧めします。詳しくは、以下のページを参照してください。
  本書 53 ページ「用紙設定」

［OK］ボタンをクリックすると、❼ の画面に戻ります。

- ［レイアウト］タブをクリックすると、拡大 / 縮小印刷を設定できます。必要に応じて設定してください。
  本書 60 ページ「レイアウト」
- ［ユーティリティ］タブをクリックすると、本機で使用できるユーティリティソフトを実行できます。必要に応じてご使用ください。
  本書 61 ページ「ユーティリティ」

印刷を実行すると

画面上にプログレスメータ[*1]が表示され（EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている場合）、印刷が始まります。
Windows 95/98/Me の場合は、スプールマネージャ[*2]も同時に起動します。
本書 32 ページ「印刷を実行すると」

*1 プログレスメータ：印刷の進行状況やインク残量などを表示するダイアログボックス。
*2 スプールマネージャ：印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。スプールマネージャが印刷処理を実行するため、印刷中でもコンピュータは別の作業をすることが可能となる。

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタのディスプレイに「インサツカノウ」と表示されたら、印刷は終了です。

ポイント

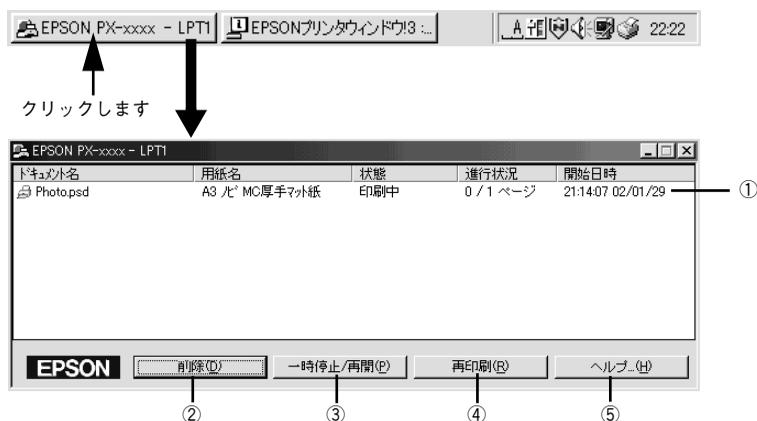
正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。
本書 169 ページ「困ったときは」

印刷を実行すると

印刷を実行するとスプールマネージャ（Windows 95/98/Me）が起動します。EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされていると、プログレスメータが表示されます。

スプールマネージャ（Windows 95/98/Me）

印刷データは、スプールマネージャに蓄えられ、そこからプリンタに出力されます。これによって、印刷実行中も別の作業をすることができます。

印刷を実行すると、タスクバー上に［EPSON PX-7000/9000］ボタンが表示されます。このボタンをクリックするとスプールマネージャが表示されます。

①印刷ジョブ一覧

印刷中のデータの名称、用紙サイズ、状態、進行状況、印刷実行日時が表示されます。

②［削除］

印刷を中止して削除します。削除する印刷データをクリックしてから、このボタンをクリックします。印刷データが選択されていない場合は、一番上の印刷データが削除されます。

③［一時停止 / 再開］

印刷を一時停止 / 再開します。停止する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。

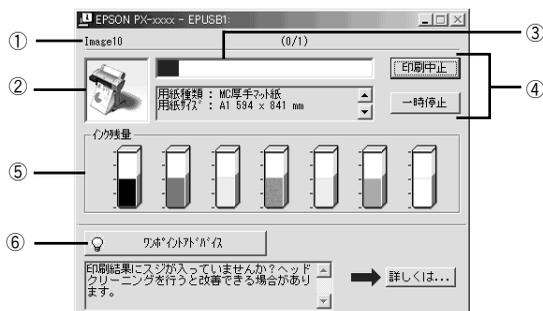
④［再印刷］

現在印刷中のページを再印刷します。

⑤［ヘルプ］

ヘルプ情報を表示します。このボタンをクリックするとスプールマネージャの詳細を参照できます。

プログレスメータ

EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている場合は、印刷を実行するとプログレスメータが表示されます。プログレスメータは印刷の進行状況（コンピュータの処理状況）を表示するダイアログです。

①印刷データ情報

印刷しているファイルの名称と出力ページ数および印刷中のページを表示します。

②状態表示

アイコンによって現在の状態を表示します。

③進行状況

印刷の進行状況（コンピュータの処理状況）をグラフィックで表示します。

④印刷制御ボタン

印刷を制御するボタンです。

[印刷中止]	印刷を中止して削除します。
[一時停止]	印刷を一時停止します。クリックすると、[印刷再開]に変わります。
[印刷再開]	印刷を再開します。

⑤インク残量

インク残量の目安を表示します。

☞ 本書 66 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

⑥［ワンポイントアドバイス］

プリンタを使用する上でのポイントとなるアドバイス情報の表示/非表示を切り替えます。[詳しくは] ボタンをクリックすると、操作方法などのさらに詳しい情報が表示されます。

ポイント

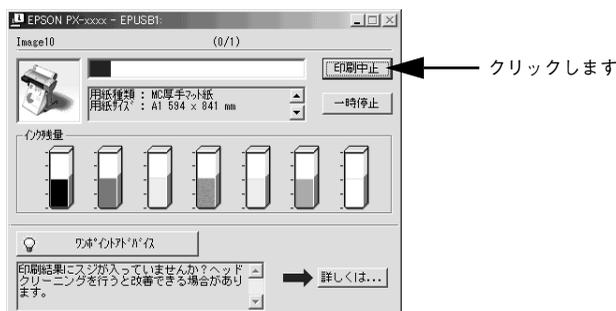
プログレスメータは、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていないと表示されません。

☞本書 64 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3」

印刷の中止方法

印刷を中止する方法を説明します。

プログレスメータでの中止方法

1 **プログレスメータの［印刷中止］ボタンをクリックします。**

プログレスメータが表示されていないときは

プログレスメータが表示されていないときは、以下の手順で中止してください。

Windows 95/98/Me の場合

1 **プリンタの電源をオフにします。**

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。印刷中の用紙は以下の処理がされます。

用紙種類の選択	処理
ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
ロール紙カッター OFF	手動カット位置まで、用紙サイズ分紙送りします。オプションのマニュアルカッターユニットを使ってロール紙から用紙を切り離してください。パネル設定モードで［キリトリセン］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。
単票紙	排紙されます。

ポイント

プリンタの電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの電源をオフにしてください。

2 ［キャンセル］ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。

［キャンセル］ボタンをクリックした後に、以下の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックし、［削除］ボタンをクリックしてください。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

1 プリンタの電源をオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。印刷中の用紙は以下の処理がされます。

用紙種類の選択	処理
ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
ロール紙カッター OFF	手動カット位置まで、用紙サイズ分紙送りします。オプションのマニュアルカッターユニットを使ってロール紙から用紙を切り離してください。パネル設定モードで［キリトリセン］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。
単票紙	排紙されます。

プリンタの電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの電源をオフにしてください。

2 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタとFAX］を開きます。

- **Windows NT4.0/2000の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

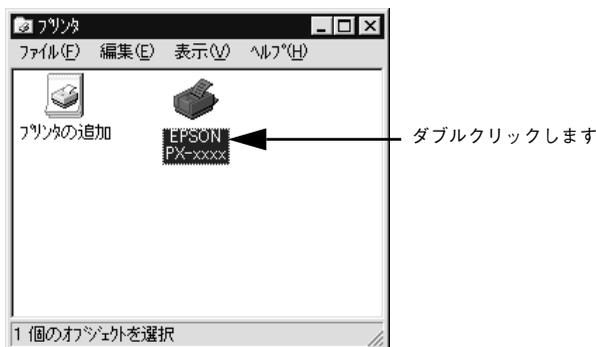
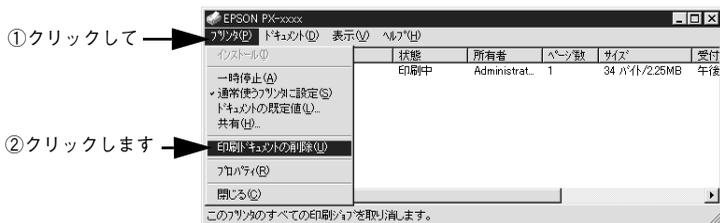
- **Windows XPの場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。

［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、❷へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタとFAX］をクリックします。

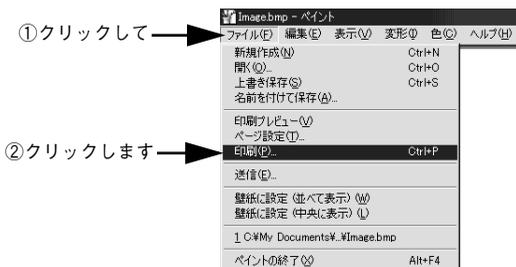
3 ［PX-7000/9000］アイコンをダブルクリックします。

4 ［プリンタ］メニュー内の［印刷ドキュメントの削除］(Windows NT4.0) /［すべてのドキュメントの取り消し］(Windows 2000/XP) をクリックします。

- プリンタへのデータ転送が終了している場合、上記画面に印刷データは表示されません。その場合は、プリンタの電源をオフにするだけで印刷は正常に中止されます。
- 特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

プリンタドライバの設定項目について

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、[ユーティリティ] ダイアログで設定できる項目が一部異なります。異なる点については、該当設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。以下 Windows 98 に添付の「ペイント」の場合を説明します。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。

2 プリンタ名に EPSON PX-7000/9000 が選択されていることを確認して[プロパティ]（Windows XP の場合は［詳細設定]）ボタンをクリックします。

Windows 2000 の「ペイント」のように、[印刷] ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからの開き方

［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

ポイント

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。以下代表的な手順を説明します。

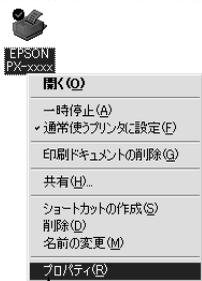
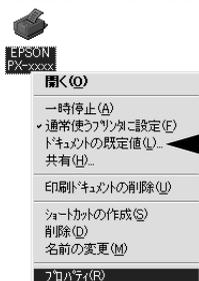
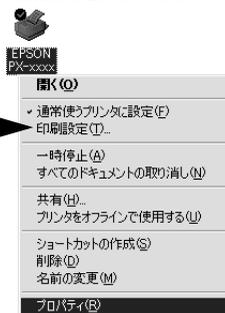
1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

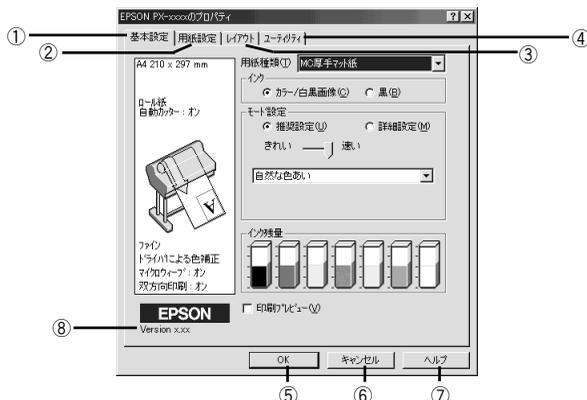
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 **PX-7000/9000 のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］、［ドキュメントの既定値］、または［印刷設定］をクリックします。**

Windows 95/98/Me の場合は［プロパティ］を、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］を、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］をクリックします。

ポイント

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- プリンタドライバの設定値を変更する場合、Windows NT4.0 では Power Users 以上の権限で［ドキュメントの既定値］を選択してください。Windows 2000/XP の場合は、Users（制限ユーザー）以上の権限（アカウント）で［印刷設定］を選択してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタの共有を設定したりポートの接続設定を変更するなど、プリンタの一部機能設定を行うには［プロパティ］を選択する必要があります。機能や設定については、Windows のヘルプを参照してください。

プリンタドライバの設定概略

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。

①[基本設定]

用紙種類、カラー / 黒印刷の選択、印刷モードの設定など、印刷に関わる基本的な設定を行います。

本書 41 ページ「基本設定」

②[用紙設定]

給紙方法、用紙サイズ、ロール紙のオプション設定、印刷方向、印刷部数、印刷可能領域など、用紙関連の設定を行います。

本書 53 ページ「用紙設定」

③[レイアウト]

拡大 / 縮小印刷を行います。

本書 60 ページ「レイアウト」

④[ユーティリティ]

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動したり、ノズルチェック / ヘッドクリーニング / ギャップ調整を行うなど、プリンタのユーティリティソフトを起動できます。

本書 61 ページ「ユーティリティ」

⑤[OK]

設定の内容を保存して、設定を終了します。

⑥[キャンセル]

設定の変更内容を保存せずに、設定を終了します。

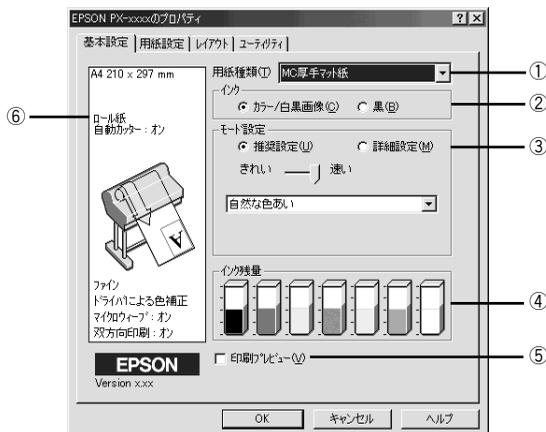
⑦[ヘルプ]

プリンタドライバのヘルプを開きます。

⑧バージョン情報

プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

基本設定

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

②インク

- カラーまたはグレースケール印刷する場合は、［カラー / 白黒画像］を選択します。なお、カラーデータをグレースケール印刷する場合は、アプリケーションソフトでカラーデータをグレースケールデータに変換してから［カラー / 白黒画像］を選択して印刷します。
- モノクロ印刷する場合は、［黒］を選択します。

③モード設定

印刷モードを選択します。選択するモードによって画面が変わります。モードによって設定できる項目については以下のページを参照してください。

本書 42 ページ「［モード設定］での設定項目」

推奨設定	用紙種類、インク、用紙サイズを設定するだけで、自動的に最適な設定で印刷します。
詳細設定	印刷に関する項目を手動で設定できます。

④インク残量

EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている場合に、各色のインク残量の目安を表示します。

本書 66 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

⑤印刷プレビュー

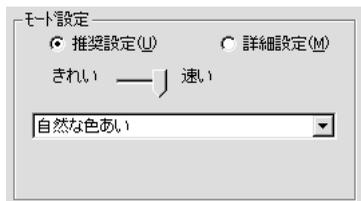
チェックすると、印刷実行時に［印刷プレビュー］ダイアログが表示され、印刷が行われる前に印刷内容を確認することができます。

本書 43 ページ「［印刷プレビュー］ダイアログ」

⑥現在の設定

現在設定されている内容が表示されます。

［モード設定］での設定項目

基本設定画面の［モード設定］での設定項目は次のようになります。

［推奨設定］選択時

［きれい］/［速い］のどちらかを選択します。［用紙種類］によっては、［きれい］/［速い］を選択できないものもあります。

きれい	印刷品質を重視した設定で印刷します。
速い	印刷速度を重視した設定で印刷します。

リストボックスから次の設定を選択できます。

自然な色合い	自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色合い	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。

［詳細設定］選択時

プリセットメニューのリストボックスと、［設定変更］ボタンが表示されます。

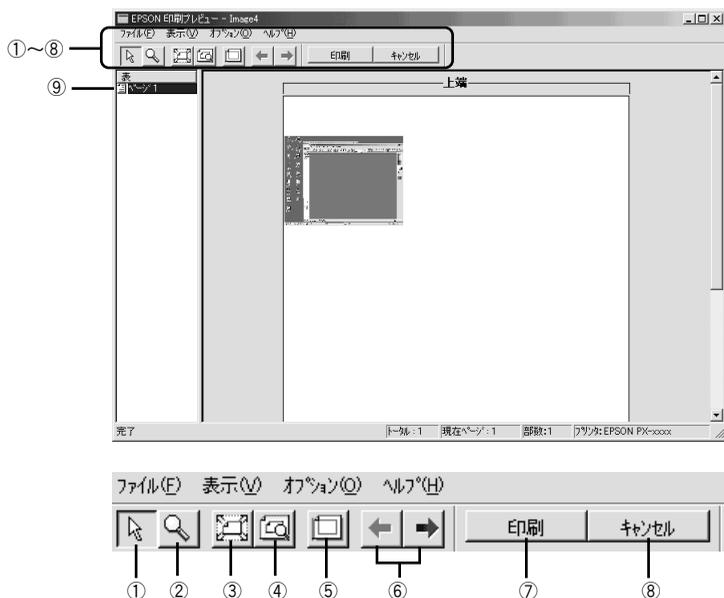
［用紙種類］に応じて、リストボックスから次のいずれかの設定を選択できます。

超高精細	2880 × 1440dpi の解像度で印刷したいときに選択します。
高精細	1440 × 720dpi の解像度で印刷したいときに選択します。
ワープロ / グラフ	ワープロなどで作成したカラーのデータを印刷する場合に選択します。
ICM	Windows のICM（Image Color Maching）を使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。
sRGB	sRGB に対応した機器とカラーマッチングをして印刷します。ICM 同様、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。

［設定変更］ボタンをクリックすると、［手動設定］ダイアログが開き、詳細な印刷設定を行うことができます。

☞ 本書 44 ページ「高度な印刷設定について」

［印刷プレビュー］ダイアログ

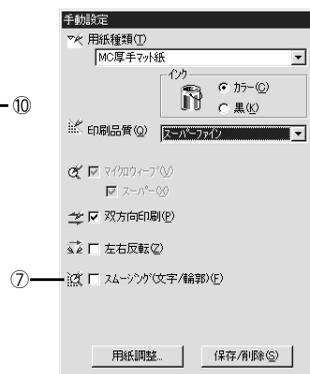
［基本設定］ダイアログの［印刷プレビュー］をチェックすると、印刷を開始する前に次の［印刷プレビュー］ダイアログが表示され、印刷内容を確認することができます。

①		本機では使用できません。
②		表示している画像の拡大 / 縮小表示ができます。拡大する場合は、 ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させマウスをクリックします。縮小したい場合は、マウスの右ボタンをクリックします。
③		画面のサイズいっぱいに拡大して表示します。
④		最大の倍率で拡大して表示します。
⑤		印刷データの余白境界線をグレーのラインで示します。実際の印刷結果には印刷されません。クリックすると表示は消えます。
⑥		表示するページを切り替えます。
⑦	［印刷］	印刷を実行します。
⑧	［キャンセル］	印刷を中止して、［印刷プレビュー］ダイアログ、［印刷］ダイアログともに閉じます。
⑨	ﾍﾟｰｼﾞ 1 ﾍﾟｰｼﾞ 2 ﾍﾟｰｼﾞ 3 ﾍﾟｰｼﾞ 4	印刷するページ / 印刷しないページを切り替えることができます。対象のページをクリックして選択してから、［オプション］メニューをクリックして、「印刷する / しない」を切り替えてください。

高度な印刷設定について

ここでは、高度な印刷設定（手動設定）の設定方法や設定項目について説明します。

［手動設定］ダイアログ

［手動設定］ダイアログは、［基本設定］ダイアログの［詳細設定］モードを選択し、［設定変更］ボタンをクリックして開きます。ここでは、設定項目の詳細について説明します。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ダイアログ内の各項目は、［用紙種類］、［インク］、［印刷品質］の組み合わせで選択できる項目が変わります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

②インク

- カラーまたはグレースケール印刷する場合は、［カラー］を選択します。なお、カラーデータをグレースケール印刷する場合は、アプリケーションソフトでカラーデータをグレースケールデータに変換してから［カラー］を選択して印刷します。
- モノクロ印刷する場合は、［黒］を選択します。

③印刷品質

印刷の品質を、リストボックスの中から選択します。[用紙種類] で選択している用紙によって、リストボックスに表示される項目が異なります。

ドラフト	インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。
ファイン	360dpi の解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。
スーパーファイン	720dpi の解像度で印刷します。印刷時間は少しかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。
フォト	1440dpi の解像度で印刷します。印刷むらのない写真品質の印刷結果が得られます。
スーパーフォト	2880dpi の解像度で印刷します。さらに印刷むらのない写真品質の印刷結果が得られます。

④マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です。

スーパー	行ごとのムラをさらに少なくしたい場合に選択します。ただし、印刷時間が長くなります。

[マイクロウィーブ] と [スーパー] は、[用紙種類] と [印刷品質] の組み合わせによっては選択できない場合があります。

⑤双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質は多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。

⑥左右反転

左右を反転させて印刷する場合は、このチェックボックスをチェックします。

⑦スムージング（文字 / 輪郭）（Windows NT4.0/2000/XP のみ）

チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにして印刷することができます。ただし、印刷時間が多少長くなります。

⑧[用紙調整] ボタン

用紙関連の調整（インク濃度、乾燥時間、用紙送り補正値、用紙厚、吸引力、カット調整）を行います。

本書 49 ページ「[用紙調整] ダイアログ」

⑨[保存 / 削除] ボタン

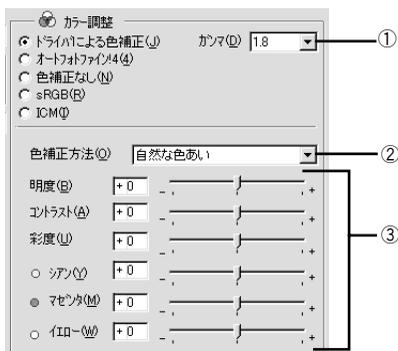
[手動設定] ダイアログの設定を保存したり、削除します。

本書 51 ページ「ユーザー設定の登録方法」

⑩ カラー調整

カラー調整の方法を選択します。[ドライバによる色補正]、[オートフォトファイン !4]を選択した場合、画面の下部で細かい設定を行います。

ドライバによる色補正	画面下部にリストボックスとスライドバーが表示され、色補正に関する設定が行えます。 本書 46 ページ「[ドライバによる色補正]を選択した場合」
オートフォトファイン !4	エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン !4 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。画面下部にオートフォトファイン !4 の設定項目が表示され、色補正に関する設定が行えます。 本書 48 ページ「[オートフォトファイン !4]を選択した場合」
色補正なし	ドライバでは色補正を行いません。ICM 用プロファイル（色補正データ）を作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。
sRGB	sRGB に対応した機器とカラーマッチングをして印刷します。ICM 同様、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。
ICM	Windows の ICM（Image Color Maching）を使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。

[ドライバによる色補正]を選択した場合

[カラー調整]で[ドライバによる色補正]を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

① ガンマ

[ガンマ]は、画像の中間調部分の階調についての入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。[ガンマ]値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整することができます。

1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
1.8	本製品での印刷に合った調整が行われます。
2.2	sRGB に対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合に選択してください。[カラー調整]で[sRGB]を選択した場合と同様の処理を行います。

②色補正方法

自動	文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。
自然な色あい	自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。

[*1] オブジェクト：色補正を行う際に対象となるもの。写真やグラフなどの個々の要素を指す。

③スライドバー

明度	画像全体の明るさを調整します。標準を0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
コントラスト	画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
シアン / マゼンタ / イエロー	それぞれの強さを調整します。標準を0 として、－ 25 ～＋25% の間で調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。

	<－>◄	0	►<＋>
シアン	赤みを強くします。		青緑（シアン）を強くします。
マゼンタ	緑色を強くします。		赤紫（マゼンタ）を強くします。
イエロー	青色を強くします。		黄色（イエロー）を強くします。

［オートフォトファイン !4］を選択した場合

［カラー調整］で［オートフォトファイン !4］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①色調

標準	標準的な色調に補正して印刷します。
硬調	メリハリのある色調に補正して印刷します。
鮮やか	彩度を上げ、あざやかな色調に補正して印刷します。
セピア	印刷データの色を、セピア調の色調になるよう調整して印刷します。
モノクロ	印刷データの色を、白黒になるよう調整して印刷します。
色調補正なし	色調の補正を行いません。

②効果

加える効果の強弱は、［ソフト / ハード］のスライドバーで調整します。

シャープネス	画像の輪郭を強調して印刷します。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真と同様になる補正をして印刷します。
キャンバス	キャンバス地（布地）に描いたような効果を加えて印刷します。
和紙	和紙に描いたような効果を加えて印刷します。
なし	効果を加えずに印刷します。

③デジタルカメラ用補正

チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。

- オートフォトファイン !4 は 1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。
- エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

［用紙調整］ダイアログ

［手動設定］ダイアログで［用紙調整］ボタンをクリックすると、［用紙調整］ダイアログが開いて、用紙関連の以下の設定が行えます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、お使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて［用紙調整］ダイアログで設定してから印刷を行ってください。

パネル設定モードでは、ユーザー用紙を 10 種類まで登録することができます。
セットアップガイド 67 ページ「ユーザー用紙設定の方法」

①インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。

強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、ランニングコストを抑えた試し印刷用にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできます。

②ヘッドパス毎の乾燥時間

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +50）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。

- インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。
- 用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。
- インクの乾燥中に［カット / 排紙］スイッチを押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

③用紙送り補正値

用紙送りの補正値を調整できます。補正値は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0）。単位は 0.01％です。

プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれる場合があります。また、エプソン純正専用紙以外の用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要がある場合があります。これらの場合に、用紙送りを調整してください。

④用紙厚

用紙厚を設定できます。用紙厚は 0.1mm 単位で 0 から 1.5mm までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている［用紙種類］によって異なります）。

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合、その用紙の厚さを正確に設定することができます。

⑤吸引力

用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定できます。用紙の吸引力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（50%）-2（30%）-3（10%）-4（最小 6%）へ動かして設定します（初期値：100%）。

用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしづらかったり、うまく紙送りされないことがあります。このような場合は吸着力を弱めに設定してください。

⑥カット調整

用紙自動カット時のカッターの圧力を 3 段階に設定できます。カット調整は、メニューから［標準］、［薄紙］、［極薄紙］のいずれかを選択して設定します（初期値：標準）。

薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このような場合は用紙厚に合わせて［薄紙］または［極薄紙］に設定してください。

⑦［初期値に戻す］ボタン

［用紙調整］ダイアログの設定値をすべて初期値に戻します。

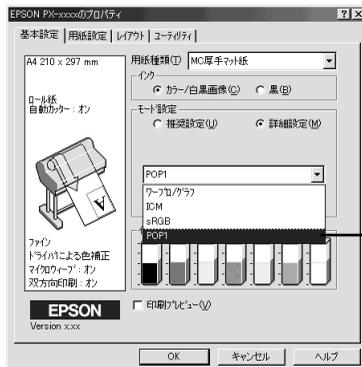
ユーザー設定の登録方法

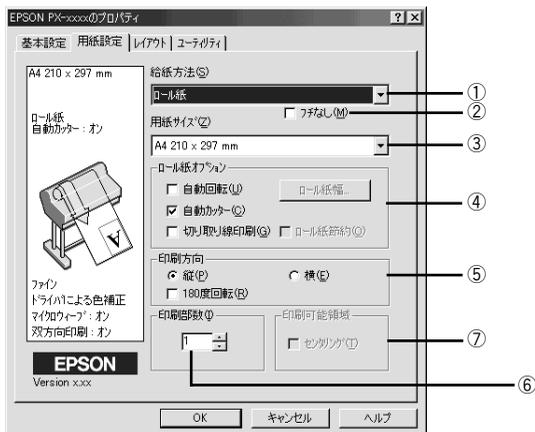
ここでは、［手動設定］ダイアログでの設定を登録する方法、また、以前に登録した設定を削除する方法を説明します。最大登録数は 100 個です。

1 ［手動設定］ダイアログで各項目を設定し、［保存 / 削除］ボタンをクリックします。

2 「設定名」に任意の名称（既存の名称以外の名称）を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

これで［基本設定］ダイアログのメニューに設定が加えられました。

- 設定を削除する場合は、「設定リスト」から削除するリストをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- ここで保存した内容は、［基本設定］ダイアログで［詳細設定］を選択したときに、メニューから呼び出すことができるようになります（プリセットメニューは削除できません）。

用紙設定

プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログでは、使用すると用紙に関わる設定を行います。

①給紙方法

印刷する用紙の種類をリストボックスの中から選択します。

ロール紙（インチ）	ロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙 長尺モード	用紙の上下余白（マージン）を 0mm にして長尺紙として印刷するときに選択します。
単票紙	単票紙に印刷するときに選択します。

②フチなし

余白 0mm で印刷する場合にチェックします。

本書 57 ページ「フチなし印刷」

用紙の種類やサイズによっては、フチなし印刷ができません。詳細は以下を参照してください。

スタートアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

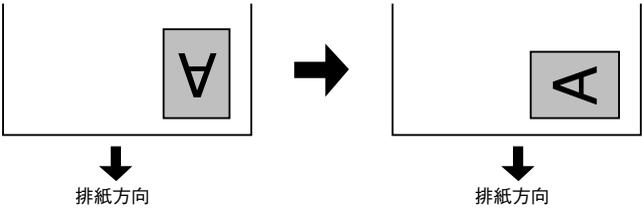
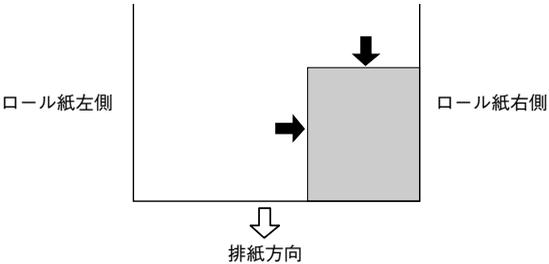
③用紙サイズ

作成した印刷データの用紙サイズをリストボックスの中から選択します。［ユーザー定義サイズ］を選択すると定形外の用紙サイズを登録することができます。

本書 55 ページ「用紙サイズの登録 / 変更」

④ロール紙オプション

［給紙方法］でロール紙を選択すると、ロール紙への印刷方法を設定できます。

自動回転	● 縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に90度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックしてください。 ● 自動回転印刷を行う場合は、［ロール紙幅］ボタンをクリックして、開いた［ロール紙幅］ダイアログでセットしているロール紙の幅を必ず設定してください。 排紙方向　排紙方向 ● ［給紙方法］で［ロール紙長尺モード］を選択した場合は設定できません。
自動カッター	印刷終了後にロール紙を自動的にカットします。
切り取り線印刷	ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。 〈例〉 ロール紙左側　ロール紙右側 排紙方向
ロール紙節約	［給紙方法］で［ロール紙長尺モード］を選択した場合に選択可能になります。印刷データの最後を印刷すると、その位置から数行分、用紙を送り出し、動作を停止します。

⑤印刷方向

印刷データの印刷方向を選択します。

縦	印刷データをそのまま印刷します。
横	印刷データを90度回転して印刷します。
180度回転印刷	印刷データを180度回転し、印刷データの下端から印刷します。

⑥印刷部数

印刷する部数を入力します。最大9999枚まで入力できます。

⑦印刷可能領域

［給紙方法］で［単票紙］を選択した場合に、印刷する領域（位置）を選択します。

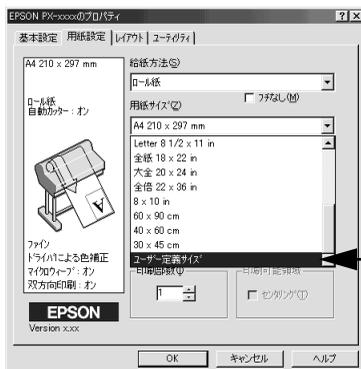
センタリング	上下の余白を14mm、左右の余白を3mmの設定で印刷します。物理的な印刷領域は狭くなります。

用紙サイズの登録 / 変更

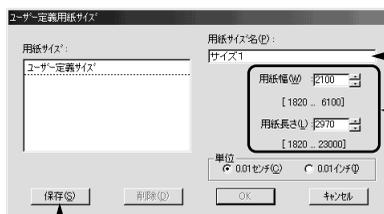
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。最大登録数は 100 個です。

ポイント

プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 ですが、印刷領域サイズとして A4 未満の用紙を登録することが可能です。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。**

- 数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。画面右側の「単位」で選択します。
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

用紙幅	PX-7000：18.20 ～61.00cm（7.17 ～24.02 インチ） PX-9000：18.20 ～111.80cm（7.17 ～ 44.02 インチ）
用紙長さ	PX-7000：18.20 ～230.00cm（7.17 ～ 90.55 インチ） PX-9000：18.20 ～230.00cm（7.17 ～ 90.55 インチ） * Windows NT4.0/2000/XP の場合は、1500.00cm（590.55 インチ）まで

ポイント

- 用紙サイズ名を選択してから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。
- 以前に登録した内容を変更するときは、用紙サイズ名を選択してから設定を変更します。［保存］ボタンをクリックすると上書きするかどうかのダイアログが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］メニューから選択できるようになります。

フチなし印刷

フチなし印刷を行うには、以下の手順でプリンタドライバを設定してください。

- ロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、プリンタドライバの設定（[フチなし] / [自動カッター]）と操作パネルのパネル設定モードの設定（「フチナシセッテイ」）の組み合わせによって、用紙カット動作が異なります。詳細は以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド 74 ページ「フチなし印刷するには」
- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

1 フチなし印刷可能なサイズの紙を用意し、プリンタにセットします。

フチなし印刷可能な幅は以下の通りです。

機種	フチなし印刷可能な幅（左右フチなし印刷）
PX-7000	8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ
PX-9000	8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ

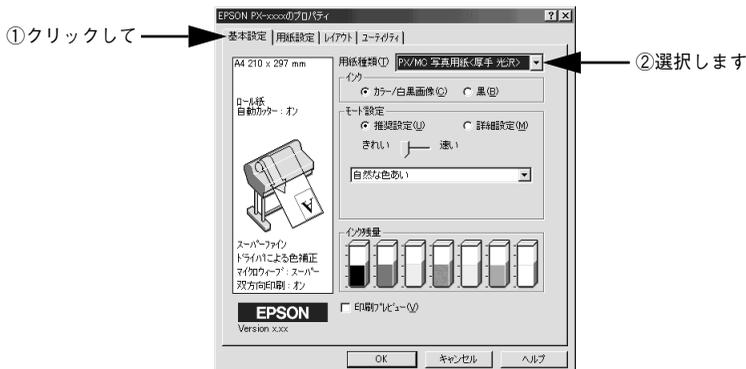
エプソン純正専用紙については、以下のページを参照してください。
スタートアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

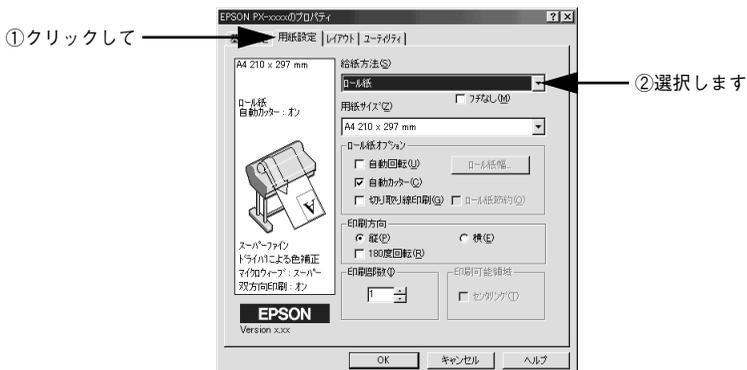
2 アプリケーションソフトの［用紙設定］などで 1 で用意した紙サイズを設定し、紙サイズより大きめに印刷データを作成します。

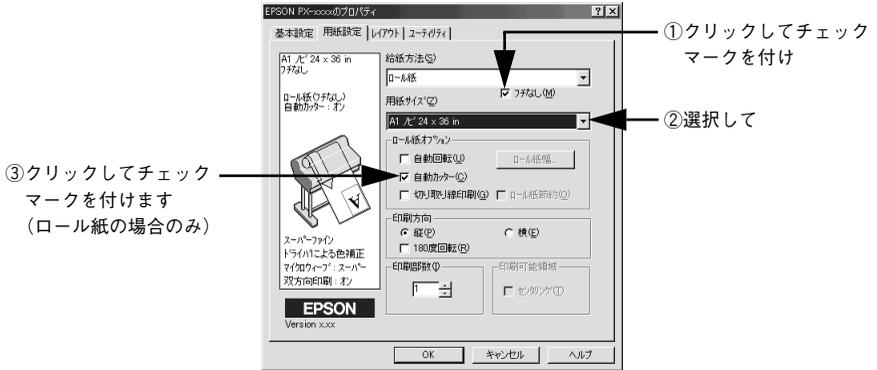
たとえば、紙幅が 210mm なら 216mm 幅の画像データを作成します。紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙種類］を選択します。**

1 でセットした用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を選択します。

スタートアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

4 **プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを開き、［給紙方法］を選択します。**

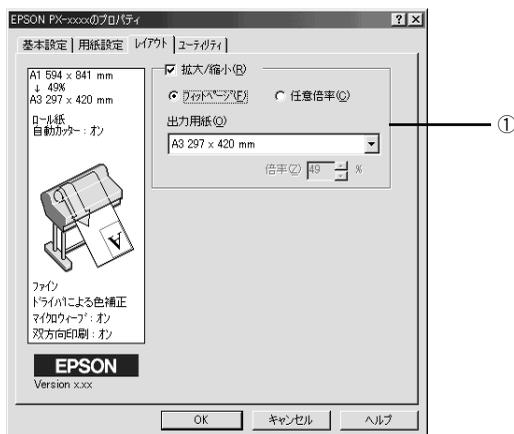
- ロール紙をお使いの場合は、［ロール紙］または［ロール紙　長尺モード］を選択します。
- 単票紙をお使いの場合は、［単票紙］を選択します。

5 ［フチなし］をチェックして［用紙サイズ］を選択し、ロール紙をお使いの場合は［自動カッター］をチェックします。

- ロール紙で四辺フチなし印刷を行う場合は、必ず［自動カッター］をチェックします。
- ロール紙に左右フチなし印刷を行う場合は、［自動カッター］は任意に設定します（各ページは自動でカットするか、手動でカットしてください）。
- 単票紙をお使いの場合は、［自動カッター］は設定しません（選択できません）。

ポイント

- アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。このとき、ロール紙幅より狭い［用紙サイズ］を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。
- ［自動カッター］をオフにして［切り取り線印刷］をオンにしている場合は、すべてのカット位置で自動カットしないで切り取り線を印刷します。

6 ［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じ、印刷を実行します。

レイアウト

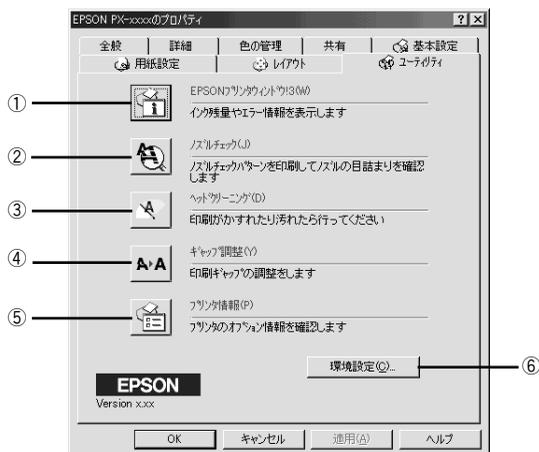
プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

① 拡大 / 縮小

拡大 / 縮小印刷を設定します。拡大 / 縮小印刷を行わない場合は、チェックマークを外してください。

フィットページ	プリンタにセットした用紙を［出力用紙］で設定することで、自動的に倍率を設定し印刷します。
任意倍率	［倍率］ボックスで 10% ～ 650% の倍率を指定して印刷します。

- ［用紙設定］ダイアログで［ロール紙長尺モード］を選択したときは設定できません。
- 拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データに比べ変わることがあります。
- 特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大 / 縮小の設定範囲が変わることがあります。

ユーティリティ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、本機で使用できるユーティリティソフトを実行できます。

①EPSON プリンタウィンドウ !3

プリンタの状態を監視する「EPSON プリンタウィンドウ !3」を起動します。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合は、機能しません。

②ノズルチェック

プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認するパターンを印刷します。

③ヘッドクリーニング

印刷がかすれたり、すき間があくようになったらプリントヘッドをクリーニングします。

④ギャップ調整

双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがぼけたような印刷結果になる場合に調整します。

⑤プリンタ情報

色の再現性を向上させるためにプリンタ ID 情報を取得する場合にクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合は、自動的に取得されるため実行する必要はありません。

⑥環境設定

印刷速度やプログレスメータ表示、EPSON プリンタポートに関する設定をします。このボタンは［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバ設定画面を開いた場合に有効になります。

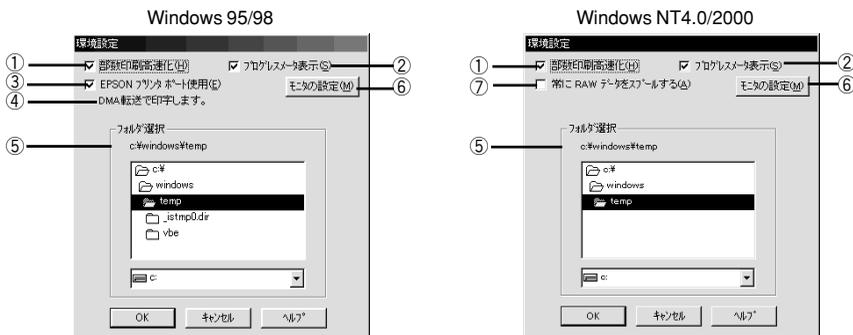
本書 62 ページ「環境設定」

ユーティリティの詳細は以下のページをご覧ください。
本書 69 ページ「ユーティリティの使い方」

環境設定

プリンタドライバの［環境設定］ダイアログでは、プリンタの動作環境を設定できます。

Windows 95/98

Windows NT4.0/2000

［環境設定］ダイアログを開く場合は、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］タブの［環境設定］ボタンをクリックします。
本書 37 ページ「プリンタドライバの設定項目について」

①部数印刷高速化

1 部目の印刷処理データをハードディスクに保存し、2 部目以降は、そのデータを使用することで印刷速度を高速化します。チェックしないとハードディスクの使用量が減ります。通常はチェックして使用してください。

②プログレスメータ表示

印刷実行時に印刷の進行状況を表示します。EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合、機能しません。

③EPSON プリンタポート使用（DOS/V 機の Windows 95/98 のみ）

EPSON プリンタポートドライバを使用して、印刷を高速化します。通常はチェックして使用してください。パラレルケーブル接続時に有効な機能です。

④DMA 転送（DOS/V 機の Windows 95/98 のみ）

DMA 転送の状態を表示します。パラレルケーブル接続時に有効な機能です。
本書 77 ページ「印刷を高速化するには」

⑤フォルダ選択

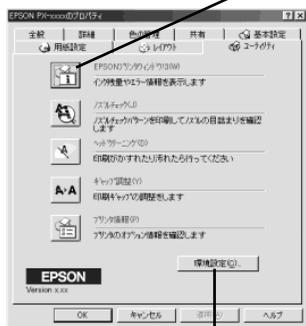
スプールファイルや部数印刷高速化機能を使用する際に、一時的にデータを保存するフォルダを選択できます。通常は、設定の必要はありません。ハードディスクドライブのパーティションが 1 つだけの場合は表示されません。

⑥［モニタの設定］
EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ設定画面を開きます。
本書 67 ページ「モニタの設定」

⑦常に RAW データをスプールする（Windows NT4.0/2000/XP のみ）
チェックすると、アプリケーションによっては高速に印刷できる場合があります。

EPSON プリンタウィンドウ !3

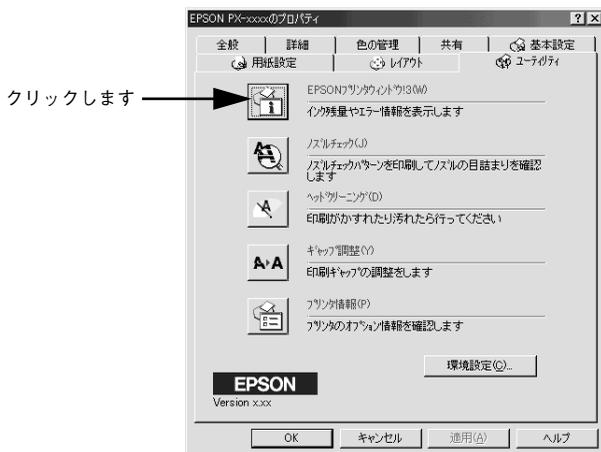
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタドライバの設定画面や Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

プリンタの状態を確かめるには

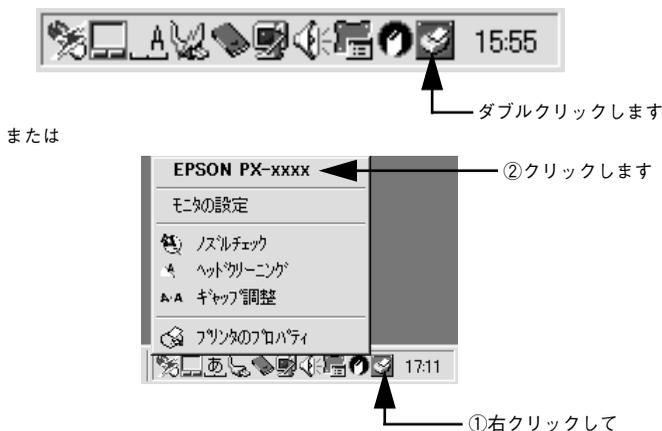
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

本書 66 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］ボタンをクリックします。

［方法 2］

［モニタの設定］ダイアログで［呼び出しアイコン］を選択すると、Windows のタスクバーにEPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［EPSON PX-7000/9000］をクリックします。

本書 68 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態がグラフィックで表示されます。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法が表示されます。

③［閉じる］

ウィンドウを閉じるときに［閉じる］ボタンをクリックします。

④インク残量

インクカートリッジのインク残量の目安が表示されます。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

①［対処方法］

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合に表示されます。［対処方法］ボタンをクリックすると対処方法が順を追って表示されます。

②［閉じる］

［閉じる］ボタンをクリックすると、ウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

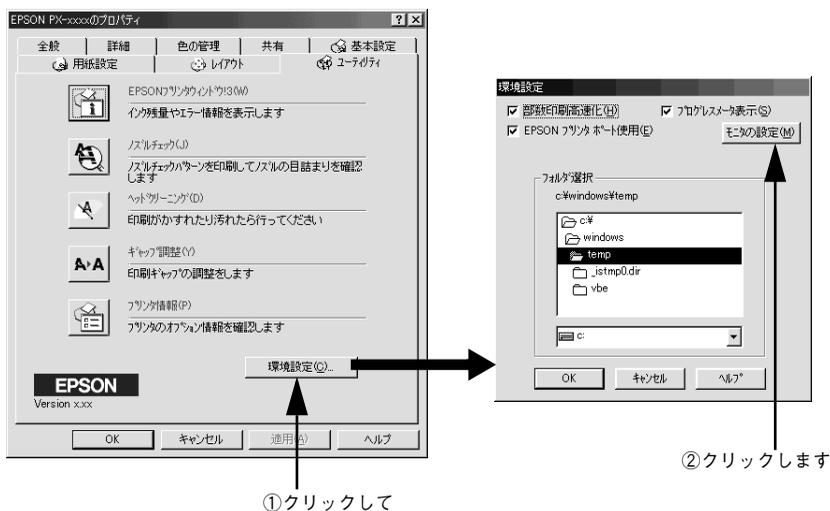
モニタの設定

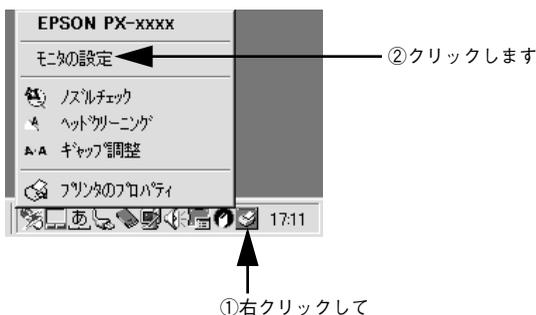
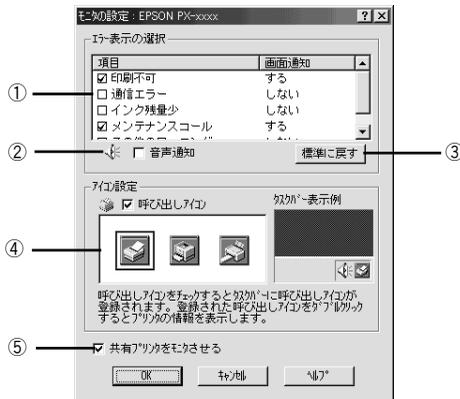
EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

本書 68 ページ「[モニタの設定] ダイアログ」

[モニタの設定] ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

[方法 1]

[プリンタ] / [プリンタとFAX] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、[ユーティリティ] の [環境設定] ボタンをクリックします。続いて [環境設定] ダイアログの [モニタの設定] ボタンをクリックします。

[方法 2]

[モニタの設定] ダイアログで [呼び出しアイコン] を選択すると、Windows のタスクバーにEPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから [モニタの設定] をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

①エラー表示の選択

プリンタがどのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。通知が必要な項目をチェックします。

②音声通知

チェックボックスをチェックすると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、［標準に戻す］ボタンをクリックします。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をチェックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンがタスクバーに表示されます。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせて選択できます。
タスクバーに表示されたアイコンを右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

チェックすると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

本書 10 ページ「Windows でのプリンタの共有」

ユーティリティの使い方

Windows プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンス用の「ノズルチェックパターン印刷」、「ヘッドクリーニング」、「ギャップ調整」、「プリンタ情報」の取得などの機能を実行できます。

ノズルチェックパターン印刷

ノズルチェックパターン印刷とは、プリントヘッド*1 のノズル*2 が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からはみえない位置にある。

*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
  スタートアップガイド 20 ページ「ノズルチェックパターン印刷」
- インクランプが点灯中は実行できません。

1 **プリンタに用紙をセットします。**

2 **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**

本書 61 ページ「ユーティリティ」

3 **［ノズルチェック］ボタンをクリックします。**

4 **［印刷］ボタンをクリックします。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］ボタンを、問題があった場合は［クリーニング］ボタンをクリックします。

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行う場合は、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

- ヘッドクリーニングはすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。パネルメッセージに従って用紙を取り除き、用紙セットレバーを手前に戻すと自動的にクリーニングを開始します。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
  スタートアップガイド 21 ページ「ヘッドクリーニング」

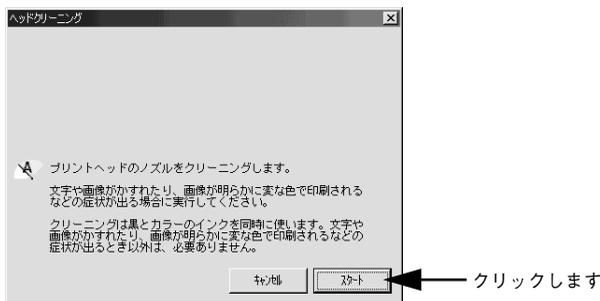
1 プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。

2 ［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。

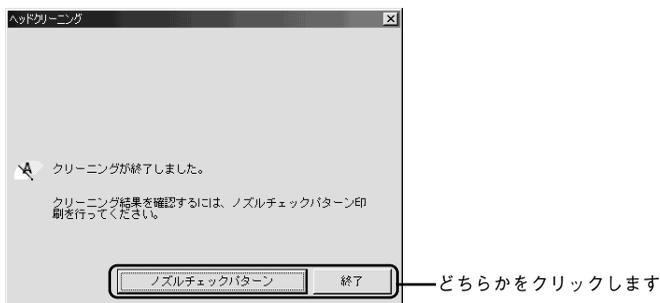
クリックします

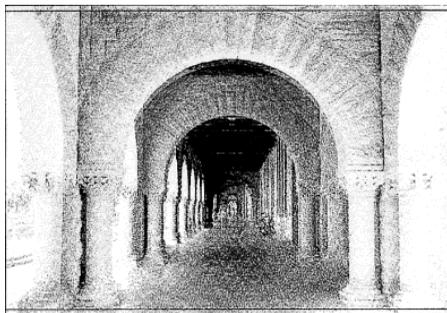
ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ(D)
印刷がかすれたり汚れたら行ってください

3 ［スタート］ボタンをクリックします。

プリンタの電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。

次の画面が表示されたら、ヘッドクリーニングは終了です。

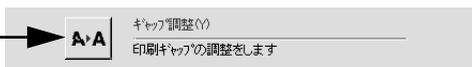
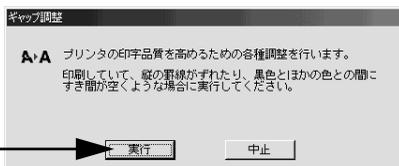
4 ［ノズルチェックパターン］ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は［終了］ボタンをクリックします。

本書 69 ページ「ノズルチェックパターン印刷」

ギャップ調整

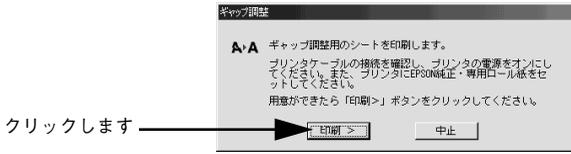
双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整を行うためには、MC 厚手マット紙ロールが必要です。

- ギャップ調整は必ず MC 厚手マット紙ロールをセットして行ってください。
- すべての調整パターン印刷には約4分かかります。ロール紙を約50cm 使用します。
- ギャップ調整は、プリンタの操作パネルから行うと、より厳密に調整できます。
  スタートアップガイド 21 ページ「ギャップ調整」

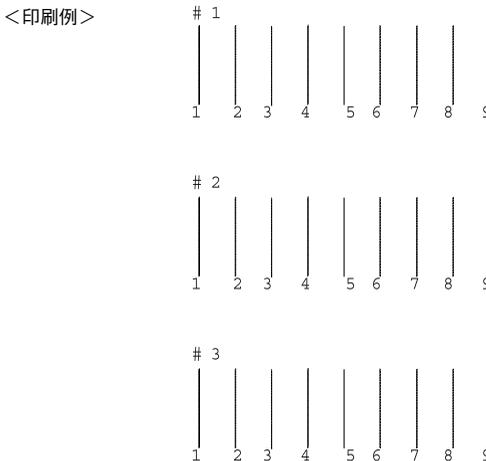
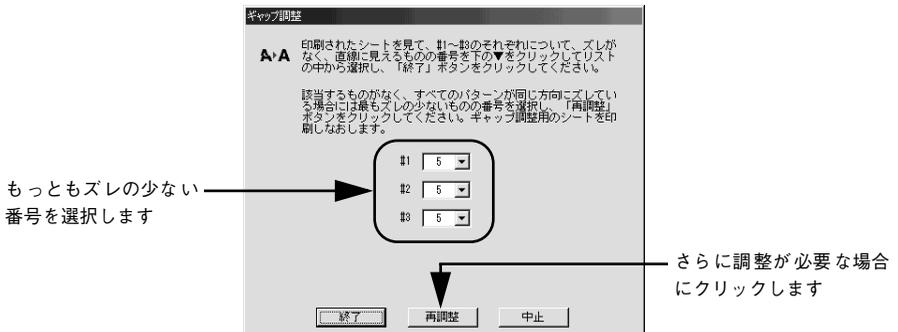
1. **プリンタに MC 厚手マット紙ロールをセットし、［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します。**

2. **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**
   本書 61 ページ「ユーティリティ」

3. **［ギャップ調整］ボタンをクリックします。**

4. **［実行］ボタンをクリックします。**

5 ［印刷>］ボタンをクリックします。

ギャップ調整用のシートが印刷されます。印刷されたシートは数枚にカットされます。

6 印刷された各パターン（# 1～# 3）で、もっともズレが少なく直線に見える線の番号を探します。

ギャップ調整パターン（#1 ～ #3）は 3 組印刷されます。調整は用紙の中心にある 2 番目のパターンを使って行います。

7 6 で探した番号を、各パターン（# 1～# 3）ごとに選択します。

すべての直線がズレている場合は、もっともズレの少ない番号を選択して［再調整］ボタンをクリックして ❻ へ戻ります。

❽ ［終了］ボタンをクリックすると、ギャップ調整は終了です。

プリンタ情報

ブラック系インクカートリッジの装着情報や、色の再現性を向上させるためのプリンタのID 情報を取得します。どちらのプリンタ情報も、EPSONプリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合自動的に取得されます。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合や双方向通信ができない状況下の場合は、以下の手順で情報を取得してください。

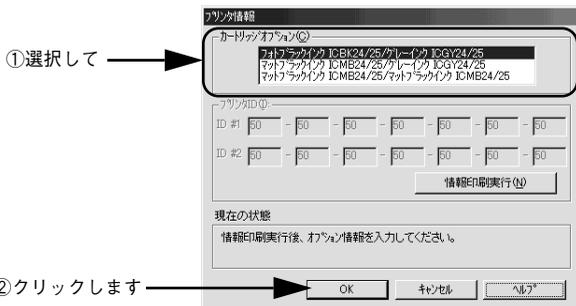
カートリッジオプション

カートリッジオプション（ブラック系インクカートリッジの装着状況）に関する情報は、正しく印刷を行うために必要な情報です。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合や双方向通信ができない状況下の場合は、以下の手順で情報を設定してください。

❶ プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。

❷ ［プリンタ情報］ボタンをクリックします。

❸ 装着しているブラック系インクカートリッジを［カートリッジオプション］で選択して、［OK］ボタンをクリックします。

カートリッジの装着順は、［左端スロット #1/ 次のスロット #2］の順番で表記しています。装着しているインクの組み合わせに合わせて選択してください。

これで、カートリッジオプション情報が設定されました。

プリンタ ID

プリンタ ID は色の再現性を向上させるため必要な情報です。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合や双方向通信ができない状況下の場合は、以下の手順で情報を設定してください。

手動の場合も、一度設定すれば何度も設定し直す必要はありません。

1. **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**

2. **［プリンタ情報］ボタンをクリックします。**

3. **［現在の状態］を確認します。**

- 状態①：「情報印刷実行後、オプション情報を入力してください。」
  →次のステップに進みます。
- 状態②：「オプション情報は既に設定されています。入力の必要はありません。」
  →［OK］ボタンをクリックして設定を終了します。

4. **プリンタに用紙をセットして［情報印刷実行］ボタンをクリックします。**

プリンタ ID が印刷されます。

<印刷例>

```
Printer ID
 #1 49-51-47-51-52-50-51
 #2 49-51-52-50-50-48-50
```

5 印刷されたプリンタ ID を半角文字で入力し、[OK] ボタンをクリックします。

これで、プリンタ ID 情報が設定できました。

印刷を高速化するには

本機をパラレルケーブルで接続している場合は、データの転送方法に「DMA 転送」を使用することで、印刷を高速化することができます。DMA 転送の設定は Windows 95/98/NT4.0 でのみ可能です。

DMA 転送とは

通常、印刷データは、コンピュータの頭脳である CPU（Central Processing Unit）を通してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時にいくつもの処理を行っているため、この方法では CPU に負担がかかり効率的にプリンタへデータが送られません。

ECP[*1] コントローラチップが搭載されたコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することでCPU を介することなく印刷データをプリンタへ直接送ることができます。これにより、効率的にプリンタへ印刷データが送られ、結果として印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の形式を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP（Extended Capability Port）：パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバで DMA 転送を行う前に以下の項目の確認、設定が必要です。

①パラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？

②Windows 95/98/NT4.0 を使用していますか？

③ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

④ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

⑤BIOS[*2] セットアップでパラレルポートの設定が「ECP」または「ENHANCED」になっていますか？

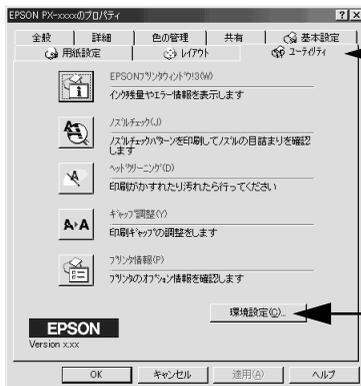
ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただき BIOS の設定をしてください。BIOS 設定は、本機のプリンタドライバを一旦削除してから行ってください。設定後再度プリンタドライバをインストールしてください。

*2 BIOS（Basic Input/Output System）：パソコンを動作させせるための基本手なプログラム群のこと。

DMA 転送の設定（Windows 95/98/Me）

1. 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. ［PX-7000/9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3. ［ユーティリティ］タブをクリックし、［環境設定］ボタンをクリックします。

4 DMA 転送の状態を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

表示	内容
「DMA 転送で印字します。」	すでに DMA 転送が指定されています。［OK］ボタンをクリックして設定を終了してください。
「DMA 転送の設定を行なうと、より高速な出力が可能になります。」	次の 5 に進みます。
何も表示されない場合	DMA 転送できません。

- 上記ステップで何も表示されない場合、コンピュータのBIOS設定でパラレルポートを「ECP」または「ENHANCED」に設定すると、「DMA 転送」による印字が可能になる場合があります。各コンピューターメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせの上、BIOS のパラレルポート設定を行ってください。
- BIOSのパラレルポート設定を行う場合は、本機のプリンタドライバを削除してから設定し、再度プリンタドライバをインストールしてください。

5 画面左上の［マイコンピュータ］を右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

6 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

7 ［ポート（COM&LPT）］アイコンをダブルクリックし、本機が接続されているポートをダブルクリックします。

プリンタの接続先を変更していない場合は「LPT1」を選択します。

8 ［リソース］タブをクリックし、［自動設定を使う］のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

自動設定時に設定されているI/Oポートアドレスが、次のステップで必要になります。メモ用紙などに控えてください。

9 ［基にする設定］または［設定の登録名］のリストボックスの中から、自動設定時に設定されていたI/Oポートアドレスが変更されずに「DMA」「IRQ」（割込み要求）の設定が表示される基本設定を探します。

10 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、データの転送方法が「DMA転送」に変更されました。

- BIOSの設定を変更した場合は、プリンタドライバを削除した後、再度インストールしてください。
- 一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせください。

DMA 転送の設定（Windows NT4.0）

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポートの設定を「ECP」モードに設定した上で､本機のプリンタドライバをインストールすることにより DMA 転送をご利用いただくことができます。

DMA 転送を使用しない場合の設定方法

本機のプリンタドライバをインストールすると自動的に DMA 転送が設定されます。DMA 転送を使用しない場合は、以下の手順に従ってください。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［PX-7000/9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3. ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 ［LPT1］タブをクリックします。

［DMA を使用する］のチェックボックスをクリックして外すと、DMA 転送を行いません。

拡張スロットに LPT が装着されている場合のみ、LPT2、LPT3 が表示されます。LPT2、LPT3 の構成情報には、拡張ボードで設定されている I/O アドレスが表示されます。IRQ、DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［リソースの設定］の［IRQ］、［DMA］をダブルクリックするか、［IRQ］、［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. PX-7000/9000 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

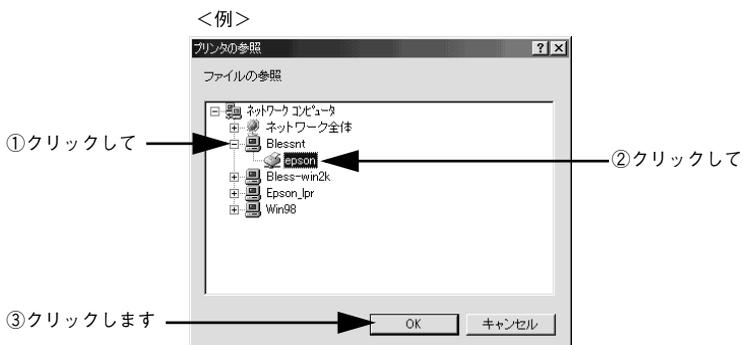
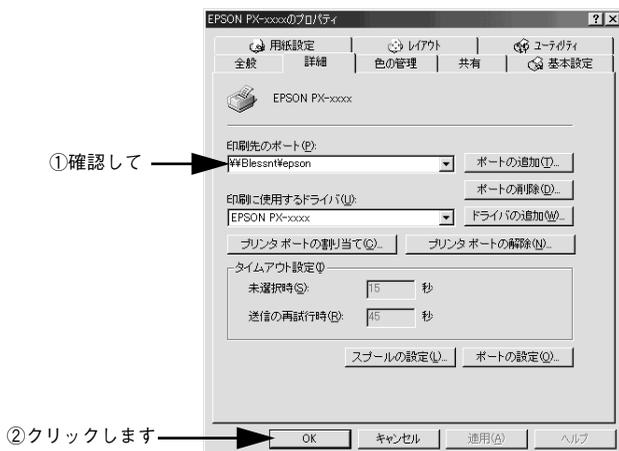
- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 **［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

＜例＞

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000 の場合

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

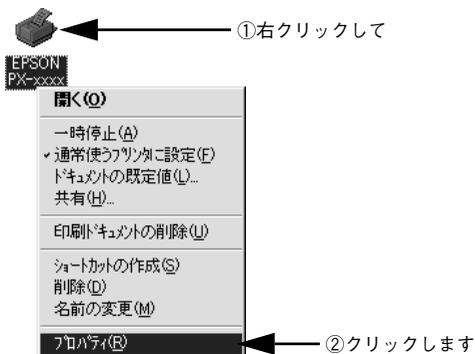
- Windows XP の場合

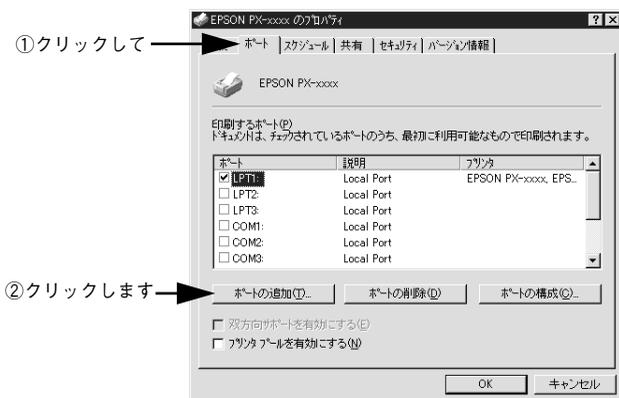
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

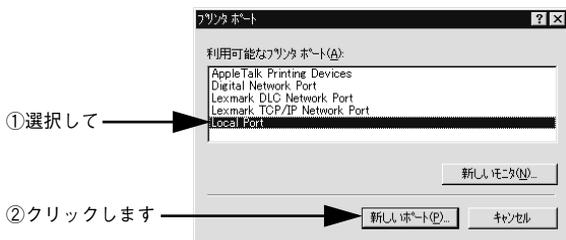
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 PX-7000/9000 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

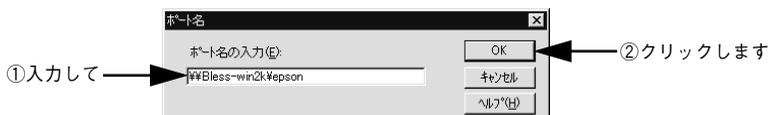
<例> Windows NT4.0 の場合

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

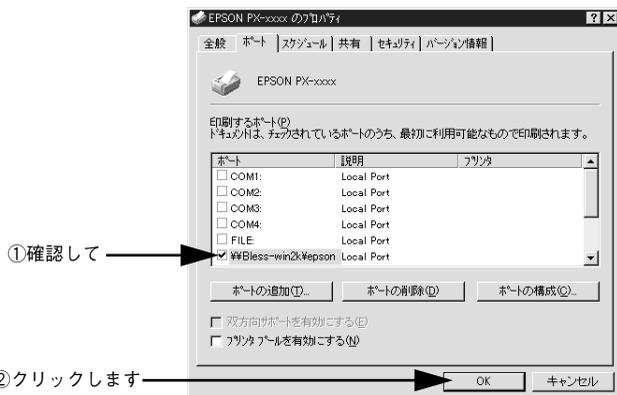
すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）してください。
※以下の説明では、Windows 98 の画面を使用しています。

1. **プリンタの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。**

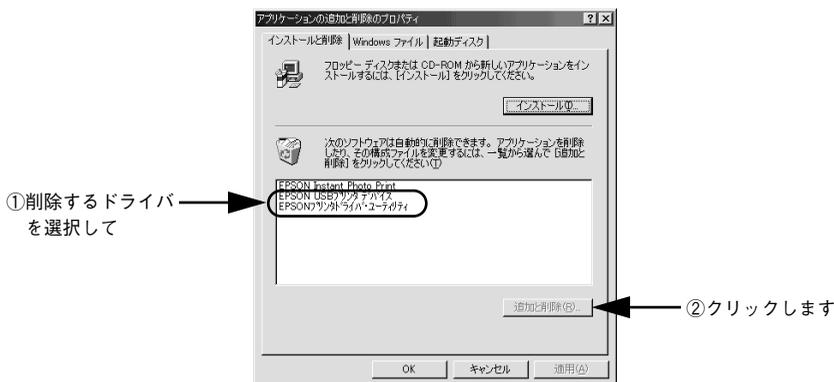
2. **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**
   - Windows 95/98/Me/NT4.0/2000
     ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。
   - Windows XP
     ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

3. **［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。**
   - Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合
     ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

   - Windows XP の場合
     ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

❹ 削除するドライバを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。

Windows 2000/XP の場合は［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

- **プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合**
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をダブルクリックします。
  ☞92 ページの ❺ へ進みます。
- **USB デバイスドライバを削除する場合**
  ［EPSON USB プリンタデバイス］をダブルクリックします。
  ☞93 ページの ❺ へ進みます。

ポイント

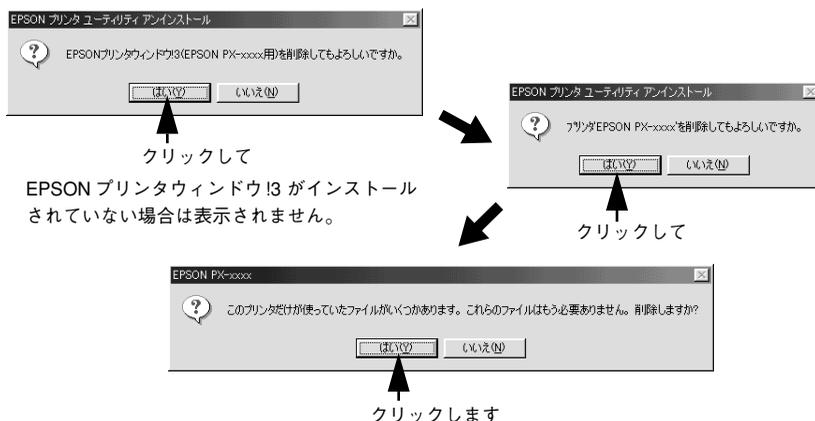
- ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows 98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。
- USB デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。
- インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

プリンタドライバの削除

91 ページ「プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合」より以下の手順を続けてください。

5 **［PX-7000/9000］アイコンをクリックし［OK］ボタンをクリックします。**

6 **［はい］ボタンをクリックします。**

7 **［OK］ボタンをクリックします。**

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。プリンタドライバを再インストールする場合は コンピュータを再起動させてください。

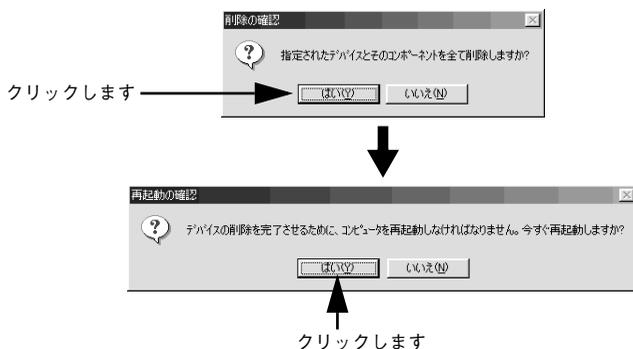
プリンタドライバは、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除することができます。

USB デバイスドライバの削除

USB デバイスドライバは、Windows 98 /Me で USB 接続をご利用の場合にのみ必要なドライバです。91 ページ「USB デバイスドライバを削除する場合」より以下の手順を続けてください。

- USB デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。
- USBデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

5 ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。これで USB デバイスドライバの削除は終了です。

USB デバイスドライバを正常に削除できない場合は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」の［WIN9X］フォルダに登録されている［EPUSBUN.EXE］を実行してください。実行後は、画面の指示に従って操作を進めます。

以上で USB デバイスドライバの削除は終了です。

Macintosh からの印刷

ここでは、Macintosh で印刷する手順や、プリンタドライバの詳細な内容について説明しています。

印刷の設定と実行

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。ここでは、基本的な印刷の方法について説明します。

ポイント

セレクタで、PX-7000/9000 は選択されていますか ? 選択されていない場合は、セレクタを開いて PX-7000/9000 を選択してください。
スタートアップガイド 32 ページ「プリンタの選択」

1 プリンタの準備をします。

- プリンタの電源をオンにします。
- 印刷する用紙をセットします。
  スタートアップガイド 52 ページ「用紙の取り扱い」
- 用紙に合わせてプリンタの［用紙選択］スイッチで用紙種類を選択します。

2 アプリケーションソフトを起動します。

3 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。

4 各項目を設定します。

［用紙設定］ダイアログで用紙サイズなど必要な項目を設定します。各項目については、以下のページを参照するか、? ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。
本書 99 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の［用紙設定］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

5 ［OK］ボタンをクリックして、［用紙設定］ダイアログを閉じます。

この後、印刷データファイルを作成します。

6 印刷データファイルを作成したら［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

7 **各項目を設定します。**

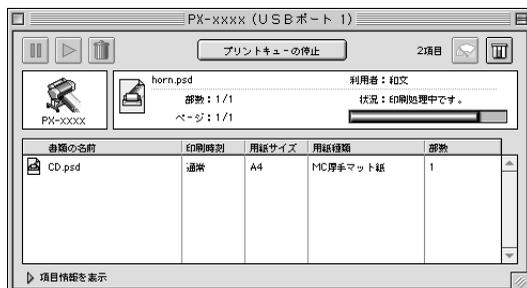
［印刷］ダイアログの［印刷部数］や［用紙種類］などを確認します。通常は［印刷］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 105 ページ「［印刷］ダイアログ」
☞ 本書 109 ページ「高度な印刷設定について」

アプリケーションソフトによっては、独自の［印刷］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

8 **［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定している場合は、画面上にEPSON Monitor3 の画面が表示され、印刷が始まります。

☞ 本書 131 ページ「バックグラウンドプリントについて」

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタのディスプレイに「インサツカノウ」と表示されたら、印刷は終了です。

正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。

☞ 本書 169 ページ「困ったときは」

印刷の中止方法

印刷を中止する方法を説明します。

バックグラウンドプリント使用時の場合

1 プリンタの電源をオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。印刷中の用紙は以下の処理がされます。

用紙種類の選択	処理
ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
ロール紙カッター OFF	手動カット位置まで、用紙サイズ分紙送りします。オプションのマニュアルカッターユニットを使ってロール紙から用紙を切り離してください。パネル設定モードで［キリトリセン］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。
単票紙	排紙されます。

2 アプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。

3 印刷中の印刷文章をクリックし、ボタンをクリックします。

画面に印刷キャンセルに関するダイアログが表示される場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に中止されます。

バックグラウンドプリント未使用の場合

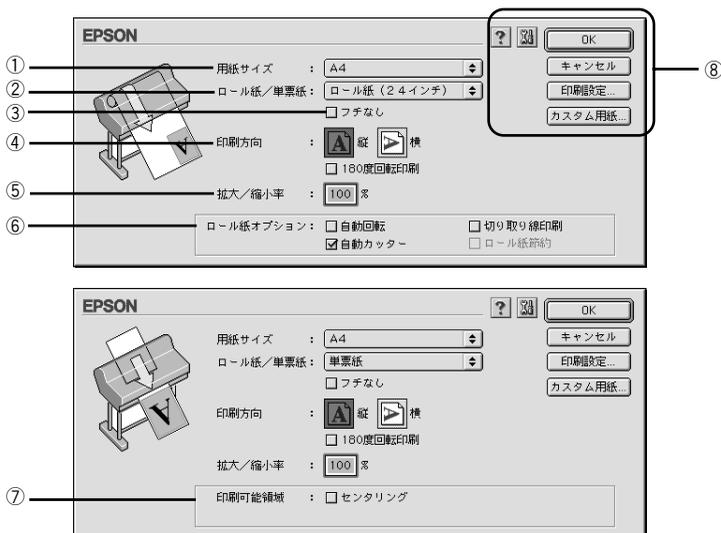
1. **プリンタの電源をオフにします。**
   印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。印刷中の用紙は以下の処理がされます。

用紙種類の選択	処理
ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
ロール紙カッター OFF	手動カット位置まで、用紙サイズ分紙送りします。オプションのマニュアルカッターユニットを使ってロール紙から用紙を切り離してください。パネル設定モードで［キリトリセン］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。
単票紙	排紙されます。

2. **コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。**
   これで印刷が正常に中止されます。

> プリントを中止するときは、⌘（コマンド）キーを押しながら .（ピリオド）キーを押してください。

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、使用する用紙に関わる設定を行います。

①用紙サイズ

作成した印刷データの用紙のサイズをポップアップメニュー[*1]の中から選択します。メニュー以外の用紙サイズを使用する場合は、⑧の中の［カスタム用紙］ボタンをクリックして用紙サイズを登録してください。

*1 ポップアップメニュー：▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

②ロール紙 / 単票紙

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

ロール紙（## インチ）	## インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。使用するインチ幅（##）のロール紙を選択してください。
ロール紙 長尺モード	用紙の上下余白（マージン）を 0mm にして長尺紙として印刷するときに選択します。
単票紙	単票紙に印刷するときに選択します。

③フチなし

余白 0mm で印刷する場合にチェックします。

本書 103 ページ「フチなし印刷」

用紙の種類やサイズによっては、フチなし印刷ができません。詳細は以下を参照してください。

スタートアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

④印刷方向

印刷データの印刷方向を選択します。

縦	印刷データをそのまま印刷します。
横	印刷データを 90 度回転して印刷します。
180 度回転印刷	印刷データを 180 度回転し、印刷データの下端から印刷します。

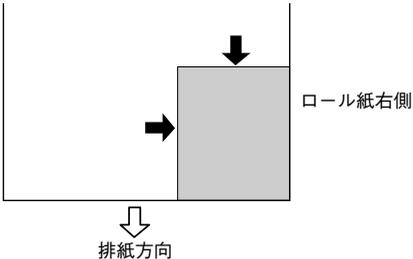
⑤拡大 / 縮小率

拡大/縮小印刷を設定します。拡大/縮小率は25〜400%まで 1%単位で設定できます。

- 拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データに比べ変わることがあります。
- 特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大 / 縮小の設定範囲が変わることがあります。

⑥ロール紙オプション

［ロール紙 / 単票紙］でロール紙を選択すると、ロール紙への印刷方法を設定できます。

自動回転	• 縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックしてください。 排紙方向 排紙方向 • ［ロール紙 / 単票紙］で［ロール紙長尺モード］を選択した場合は設定できません
自動カッター	印刷終了時にロール紙を自動的にカットします。
切り取り線印刷	ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。 〈例〉 ロール紙左側 ロール紙右側 排紙方向
ロール紙節約	［ロール紙 / 単票紙］で［ロール紙長尺モード］を選択した場合に選択可能になります。印刷データの最後を印刷すると、その位置から数行分、用紙を送り出し、動作を停止します。

⑦印刷可能領域

［ロール紙 / 単票紙］で［単票紙］を選択した場合に、印刷する領域を選択します。

センタリング	上下の余白を 14mm、左右の余白を 3mm の設定で印刷します。物理的な印刷領域は狭くなります。

⑧各種ボタン

［OK］	変更した設定を有効にして設定を終了します。
［キャンセル］	変更した設定を無効にして設定を終了します。
［印刷設定］	印刷オプションが設定できます。印刷する直前に印刷ダイアログでも同様の項目が設定できます。 ☞ 本書 105 ページ「［印刷］ダイアログ」
［カスタム用紙］	［用紙サイズ登録］ダイアログが表示され、用紙サイズを登録できます。 ☞ 本書 101 ページ「用紙サイズの登録 / 変更」
?	ヘルプ情報を表示します。
	各種ユーティリティを実行するユーティリティダイアログを表示します。 ☞ 本書 122 ページ「ユーティリティの使い方」

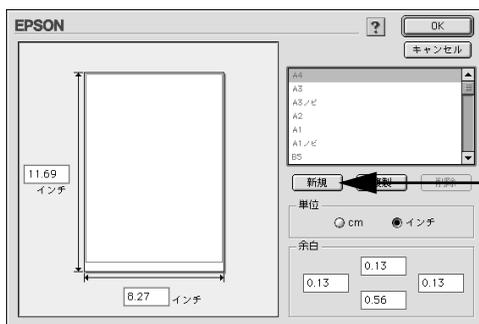
用紙サイズの登録 / 変更

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして独自に登録することができます。最大登録数は 100 個です。

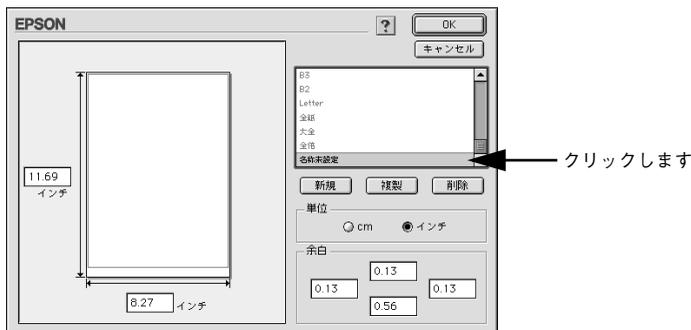
プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 ですが、印刷領域サイズとして A4 未満の用紙を登録することが可能です。

1. ［用紙設定］ダイアログの［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

2. ［新規］ボタンをクリックします。

右のリストに［名称未設定］と表示されます。

ポイント

- 以前に登録した内容を変更するときは、既存の用紙サイズ名をクリックして、❹ へ進みます。
- 用紙サイズ名を選択してから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。
- 用紙サイズ名を選択してから［複製］ボタンをクリックすると、指定した用紙サイズを別の用紙サイズ名で登録できます。

3 リストに表示された［名称未設定］をダブルクリックし、用紙サイズ名を入力します。

4 画面左側の枠内に用紙サイズ（用紙幅と用紙長）を入力します。

- 数値の単位は、［cm］または［インチ］のどちらかを選択できます。画面右側の「単位」で選択します。
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

用紙幅	PX-7000：18.19 〜60.99cm（7.16 〜24.01インチ） PX-9000：18.19 〜 111.80cm（7.16 〜 44.02 インチ）
用紙長さ	PX-7000：18.19 〜230.12cm（7.16 〜 90.60 インチ） PX-9000：18.19 〜230.12cm（7.16 〜 90.60 インチ）

5 必要に応じて、画面右側の［余白］で、上下左右の余白（マージン）を設定します。

6 ［OK］ボタンを押すと、新しい用紙サイズが登録されます。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］メニューから選択できるようになります。

フチなし印刷

フチなし印刷を行うには、以下の手順でプリンタドライバを設定してください。

ポイント

- ロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、プリンタドライバの設定（[フチなし] / [自動カッター]）と操作パネルのパネル設定モードの設定（「フチナシセッテイ」）の組み合わせによって、用紙カット動作が異なります。詳細は以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド 74 ページ「フチなし印刷するには」
- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。

1 フチなし印刷可能なサイズの紙を用意し、プリンタにセットします。

フチなし印刷可能な幅は以下の通りです。

機種	フチなし印刷可能な幅（左右フチなし印刷）
PX-7000	8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ
PX-9000	8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ

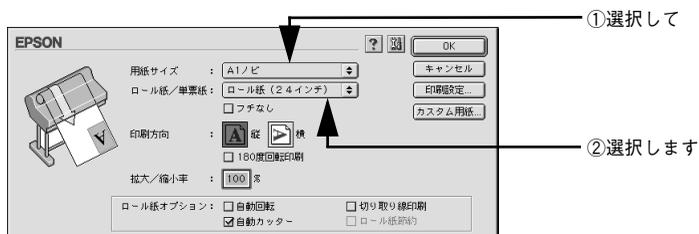
エプソン純正専用紙については、以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

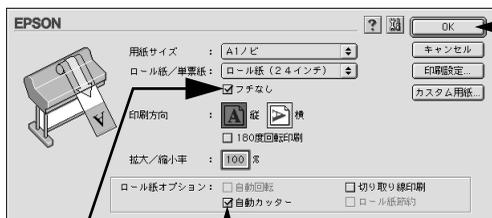
2 アプリケーションソフトの［用紙設定］などで 1 で用意した紙サイズを設定し、紙サイズより大きめに印刷データを作成します。

たとえば、紙幅が 210mm なら 216mm 幅の画像データを作成します。紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3 ［用紙設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］と［ロール紙 / 単票紙］を選択します。

- ロール紙をお使いの場合は、［ロール紙（任意のサイズ）］または［ロール紙 長尺モード］を選択します。
- 単票紙をお使いの場合は、［単票紙］を選択します。

アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、[用紙サイズ] と [印刷方向] を設定します。このとき、ロール紙幅より狭い [用紙サイズ] を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

4 [フチなし] をチェックし、ロール紙をお使いの場合は [自動カッター] をチェックして [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

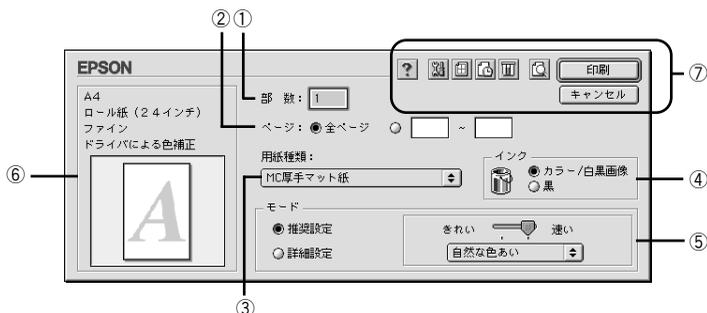
- ロール紙で四辺フチなし印刷を行う場合は、必ず[自動カッター]をチェックします。
- ロール紙に左右フチなし印刷を行う場合は、[自動カッター] は任意に設定します（各ページは自動でカットするか、手動でカットしてください）。
- 単票紙をお使いの場合は、[自動カッター] は設定しません（選択できません）。

[自動カッター] をオフにして [切り取り線印刷] をオンにしている場合は、すべてのカット位置で自動カットしないで切り取り線を印刷します。

5 [印刷] ダイアログを開いて [用紙種類] を選択し、[印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。

1 でセットした用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を選択します。

スタートアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

［印刷］ダイアログ

［印刷］ダイアログでは、印刷実行時の各種機能を設定できます。

①部数

印刷する部数を入力します。最大 9999 まで入力できます。

②ページ

印刷するページを指定します。［全ページ］を選択すると、文書の全ページを印刷します。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。

③用紙種類

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

④インク

- カラーまたはグレースケール印刷する場合は、［カラー / 白黒画像］を選択します。なお、カラーデータをグレースケール印刷する場合は、アプリケーションソフトでカラーデータをグレースケールデータに変換してから［カラー / 白黒画像］を選択して印刷します。
- モノクロ印刷する場合は、［黒］を選択します。

⑤モード

印刷モードを選択します。選択するモードによって画面が変わります。モードによって設定できる項目については以下のページを参照してください。

本書 106 ページ「［モード］での設定項目」

推奨設定	用紙種類、インク、用紙サイズを設定するだけで、自動的に最適な設定で印刷します。
詳細設定	印刷に関する項目を手動で設定できます。

⑥現在の設定

現在設定されている内容が確認できます。

⑦各種ボタン

[印刷] / [プレビュー] / [ファイル保存]	このボタンは、ボタン左側のアイコンをクリックすると、[印刷] → [プレビュー] → [ファイル保存] の順序で変わります。 • [印刷]:設定した内容で印刷を開始します。 • [プレビュー]:印刷イメージを表示する [プレビュー] ダイアログを開きます。 本書 108 ページ「[プレビュー] ダイアログ」 • [ファイル保存]:印刷データをファイルとして保存します。保存したファイルをダブルクリックすると、印刷されます。
[キャンセル]	設定した内容を無効にして、印刷を中止します。
/ /	クリックするとアイコンの形が変わり、左側のボタンの名称も変わります。 アイコンとボタンの関係は次の通りです。 • :[印刷] • :[プレビュー] • :[ファイル保存]
	インク残量を表示するダイアログボックスを表示します。 本書 118 ページ「インク残量を確認するには」
	バックグラウンドプリントなどを設定するダイアログを表示します。 本書 131 ページ「バックグラウンドプリントについて」
	[レイアウト設定] ダイアログを表示します。 本書 107 ページ「[レイアウト設定] ダイアログ」
	「EPSON プリンタウィンドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するためのダイアログを表示します。 本書 118 ページ「EPSON プリンタウィンドウ」 本書 122 ページ「ユーティリティの使い方」
?	ヘルプ情報を表示します。

[モード] での設定項目

[基本設定] ダイアログの [モード] での設定項目は次のようになります。

[推奨設定] 選択時

[きれい] / [速い] のどちらかを選択します。[用紙種類] によっては、[きれい] / [速い] を選択できないものもあります。

きれい	印刷品質を重視した設定で印刷します。
速い	印刷速度を重視した設定で印刷します。

リストボックスから次の設定を選択できます。

自然な色合い	自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色合い	彩度(あざやかさ)を上げ、色味を強くする処理をします。

［詳細設定］選択時

プリセットのポップアップメニューと、［設定変更］ボタンが表示されます。

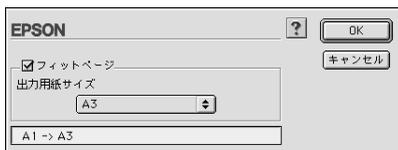
［用紙種類］に応じて、ポップアップメニューから次のいずれかの設定を選択できます。

超高精細	2880 × 1440dpi の解像度で印刷したいときに選択します。
高精細	1440 × 720dpi の解像度で印刷したいときに選択します。
ワープロ / グラフ	ワープロなどで作成したカラーのデータを印刷する場合に選択します。
ColorSync	ColorSync を使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。 本書 129 ページ「ColorSync について」

［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開き、高度な印刷設定を行うことができます。

本書 109 ページ「高度な印刷設定について」

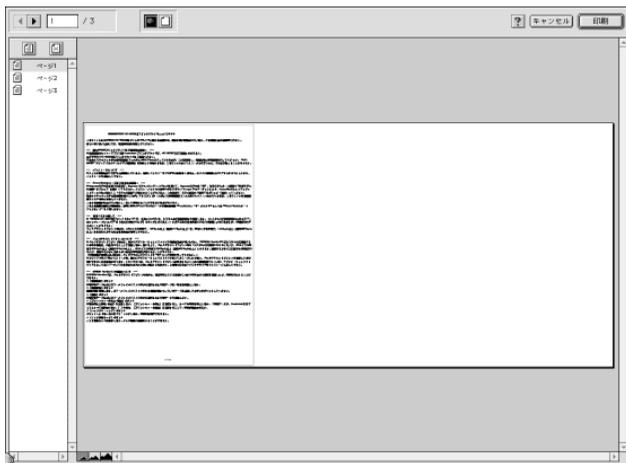
［レイアウト設定］ダイアログ

［印刷］ダイアログで をクリックすると［レイアウト設定］ダイアログが開きます。

［フィットページ］をクリックしてチェックを付け、［出力用紙サイズ］でプリンタにセットした用紙の用紙サイズを選択すると、自動的に倍率を設定し印刷します。

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［ロール紙長尺モード］を選択したときは設定できません。
- 拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データに比べ変わることがあります。
- 特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大/縮小の設定範囲が変わることがあります。

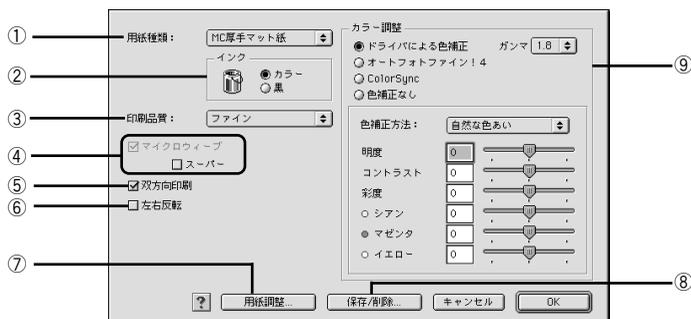
［プレビュー］ダイアログ

［印刷］ダイアログの を選択して印刷を実行すると、印刷イメージを表示する［プレビュー］ダイアログが開きます。

印刷	設定した内容で印刷を開始するボタンです。
キャンセル	設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。
?	ヘルプ情報を表示するボタンです。
	表示するページを切り替えるボタンです。
	プレビュー表示の拡大 / 縮小を行います。縮小するときは［option］キーを押しながらクリックします。
	プレビュー画面上に、印刷可能領域を示す枠を表示するかしないかを切り替えます。この枠の外側にある印刷内容は印刷されません。
	プレビュー画面左側のページ番号をクリックして選択し、本項目をクリックすると、そのページ番号に×が付きます。印刷を実行すると、そのページは印刷されなくなります。
	で×を付けたページをクリックして選択し、本項目をクリックすると、×が消え、印刷されるようになります。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを 2 倍に拡大して表示します。

高度な印刷設定について

ここでは、高度な印刷設定（詳細設定）の設定方法や設定項目について説明します。

［詳細設定］ダイアログ

［印刷］ダイアログで［詳細設定］を選択して［設定変更］ボタンをクリックすると［詳細設定］ダイアログが開きます。ここでは、設定項目の詳細について説明します。

ダイアログ内の各項目は、［用紙種類］、［インク］、［印刷品質］の組み合わせで選択できる項目が変わります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

②インク

- カラーまたはグレースケール印刷する場合は、［カラー］を選択します。なお、カラーデータをグレースケール印刷する場合は、アプリケーションソフトでカラーデータをグレースケールデータに変換してから［カラー］を選択して印刷します。
- モノクロ印刷する場合は、［黒］を選択します。

③印刷品質

印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。

ドラフト	インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。
ファイン	360dpi の解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。
スーパーファイン	720dpi の解像度で印刷します。印刷時間は少しかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。
フォト	1440dpi の解像度で印刷します。印刷むらのない写真品質の印刷結果が得られます。
スーパーフォト	2880dpi の解像度で印刷します。さらに印刷むらのない写真品質の印刷結果が得られます。

④マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくする機能です。

スーパー	行ごとのムラをさらに少なくしたい場合に選択します。ただし、印刷時間が長くなります。

［マイクロウィーブ］と［スーパー］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによっては選択できない場合があります。

⑤双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

⑥左右反転

左右を反転させて印刷する場合は、このチェックボックスをチェックします。

⑦［用紙調整］ボタン

用紙関連の調整（インク濃度、乾燥時間、用紙送り補正値、用紙厚、吸引力、カット調整）を行います。

本書 114 ページ「［用紙調整］ダイアログ」

⑧［保存 / 削除］ボタン

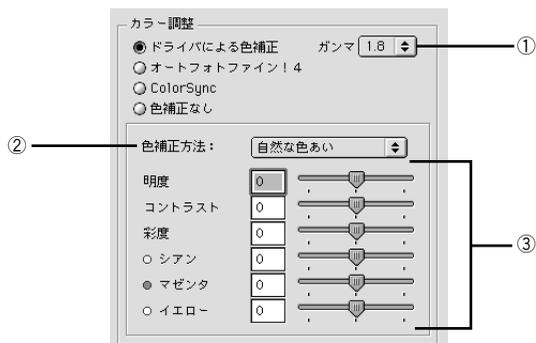
［手動設定］ダイアログの設定を保存したり、削除します。

本書 116 ページ「ユーザー設定の登録方法」

⑨カラー調整

カラー調整の方法を選択します。［ドライバによる色補正］、［オートフォトファイン !4］［ColorSync］を選択した場合、画面の下部で細かい設定を行います。

ドライバによる色補正	画面下部にポップアップメニューとスライドバーが表示され、色補正に関する設定が行えます。 本書 111 ページ「［ドライバによる色補正］を選択した場合」
オートフォトファイン !4	エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン !4 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。画面下部にオートフォトファイン !4 の設定項目が表示され、色補正に関する設定が行えます。 本書 112 ページ「［オートフォトファイン !4］を選択した場合」
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチングを行います。 本書 113 ページ「［ColorSync］を選択した場合」
色補正なし	ドライバでは色補正を行いません。ColorSync 用プロファイル（色補正データ）を作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

［ドライバによる色補正］を選択した場合

［カラー調整］で［ドライバによる色補正］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

① ガンマ

［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調についての入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整することができます。

1.5	ガンマ値 1.8 に比べ柔らかい感じの画像を印刷します。
1.8	本製品での印刷に合った調整が行われます。
2.2	sRGB に対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合に選択してください。

② 色補正方法

自動	文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。
自然な色あい	自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。

[*1] オブジェクト：色補正を行う際に対象となるもの。写真やグラフなどの個々の要素を指す。

③各スライドバー

<table>
<tr><td>明度</td><td>画像全体の明るさを調整します。標準を0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25～＋ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td>画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。</td></tr>
<tr><td>シアン / マゼンタ /
イエロー</td><td>それぞれの強さを調整します。標準を0 として、－ 25 ～＋25% の間で調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
<table>
<tr><td></td><td>＜－＞◀──── 0 ────▶＜＋＞</td></tr>
<tr><td>シアン</td><td>赤みを強くします。　青緑（シアン）を強くします。</td></tr>
<tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。　赤紫（マゼンタ）を強くします。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。　黄色（イエロー）を強くします。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

［オートフォトファイン !4］を選択した場合

［カラー調整］で［オートフォトファイン !4］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①色調

色調補正なし*	色調の補正を行いません。 * ［色調］のチェックマークを外します。
標準	標準的な色調に補正して印刷します。
硬調	メリハリのある色調に補正して印刷します。
鮮やか	彩度を上げ、あざやかな色調に補正して印刷します。
セピア	印刷データの色を、セピア調の色調になるよう調整して印刷します。
モノクロ	印刷データの色を、白黒になるよう調整して印刷します。

②効果

加える効果の強弱は、[弱 / 強] のスライドバーで調整します。

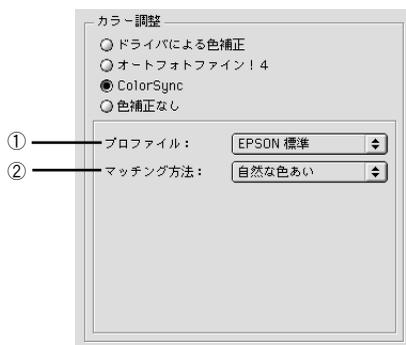
効果なし*	効果を加えずに印刷します。 * [効果] のチェックマークを外します。
シャープネス	画像の輪郭を強調して印刷します。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真と同様になる補正をして印刷します。
キャンバス	キャンバス地（布地）に描いたような効果を加えて印刷します。
和紙	和紙に描いたような効果を加えて印刷します。

③デジタルカメラ用補正

チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。

- オートフォトファイン!4 は 1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。
- エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

[ColorSync] を選択した場合

[カラー調整] で [ColorSync] を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、「プロファイル」と「マッチング方法」が選択できます。

①プロファイル

通常は、[EPSON 標準] を選択してください。

EPSON 標準	本機からの印刷用に最適化されたプロファイルです。
その他	通常は選択することはできません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。通常の印刷では、[EPSON 標準] 以外を選択する必要はありません。

②マッチング方法

自然な色あい	自然な発色状態になるように処理をします。写真などの印刷に適しています。
あざやかな色あい	画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。
特定色マッチ	特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色、できる限り正しく印刷されるような色処理を行います。

［ColorSync］の設定は、カラー印刷の場合のみ選択できます。
本書 129 ページ「ColorSync について」

［用紙調整］ダイアログ

［手動設定］ダイアログで［用紙調整］ボタンをクリックすると、［用紙調整］ダイアログが開いて、用紙関連の以下の設定が行えます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、お使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて［用紙調整］ダイアログで設定してから印刷を行ってください。

パネル設定モードでは、ユーザー用紙を 10 種類まで登録することができます。
セットアップガイド 67 ページ「ユーザー用紙設定の方法」

①インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。

強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、ランニングコストを抑えた試し印刷用にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできます。

②ヘッドパス毎の乾燥時間

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +50）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。

- インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。
- 用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。
- インクの乾燥中に［カット / 排紙］スイッチを押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

③用紙送り調整

用紙送りの補正値を調整できます。補正値は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0）。単位は 0.01％です。

プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれる場合があります。また、エプソン純正専用紙以外の用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要がある場合があります。これらの場合に、用紙送りを調整してください。

④用紙厚

用紙厚を設定できます。用紙厚は 0.1mm 単位で 0 から 1.5mm までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている［用紙種類］によって異なります）。

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合、その用紙の厚さを正確に設定することができます。

⑤用紙吸着力

用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定できます。用紙の吸着力は、スライドバーを左端（標準 100％）から、-1（50％）-2（30％）-3（10％）-4（最小 6％）へ動かして設定します（初期値：100％）。

用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしづらかったり、うまく紙送りされないことがあります。このような場合は吸着力を弱めに設定してください。

⑥カット調整

用紙自動カット時のカッターの圧力を 3 段階に設定できます。カット調整は、メニューから［標準］、［薄紙］、［極薄紙］のいずれかを選択して設定します（初期値：標準）。

薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このような場合は用紙厚に合わせて［薄紙］または［極薄紙］に設定してください。

⑦［デフォルト］ボタン

［用紙調整］ダイアログの設定値をすべて初期値（デフォルト）に戻します。

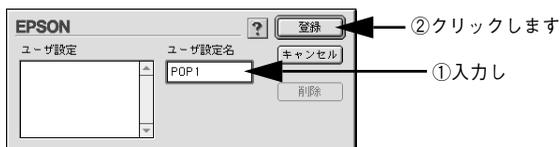
ユーザー設定の登録方法

ここでは、［詳細設定］ダイアログでの設定を登録する方法、また、以前に登録した設定を削除する方法を説明します。最大登録数は 100 個です。

1 ［詳細設定］ダイアログで各項目を設定し、［保存 / 削除］ボタンをクリックします。

各項目の内容は以下のページを参照するか、? ボタンをクリックします。

本書 109 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

2 ［ユーザー設定名］に任意の名称を入力し、［登録］ボタンをクリックします。

これで［印刷］ダイアログのメニューに設定が加えられました。

- 設定を削除する場合は、「設定リスト」から削除するリストをクリックして選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- ここで保存した内容は、[印刷] ダイアログで [詳細設定] を選択したときに、メニューから呼び出すことができるようになります（プリセットメニューは削除できません）。

EPSON プリンタウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。インク残量を確認するとき以外は、プリンタウィンドウの画面を開いている必要はありません。

インク残量を確認するには

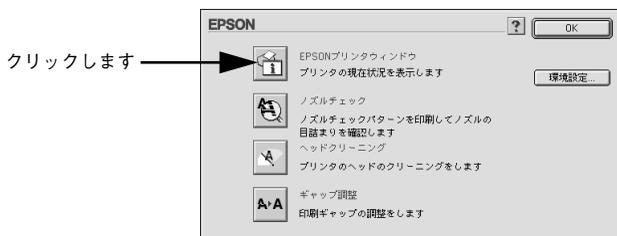
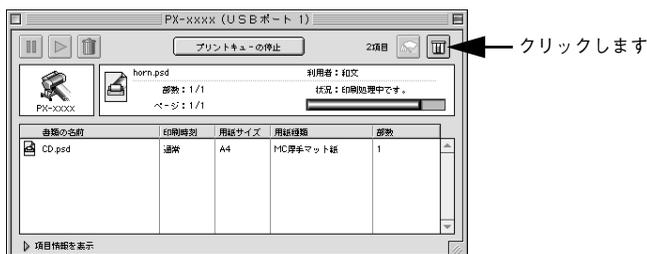
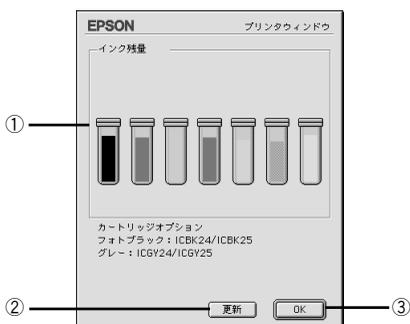
インク残量を確認するために、3 通りの方法で［インク残量］モニタを開くことができます。

［方法 1］

［印刷］ダイアログを開いて ボタンをクリックします。

［方法 2］

［印刷］ダイアログまたは［用紙設定］ダイアログの ボタンをクリックして［ユーティリティ］ダイアログを開きます。［ユーティリティ］ダイアログの アイコンをクリックします。

［方法 3］

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定している場合は、印刷実行時に［EPSON Monitor3］が起動します。［EPSON Monitor3］の ボタンをクリックします。

インク残量モニタ

①インク残量

インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。

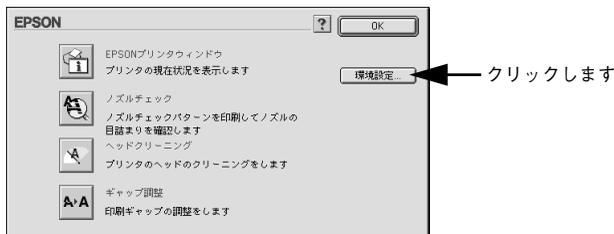
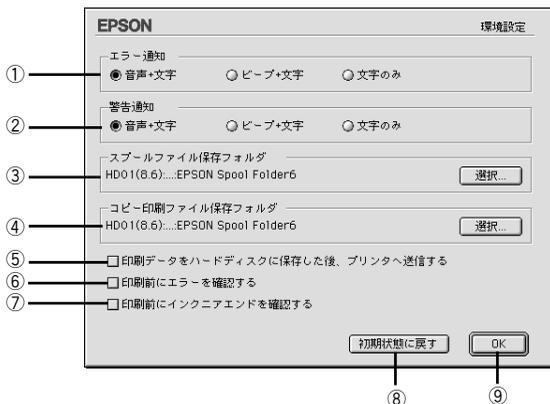
②［更新］

最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。

③［OK］

EPSON プリンタウィンドウを終了します。

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウのモニタ機能を設定します。エラーの通知方法や、印刷実行前に確認する項目などを設定することができます。モニタの設定を行うために、［環境設定］ダイアログを開きます。［ユーティリティ］ダイアログを開いて、［環境設定］ボタンをクリックします。

［環境設定］ダイアログ

①エラー通知

プリンタで発生したエラーの通知方法を選択します。

②警告通知

警告の通知方法を選択します。

③スプールファイル保存フォルダ

印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は［選択］ボタンをクリックしてください。

④コピー印刷ファイル保存フォルダ

同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、［選択］ボタンをクリックしてください。

⑤印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタへ送信する

印刷データを一旦ハードディスクに保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅いMacintosh でご使用いただくと、印字中一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印字品質の低下を防ぐことができます。

⑥印刷前にエラーを確認する

印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合は、チェックしてください。

⑦印刷前にインクニアエンドを確認する

印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合は、チェックしてください。

⑧［初期状態に戻す］

設定値を初期の状態に戻します。

⑨［OK］

環境設定を保存して終了します。

ユーティリティの使い方

Macintosh プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンス用の「ノズルチェックパターン印刷」、「ヘッドクリーニング」、「ギャップ調整」などの機能を実行できます。

ノズルチェックパターン印刷

ノズルチェックパターン印刷とは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングをしてください。

ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからも行えます。
スタートアップガイド 20 ページ「ノズルチェックパターン印刷」

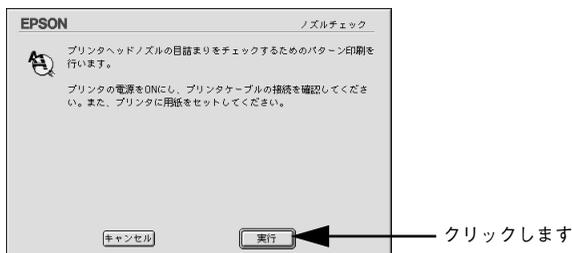
1 プリンタに用紙をセットします。

2 ［印刷］ダイアログで ボタンをクリックします。

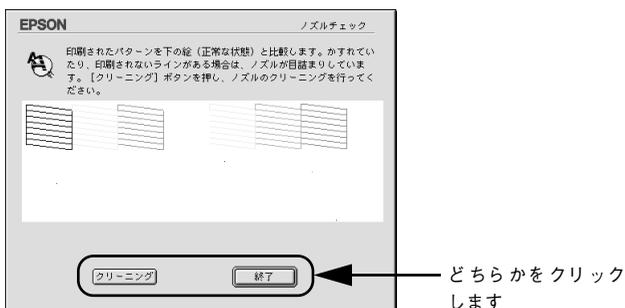
［ユーティリティ］ダイアログが開きます。

3 ［ノズルチェック］ボタンをクリックします。

4 ［実行］ボタンをクリックします。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］ボタンを、問題があった場合は［クリーニング］ボタンをクリックします。

ポイント

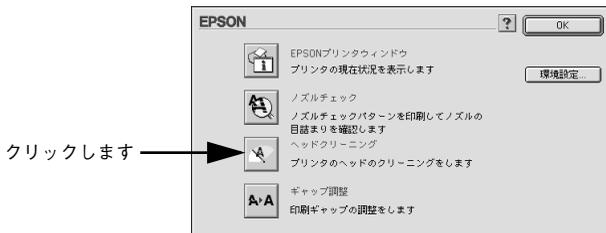
ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行う場合は、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

ヘッドクリーニング

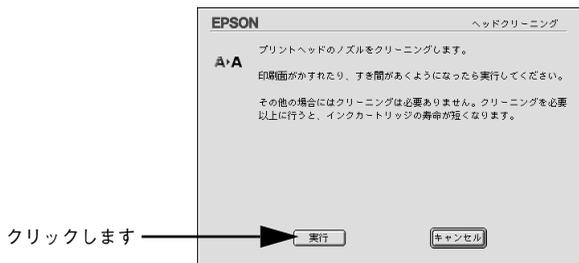
ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

- ヘッドクリーニングはすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。パネルメッセージに従って用紙を取り除き、用紙セットレバーを手前に戻すと自動的にクリーニングを開始します。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
  ☞ スタートアップガイド 21 ページ「ヘッドクリーニング」

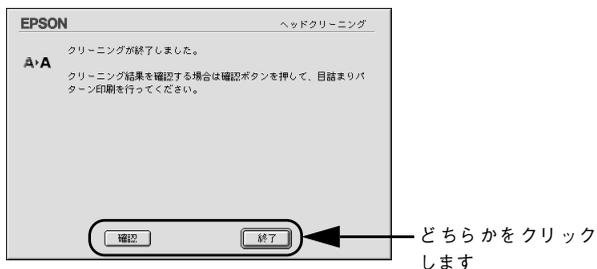
1 ［印刷］ダイアログで ボタンをクリックします。

［ユーティリティ］ダイアログが開きます。

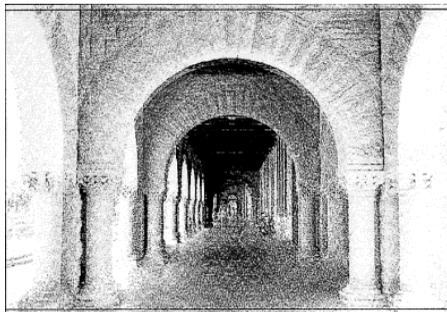
2 ［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。

3 ［実行］ボタンをクリックします。

プリンタの印刷可ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。

次の画面が表示されたら、ヘッドクリーニングは終了です。

4 ［確認］ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は、［終了］ボタンをクリックします。

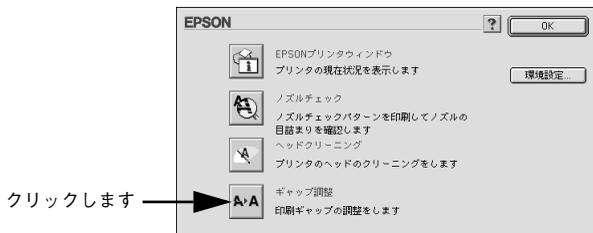
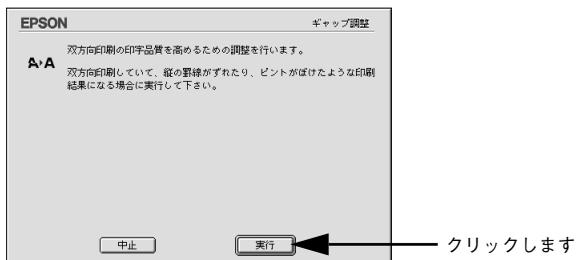
☞ 本書 122 ページ「ノズルチェックパターン印刷」

ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整を行うためには、MC 厚手マット紙ロールが必要です。

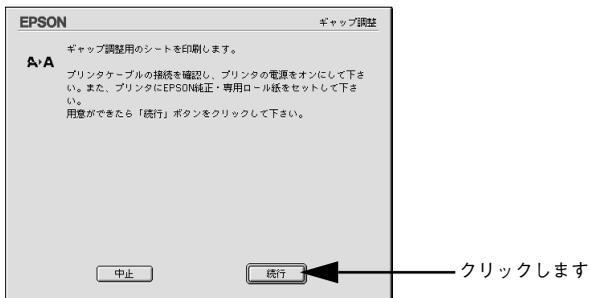
印刷結果がピントがぼけたようになる

- ギャップ調整は必ず MC 厚手マット紙ロールをセットして行ってください。
- すべての調整パターン印刷には約4分かかります。ロール紙を約50cm 使用します。
- ギャップ調整は、プリンタの操作パネルから行うと、より厳密に調整できます。
  スタートアップガイド 21 ページ「ギャップ調整」

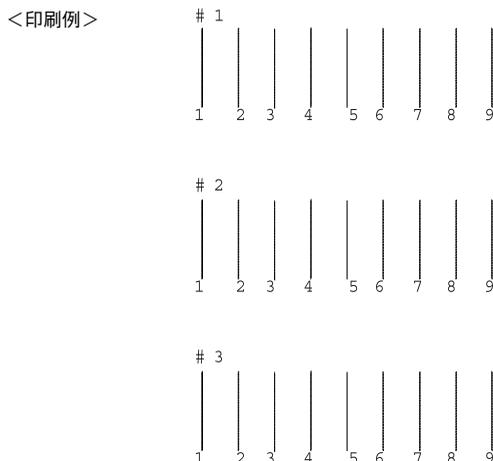
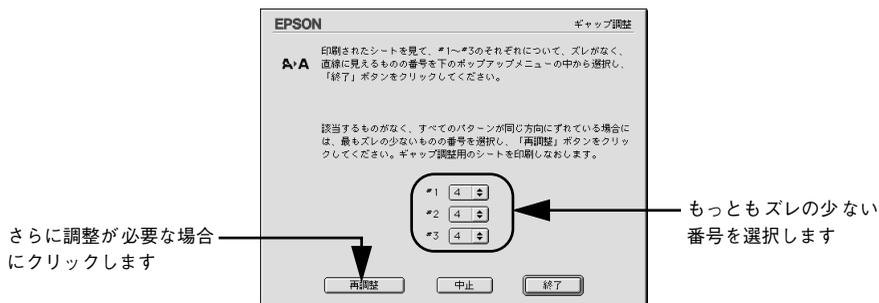
1. **プリンタに MC 厚手マット紙ロールをセットし、[用紙選択] スイッチを押して [ロール紙自動カット] を選択します。**

2. **[印刷] ダイアログで ボタンをクリックします。**
   [ユーティリティ] ダイアログが開きます。

3 ［ギャップ調整］ボタンをクリックします。

4 ［実行］ボタンをクリックします。

5 ［続行］ボタンをクリックします。

ギャップ調整用のシートが印刷されます。印刷されたシートは数枚にカットされます。

❻ 印刷された各パターン（＃ 1 ～＃ 3）で、もっともズレが少なく直線に見える線の番号を探します。

ギャップ調整パターン（#1 ～ #3）は 3 組印刷されます。調整は用紙の中心にある 2 番目のパターンを使って行います。

❼ ❻ で探した番号を、各パターン（＃ 1 ～＃ 3）ごとに選択します。

すべての直線がズレている場合は、もっともズレの少ない番号を選択して［再調整］ボタンをクリックして ❻ へ戻ります。

❽ ［終了］ボタンをクリックすると、ギャップ調整は終了です。

ColorSync について

本機のプリンタドライバは ColorSync に対応しています。

ColorSync とは

スキャナ、ディスプレイ、プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデルごとに異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。

例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷しているわけではないのでディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。

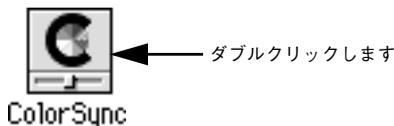
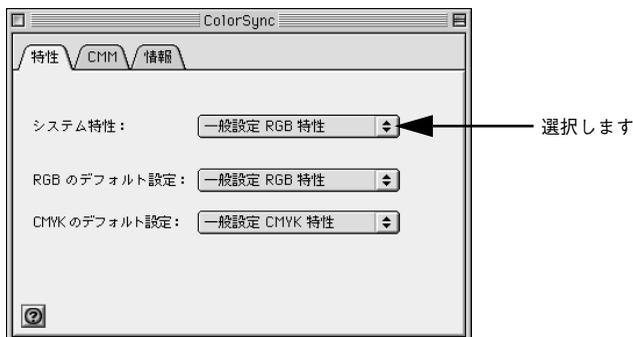
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の一つが ColorSync と呼ばれるものです。

原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトが ColorSync に対応している必要があります。スキャナなどから画像を取り込む際に ColorSync の指定ができる場合は、指定してください。

ColorSync を使用するときの準備作業

ColorSync を使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

以下はバージョン 2.6.1 の ColorSync を使用した場合の例です。Mac OS バージョンによっては操作や機能が異なります。詳細は Macintosh のヘルプを参照してください。

1. **コントロールパネル内の［ColorSync］アイコンをダブルクリックします。**

2 **ご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、［システム特性］のポップアップメニューから選択します。**

ディスプレイタイプがポップアップ メニューの中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合わせください。

以上で準備作業は終了です。

実際に ColorSync のカラーマッチングを使用して印刷をする場合は、プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログで［ColorSync］を選択して印刷を実行してください。
本書 109 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

- ColorSync を使用して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。
- ColorSync を使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていないか、ディスプレイの経年変化（劣化）により、色表示にズレが生じています。このような場合は、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。
- 一部のアプリケーションソフトウェアでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（Adobe PageMaker 6.5J、Photoshop 4.0J 以降、Illustrator 7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは［ColorSync］を選択せず、［色補正なし］を指定してください。

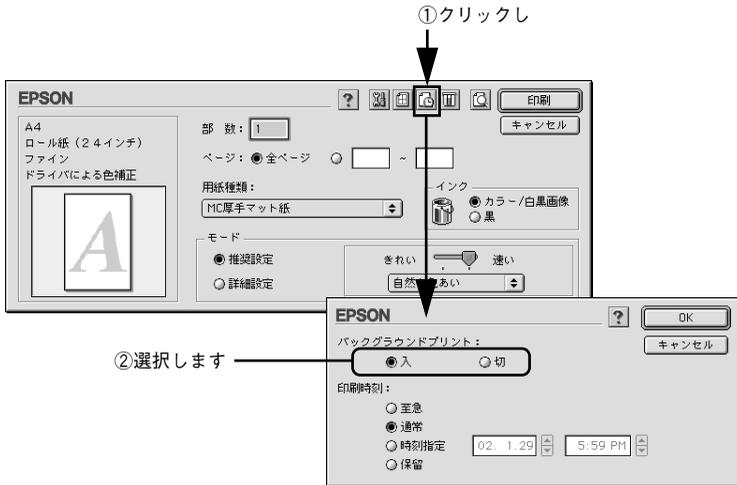
バックグラウンドプリントについて

本機のプリンタドライバは印刷時に EPSON Monitor3 を経由することで、印刷作業をバックグラウンドで行い、Macintosh をほかの作業に使えるようにします。

バックグラウンドプリントを使用するには

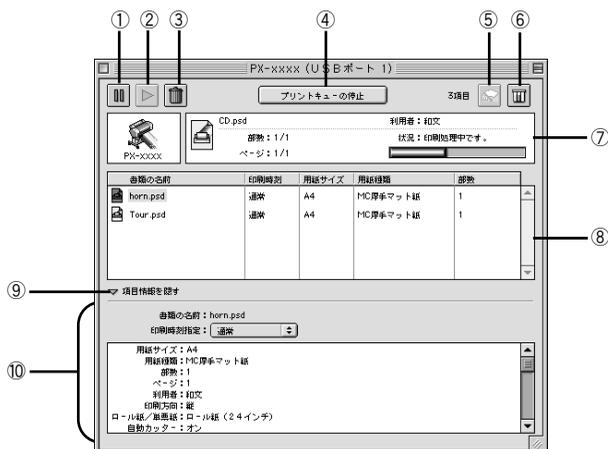
バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］にします。

また［印刷］ダイアログからも、「バックグラウンドプリント］を設定することができます。

ポイント

バックグラウンドプリントを行う場合、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷に時間がかかる場合があります。

EPSON Monitor3 の機能

EPSON Monitor3 は、バックグラウンドプリントのほかに、現在印刷している書類やこれから印刷される書類を確認したり、印刷を中止することができます。EPSON Monitor3は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから「EPSON Monitor3」を選択すると、ウインドウが前面に表示されます。

印刷していないときは、機能拡張フォルダにある［EPSON Monitor3］アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

① ボタン
印刷中の書類、または印刷待ちの書類を保留状態にします。

② ボタン
保留状態を解除します。

③ ボタン
印刷中の書類、または印刷待ちの書類を削除します。

④プリントキューの開始 / 停止
すべての印刷を停止します（印刷データは、Macintosh を終了してもすべて保持されます）。この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。

⑤ ボタン
プリントヘッドのノズルをクリーニングします。印刷中は実行することはできません。

⑥ ボタン
インク残量モニタを表示します。インク残量の確認をすることができます。

⑦ 状態表示部
印刷中の書類の名称や進行状況などを表示します。

⑧ スプールファイルリスト
印刷待ちの書類を表示します。

⑨ 項目情報を隠す / 表示
項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えます。

⑩ 項目情報
状態表示部またはスプールファイルリストから選択した書類の名称やプリンタドライバの設定状況などを表示します。[印刷時刻指定] では、[至急] [通常] [保留] [印刷時刻指定] を選択でき、印刷の順番を指定することができます。

至急	プリントキュー[*1]内の他の印刷データより優先して印刷します。
通常	プリントキューに記憶された順番に印刷します。
印刷時刻指定	印刷を実行する日時を指定することができます。
保留	印刷データをプリントキューに記憶された状態のままにして、印刷しません。

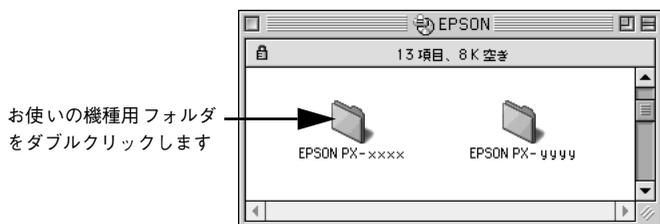
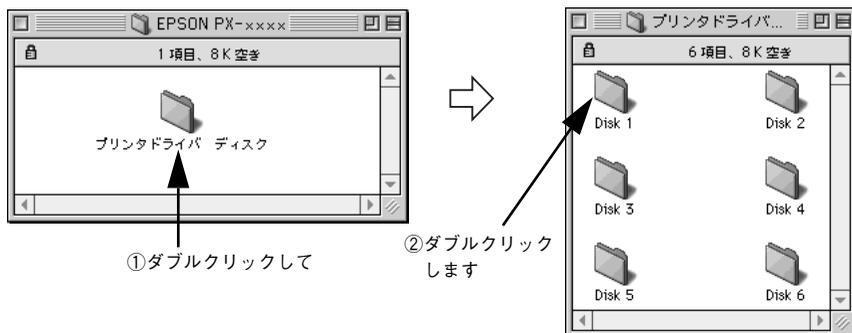
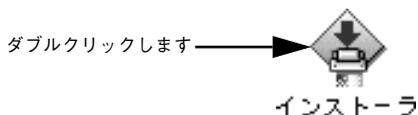
*1　プリントキュー：印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

プリンタドライバの削除

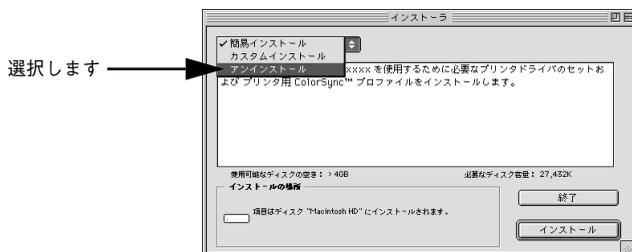
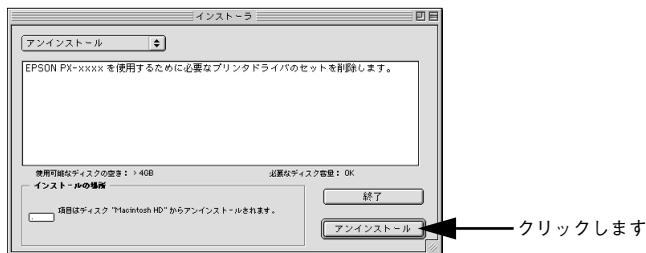
プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まずインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）してください。

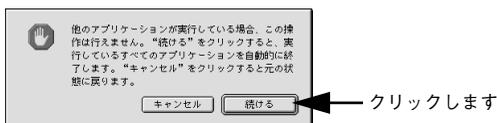
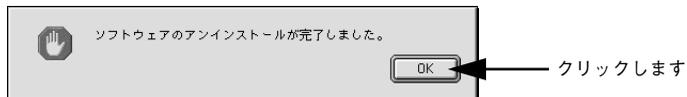
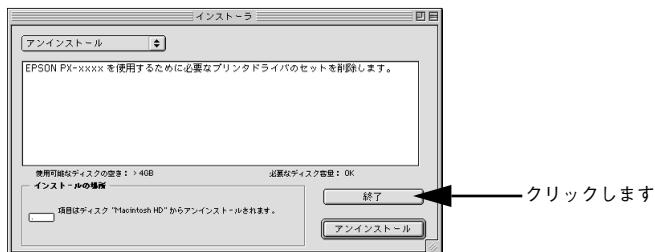
1. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。

2. 「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

3. お使いの機種用の［EPSON PX-7000］または［EPSON PX-9000］フォルダを探し開きます。

4. ［プリンタドライバディスク］フォルダ内の［Disk 1］フォルダを開きます。

5. ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

6 ［続ける］をクリックします。

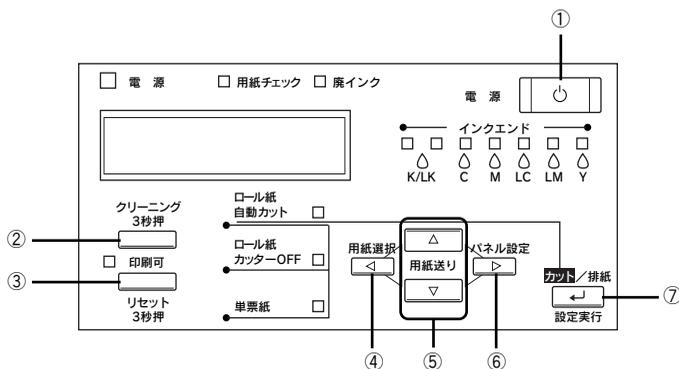
7 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

8 画面左上のメニューから［アンインストール］を選択します。

9 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

10 起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。

アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタドライバをアンインストールしてください。

11 ［OK］ボタンをクリックします。

12 ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタドライバの削除は終了です。

操作パネルの使い方

ここでは、操作パネルの使い方や設定項目について説明をしています。

スイッチとランプについて

スイッチ

①［電源］スイッチ

プリンタの電源をオン / オフします。

②［クリーニング］スイッチ

3 秒押すとプリントヘッド（全色）のクリーニングを行います。印刷品質が悪くなったときなどに行います。

③［印刷可］スイッチ・［リセット］スイッチ

- 印刷可 / 不可状態を切り替えます。
- 3 秒押すと［リセット］スイッチとして機能します。この場合、印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去（リセット）します。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

④［用紙選択］スイッチ

- 用紙種類の選択と、ロール紙選択時の切り離しの有 / 無を設定します。

ロール紙自動カット	ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
ロール紙カッター OFF	ロール紙に印刷します。ロール紙をカットせずに印刷します。オプションのカッターユニットや市販のカッターなどを使って切り離してください。
単票紙	単票紙に印刷します。

ロール紙の種類によっては、本機の内蔵カッターではカットできないものもあります。ロール紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP ）の製造元にお問い合わせください。このような用紙については、必ず［ロール紙カッター OFF ］の設定にしてください。印刷終了後、オプションのカッターユニットや市販のカッターなどでカットしてください。

ポイント

ロール紙選択時の切り離しはプリンタドライバの設定が優先されます。また、［用紙種類］に内蔵カッターでカットできない用紙を選択している場合は、［自動カッター］の設定に関わらず自動的にはカットされません。

Windows：本書 53 ページ「用紙設定」

Macintosh：本書 99 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から上位階層（設定値→設定項目→設定メニュー→印刷可状態）へ戻ります。

⑤［用紙送り］スイッチ

- ロール紙を正方向（▼）または逆方向（▲）に送ります。

ポイント

1 回の操作で戻すことができるのは、最大 20cm までです。

- ロール紙が検出され、用紙セットレバーが解除位置にある状態で操作すると、ロール紙を給紙経路に吸着する力を 3 段階に調整できます。詳細は以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド 61 ページ「ロール紙のセット方法」
- パネル設定モード中に押すと、各階層（設定メニュー、設定項目、設定値）での次の選択肢（▼）または前の選択肢（▲）に切り替えます。

⑥［パネル設定］スイッチ

- メニュー移行可能状態（印刷可能状態または用紙なし状態）で押すと、パネル設定モードに入ります。
  本書 144 ページ「パネル設定モード」

ポイント

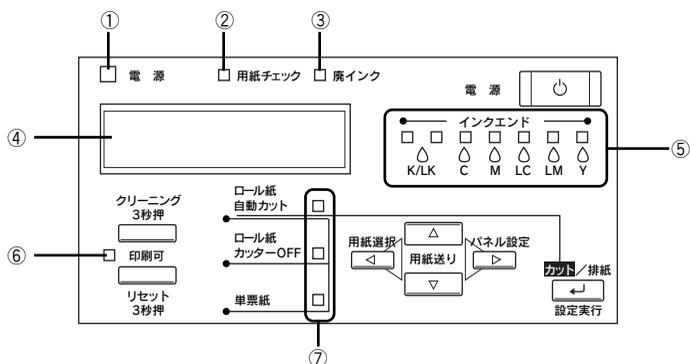
印刷中に押すと、パネル設定モードの［プリンタステータス］メニューに直接入ります。

本書 151 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から下位階層（設定メニュー→設定項目→設定値）へ進みます。
- 5 秒間押し続けると、カッター交換が行える状態になります。カッター交換の手順については、以下のページを参照してください。
  本書 195 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら」

⑦［カット / 排紙］スイッチ・［設定実行］スイッチ

- ロール紙カッター OFF の場合：紙送りします。オプションのカッターユニットや市販のカッターなどを使用してロール紙をカットしてください。
  単票紙の場合：排紙します。
- パネル設定モード中に押すと、選択した設定値を有効にしてプリンタに登録したり、選択した機能を実行します。

ランプとディスプレイ

①電源ランプ

点灯	プリンタ電源オン
点滅	データの処理中 / パワーオフシーケンス実行中など
消灯	プリンタ電源オフ

②用紙チェックランプ

点灯	用紙なしエラー / 用紙セットレバー解除中 / 用紙設定違いなど
点滅	用紙詰まりエラー / 用紙斜行エラーなど
消灯	用紙関連の問題が発生していない状態

③廃インクランプ

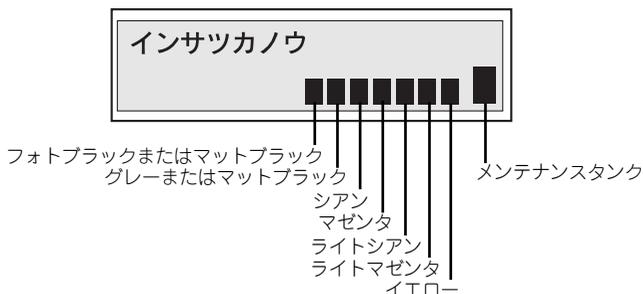
点灯	メンテナンスタンク空き容量なし / メンテナンスタンク未装着
点滅	メンテナンスタンクの空き容量が少ない
消灯	メンテナンスタンク関連の問題が発生していない状態

④ディスプレイ

プリンタの状態や、操作・エラーメッセージを表示します。

本書 143 ページ「操作パネルのメッセージ」
本書 170 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」

また、ディスプレイのメッセージ 2 行目に以下の情報を表示する場合があります（表示可能な場合のみ）。

- 各色インク残量とメンテナンスタンクの空き容量の目安（右詰めで表示）
  それぞれ、次のインクカートリッジ残量 / メンテナンスタンク空き容量を示します。

パネル表示					
説明	十分な空き容量があります。		予備をお買い求めいただくことをお勧めします		予備をお買い求めください。

- ［プラテンギャップ］の設定状態（左端に表示）
  H：［ヒロメ］/［ヨリヒロメ］を選択した場合
  S：［セマイ］を選択した場合
  本書 147 ページ「プラテンギャップ」

⑤インクエンドランプ

インクカートリッジスロットとランプの順番は同じです。

K/LK*（フォトブラックまたはマットブラックまたはグレー）、C（シアン）、M（マゼンタ）、LC（ライトシアン）、LM（ライトマゼンタ）、Y（イエロー）

* ブラック系インクカートリッジスロットに対応するランプは［K/LK］と表記されています。左端のカートリッジスロット #1［K］と、左から 2 つ目のカートリッジスロット #2［LK］それぞれに装着したインクカートリッジのブラック系インク色を示します。

点灯	インクエンド / カートリッジ未装着 / カートリッジ違いなど
点滅	インク残量少
消灯	インク関連の問題が発生していない状態

⑥印刷可ランプ

点灯	印刷可能状態
点滅	インク乾燥時間中 / ヘッドクリーニング中 / インクエンドワーニング（復帰可）時など
消灯	パネル設定モード中 / ポーズ中 / エラー発生時など

⑦用紙選択ランプ

点灯	選択された用紙
点滅	エラー発生時
消灯	選択されていない状態

操作パネルのメッセージ

表示されるメッセージには、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。プリンタの状態に関するメッセージとその意味は次の通りです。エラーメッセージについては以下のページを参照してください。
☞ 本書 170 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」

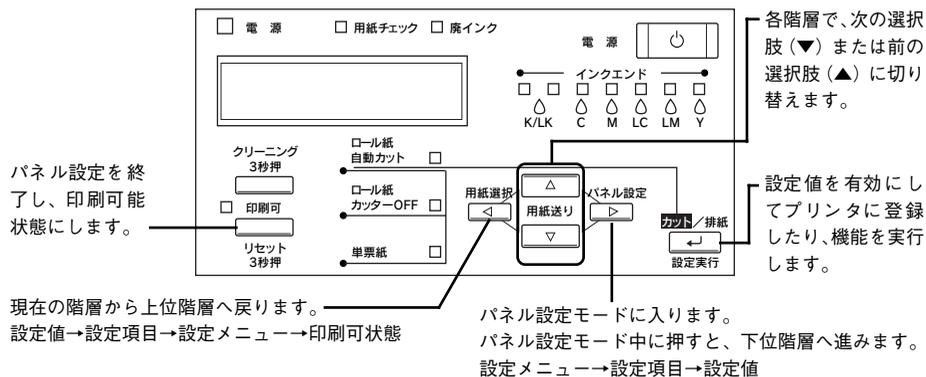
メッセージ	内容
インクカートリッジヲ セットシテクダサイ	インクカートリッジを交換する際に表示されるメッセージです。古いインクカートリッジを取り外して、新しいインクカートリッジを取り付けてください。 ☞ スタートアップガイド42 ページ「インクカートリッジの交換」
インクレバーヲ セットシテクダサイ	インク固定レバーを下げてください（ロックします）。 ☞ スタートアップガイド42 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカンソウチュウ n n フン	インク乾燥中です。インク乾燥残り時間 nn 分です。
インクジュウテンチュウ n n n％	インクの初期充てん処理中です。処理が nnn%進んでいます。
［インサツカスイッチ］ヲ オシテクダサイ	［印刷可］スイッチを押してください。
インサツカノウ （2 行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示	印刷ができます。
インサツチュウ （2 行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	印刷中です。
シバラクオマチクダサイ	そのまましばらくお待ちください。
パワーオフチュウ	パワーオフ状態です。
ポーズ （2 行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	ポーズ中です。
リセット	リセット中です。

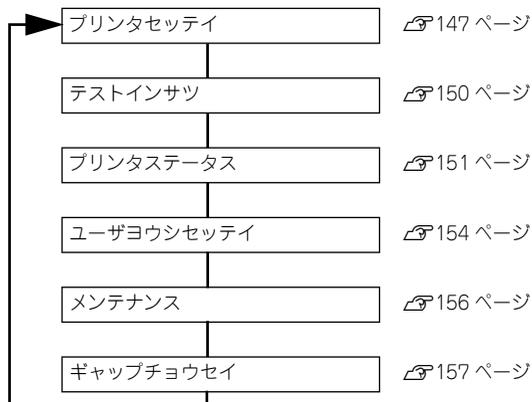
ポイント

インクの乾燥中に［カット / 排紙］スイッチを押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

パネル設定モード

通常の印刷に必要なプリンタの設定は、プリンタドライバまたはアプリケーション上で行いますが、それ以外の設定は操作パネル上（パネル設定モード）から実行します。また、プリンタに関する情報を表示したり、ノズルチェックパターン印刷などの機能を実行できます。

パネル設定モードの操作方法

パネル設定モードには、以下の設定メニューがあります。

147 ページ
150 ページ
151 ページ
154 ページ
156 ページ
157 ページ

以下操作の概略を説明します（ディスプレイのメッセージはすべて表示例です）。

- どの階層で［印刷可能］スイッチを押しても、パネル設定モードから抜けて印刷可能状態に戻ります。
- 各階層で［用紙選択］スイッチを押すと、すぐ上の階層へ戻ります。

1 ［パネル設定］スイッチを押してパネル設定モードに入り、設定メニューを選択します。

ディスプレイ表示

プリンタセッテイ

最初の設定メニューが表示されます

↓［用紙送り（▼/▲）］スイッチを数回押します

ユーザヨウシセッテイ

↓［パネル設定］スイッチを押します
設定項目の階層 2 へ進みます

2 設定項目を選択します。

ユーザヨウシセッテイ
ヨウシバンゴウ　　　ＳＴＤ

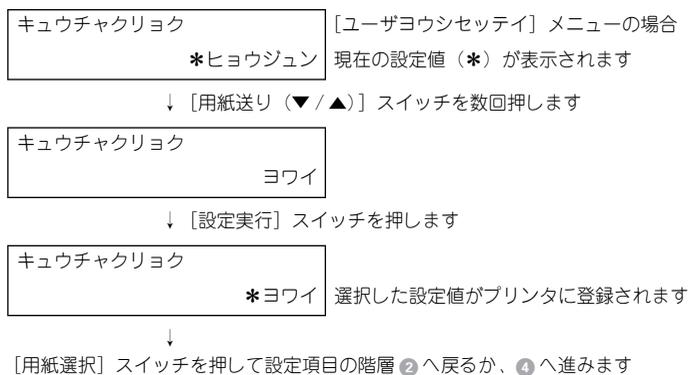
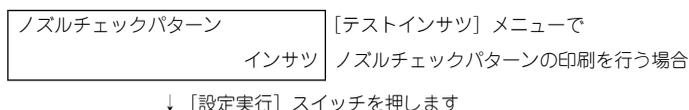
最初の設定項目が表示されます

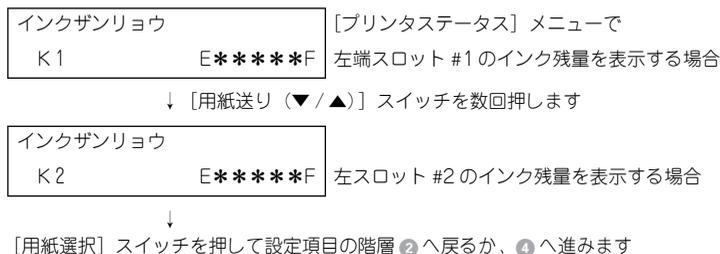
↓［用紙送り（▼/▲）］スイッチを数回押します

ユーザヨウシセッテイ
キュウチャクリョク

↓［パネル設定］スイッチを押します
設定値の階層 3 へ進みます

3 設定値を選択します。

- 設定値が選択できる場合は最初に現在値が表示されます。

- 機能を実行する場合は設定値はありません。［インサツ］または［ジッコウ］と表示されます。

機能の実行が終了すると、自動的にパネル設定モードから抜けます。ここで操作は終了ですので、再度パネル設定モードに入る場合は、1 へ戻ります。

- プリンタの各種情報を表示する場合は、表示情報を選択します。

4 操作をすべて終了したら、［印刷可］スイッチを押してパネル設定モードから抜けます。

［プリンタセッテイ］メニュー

（網掛け）は工場出荷時の設定（初期値）です。

設定項目	設定値	説明
プラテンギャップ	ヒョウジュン	プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを調整します。 ● 通常は［ヒョウジュン］のまま使用します。 ● ［セマイ］を選択すると、パネルに［S］が表示されます。 ● ［ヒロメ］［ヨリヒロメ］を選択するとパネルに「H」が表示されます。
	セマイ	
	ヨリヒロメ	
	ヒロメ	
キリトリセン	ON	［用紙選択］スイッチで［ロール紙カッター OFF］を選択してロール紙を排紙する場合、切り取り線（実線）を印刷できます。 ● ［ON］に設定すると、用紙下端に切り取り線（実線）を印刷します。 ● ［OFF］に設定すると、切り取り線を印刷しません。 〈例〉 ロール紙左端　ロール紙右端 用紙サイズ 排紙方向
	OFF	
インターフェイス	ジドウ	データを受信するインターフェイスを選択します。 ● ［ジドウ］を選択すると、受信データに応じてインターフェイスを自動的に切り替えます。 ● データを受信する単一のインターフェイス（［パラレル］、［USB］、［オプション］）を選択できます。指定したインターフェイス（パラレルインターフェイス、USB インターフェイス、オプションスロットに装着したインターフェイスカード）からのみデータを受信します。
	パラレル	
	USB	
	オプション	
コードページ	PC437	コードページの切り替えをします。PC437（拡張グラフィックス）または PC850（マルチリンガル）の文字コードをセットします。
	PC850	

設定項目	設定値	説明
ロールシヨハク	タテ 15mm 15mm 3mm	ロール紙の余白を設定します。 • ［タテ 15mm］に設定すると用紙サイズの上下に 15mm、左右に 3mm の余白を確保します。 • ［15mm］に設定すると用紙サイズの上下左右に 15mm の余白を確保します。 • ［3mm］に設定すると用紙サイズの上下左右に 3mm の余白を確保します。
ヨウシハバケンシュツ	ON OFF	用紙幅を検出するかどうかを設定します。 • ［ON］にすると用紙幅を検出します。 • ［OFF］にすると用紙幅を検出しません。ただし、セットされた用紙より大きなイメージを印刷すると用紙外に印刷してしまいプリンタ内部が汚れますので、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
シャコウエラーケンシュツ	ON OFF	用紙の斜行を検出するかどうかを設定します。 • ［ON］にすると斜行を検出します。 • ［OFF］にすると斜行を検出せず「ヨウシガシャコウシテイマス」エラーが発生しなくなります。ただし、用紙が斜行した状態で印刷すると用紙外に印刷してしまいプリンタ内部が汚れますので、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
タイムアウトジカン	OFF 30 ビョウ 60 ビョウ 180 ビョウ 300 ビョウ	設定した時間以上に印刷データの受信が途切れた場合、その印刷ジョブを終了とみなして排紙動作を行います。

設定項目	設定値	説明
フチナシセッテイ 詳しくは、以下のページを参照してください。 ☞ スタートアップガイド 74 ページ「フチなし印刷するには」	シヘン 1 カット	以下の動作によりページ間を 1 回でカットして、四辺に余白のないフチなし印刷を行います。 • 印刷開始時は余白をとり、先頭ページの上端で印刷中にカットします。 • 各ページ間は余白をとらずに連続印刷して、ページ間の境界位置でカットします。 • 印刷終了時は最終ページの下端でカットします。
	シヘン 2 カット	以下の動作によりページ間を 2 回でカットして、四辺に余白のないフチなし印刷を行います。 • 印刷開始時は余白をとり、先頭ページの上端で印刷中にカットします。 • ページ間は用紙送りを行って余白をとり、各ページの下端と上端でそれぞれカットします（余白は切り捨てられます）。 • 印刷終了時は最終ページの下端でカットします。 なお、カット後は設定した用紙サイズよりも上下方向が約2mm程度小さくなります。
	サユウ	左右マージンのみをなくし、上下マージンは［ロールシヨ ハク］の設定（3mm、15mm）に従います。
カッターイチチョウセイ	ジッコウ	カッター位置を調整します。印刷実行によりカッター位置調整パターンが印刷されたら、位置のもっともずれが少ないパターン番号を［用紙送り（▼ / ▲）］スイッチを押して入力してください。
マージンリフレッシュ	ON	［フチナシセッテイ］を［シヘン 1/2 カット］から［サユウ］に切り替えると、用紙の先端部分に前の印刷ジョブの画像が印刷汚れとして残る場合があります。［ON］に設定すると、用紙を紙送りしてカット（マージンリフレッシュ）しますので、この印刷汚れをなくすことができます。
	OFF	
セッテイショキカ	ジッコウ	パネル設定された項目の内容を初期値に戻します。

［テストインサツ］メニュー

設定項目	設定値	内容
ノズルチェックパターン	インサツ	ノズルチェックパターンを印刷します。また、ノズルチェックパターンのほかに、ファームウェアバージョン、用紙 / インク使用量、メンテナンスタンクの空き容量も印刷します。 スタートアップガイド20 ページ「ノズルチェックパターン印刷」
ステータスシート	インサツ	現在のパネル設定の内容（ステータス）を印刷します。
ジョブジョウホウ	インサツ	プリンタ内に保存されている印刷ジョブ（最大 10 ジョブ）に関する情報を印刷します。

［プリンタステータス］メニュー

プリンタの現在の状態をパネル上で確認することができます。

設定項目	設定値	内容
バージョン	Bxxxxx P	プリンタのファームウェアバージョンを表示します。
インサツカノウマイスウ	K1 xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、フォトブラックまたはマットブラック（一番左のブランクインクカートリッジ）であと何枚印刷可能かを表示します。
	K2 xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、グレーまたはマットブラック（左から2番目のブラックインクカートリッジ）であと何枚印刷可能かを表示します。
	C xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、シアンインクカートリッジであと何枚印刷可能かを表示します。
	M xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、マゼンタインクカートリッジであと何枚印刷可能かを表示します。
	LC xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、ライトシアンインクカートリッジであと何枚印刷可能かを表示します。
	LM xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、ライトマゼンタインクカートリッジであと何枚印刷可能かを表示します。
	Y xxxxxxx マイ	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、イエローインクカートリッジであと何枚印刷可能かを表示します。

設定項目	設定値	内容
インクザンリョウ	K1 E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	フォトブラックまたはマットブラック（一番左のブランクインクカートリッジ）の残量を表示します。
	K2 E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	グレーまたはマットブラック（左から2番目のブラックインクカートリッジ）の残量を表示します。
	C E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	シアンインクの残量を表示します。
	M E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	マゼンタインクの残量を表示します。
	LC E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	ライトシアンインクの残量を表示します。
	LM E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	ライトマゼンタインクの残量を表示します。
	Y E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	イエローインクの残量を表示します。
メンテナンスタンクカウント	E ＊＊＊＊＊ F （nn%、0%）*	メンテナンスタンクの空き容量を表示します。
ショウヒカウンタ	インク xxxxx.x ml	インクの使用量（フラッシングおよびクリーニング実行時のインク使用量を含む）をミリリットル（ml）で表示します。
	ヨウシ xxxxx.x cm	使用した用紙の長さをセンチメートル（cm）で表示します。ただし、手動で用紙送りした分の用紙長は含みません。
ショウヒカウンタクリア	インク　ジッコウ	［ショウヒカウンタ］-［インク］の表示で使用するインクカウンタを 0 に初期化します。初期化後の任意の印刷物でのインク消費量を計測することができます。
	ヨウシ　ジッコウ	［ショウヒカウンタ］-［ヨウシ］の表示で使用する用紙カウンタを 0 に初期化します。初期化後の任意の印刷物での用紙の使用量を計測することができます。
ジョブリレキ	No.0 ～ No.9	プリンタ内に保存されている印刷ジョブが消費したインク量「l」（ミリリットル）と用紙面積「P」（縦×横平方センチメートル）を表示します。表示できるのは最大 10 ジョブ分で、最新ジョブ番号は No.0 です。
ジョブリレキクリア	ジッコウ	［ジョブリレキ］で表示するジョブの履歴情報をすべて消去します。
インサツマイスウ	nnnnnn マイ	総印刷枚数（6 桁まで）を表示します。

設定項目	設定値	内容
ショウモウヒンジュミョウ	CR モーター E ＊＊＊＊＊ F	これらの情報はサービスエンジニアがプリンタの保守を行う際に必要となるメンテナンス情報です。プリンタを通常お使いいただく上で必要はありません。
	PF モーター E ＊＊＊＊＊ F	
	カッター[*] E ＊＊＊＊＊ F	カッターの寿命を表示します（実際の使用状況によってカッターの摩耗度は異なりますので、あくまでも目安とお考えください）。
	ヘッドユニット E ＊＊＊＊＊ F	これらの情報はサービスエンジニアがプリンタの保守を行う際に必要となるメンテナンス情報です。プリンタを通常お使いいただく上で必要はありません。
	クリーニングユニット E ＊＊＊＊＊ F	

* インクの残量、メンテナンスタンクの空き容量、カッターの寿命は、以下の表示の通りです。

パネル表示	インク残量	メンテナンスタンクの空き容量	カッターの寿命（目安）
E ＊＊＊＊＊ F	100 ～ 81% インク満杯状態（フル）	100 ～ 81% 十分な空き容量	100 ～ 81%
E ＊＊＊＊ F	80 ～ 61%	80 ～ 61%	80 ～ 61%
E ＊＊＊ F	60 ～ 41%	60 ～ 41%	60 ～ 41%
E ＊＊ F	40 ～ 21%	40 ～ 21%	40 ～ 21%
E ＊ F	20 ～ニアエンド直前	20 ～ 10%	20 ～ 1%
E F	―	―	1% 未満
nn%	ニアエンド(残量わずか / インクエンドランプ点滅)	10% 未満 空き容量が少ない（xxx% 未満で廃インクランプ点滅）	―
0%	0% インクエンド(インクエンドランプ点灯)	0% 空き容量なし（廃インクランプ点灯）	―

- インクランプが点滅または点灯したら、新しいインクカートリッジと交換してください。正しく交換を行うと、カウンタは自動的にリセットされます。
  ☞ スタートアップガイド 39 ページ「インクカートリッジの交換」
- 廃インクランプが点滅または点灯したら、新しいメンテナンスタンクと交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。交換方法については以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 166 ページ「メンテナンスタンク」
- カッターの切れが悪くなったり、カッターの寿命（目安）表示が少なくなったら、新しいカッターと交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。
  ☞ 本書 195 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら」

［ユーザヨウシセッテイ］メニュー

任意の用紙に関する付帯情報をあらかじめ設定して登録することができます。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ヨウシバンゴウ</td><td>ヒョウジュン（STD）</td><td rowspan="2">• エプソン純正専用紙は［ヒョウジュン（STD）］の設定でお使いください。プリンタドライバで選択した用紙種類に応じて、最適な印刷を行います。
• 任意の用紙に合わせた設定値（用紙厚、カット圧、カット方法、用紙送り補正、乾燥時間、吸着力、マイクロウィーブ印字調整）を登録する際に番号（1 ～ 10）を選択したり、印刷時に登録番号で設定値を呼び出して印刷を行います。</td></tr>
<tr><td>1 ～ 10</td></tr>
<tr><td>ケンシュツパターン</td><td>インサツ</td><td>• セットした用紙の厚みを検出するためのパターン印刷を行います。
• この項目は、用紙番号で［ヒョウジュン］を選択している場合には表示されません。</td></tr>
<tr><td>ヨウシアツバンゴウ</td><td>1 ～ 17</td><td>• ［ケンシュツパターン］で印刷されたパターンを見て、もっとも線のズレが少ないパターン番号を選択します（［ケンシュツパターン］実行時のみ表示されます）。
• ［ギャップチョウセイ］メニューの［ヨウシアツ］で設定した用紙の厚さを初期値として番号で表示します。厚さと番号は下表のように対応しています。
<table><tr><th>用紙厚</th><th>番号</th></tr><tr><td>0.0mm</td><td>1</td></tr><tr><td>≀</td><td>≀</td></tr><tr><td>1.6mm</td><td>17</td></tr></table>
• この項目は、［ヨウシバンゴウ］で［ヒョウジュン（STD）］を選択している場合には表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カットアツ</td><td>100%</td><td rowspan="2">用紙自動カット時のカッターの圧力を設定します。使用する用紙を実際にカットしながら最適値を探して設定してください。
• 厚く腰の強い用紙の場合は、圧力を上げます。
• 薄く腰のない用紙の場合は、圧力を下げます。</td></tr>
<tr><td>0 ～ 110%</td></tr>
</table>

設定項目	設定値	内容
カットホウホウ	3 ダン 4 ダン	用紙カット時のカット方法を選択します。 • 厚く腰の強い用紙の場合は、[3 ダン]（3 段カット）を選択します。 • 薄く腰のない用紙の場合は、[4 ダン]（4 段カット）を選択します。
ヨウシオクリホセイ	0.00% -1.00 〜 1.00%	用紙送りの補正値を設定します。補正値は、1m の用紙送りに対する割合で設定します。
カンソウジカン	0.0 ビョウ 0.0 〜 10.0 ビョウ	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。
キュウチャクリョク	ヒョウジュン ヨワイ	用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を選択します。ただし、ここで選択した吸着力の設定は、ユーザー用紙の設定すべてに適用されます。 • 通常は［ヒョウジュン］のまま使用してください。 • 薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ［ヨワイ］にします。
インジチョウセイ	5 1 〜 9	マイクロウィーブモードの調整を行います。 • 印字速度を優先する場合は、設定値を下げます。 • 印刷品質を優先する場合は、設定値を上げます。

ユーザー用紙設定に関する詳細な説明は以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 67 ページ「ユーザー用紙設定の方法」

インクの乾燥中に［カット / 排紙］スイッチを押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

［メンテナンス］メニュー

パワークリーニング、ブラックインクカートリッジの交換、またはロール紙カッターの交換を行う際に設定します。

設定項目	設定値	内容
パワークリーニング	ジッコウ	［クリーニング］スイッチで行う通常のクリーニングよりも強力なクリーニングを行います。
ブラックインクコウカン	ジッコウ	ブラックインクカートリッジの交換作業を行います。実行したら、表示されるメッセージに従ってください。手順の詳細は、以下のページを参照してください。 スタートアップガイド45 ページ「ブラックインクの種類交換」
カッターコウカン	ジッコウ	カッターの交換作業を行います。実行したら、表示されるメッセージに従ってください。手順の詳細は、以下のページを参照してください。 本書 195 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら」

［ギャップチョウセイ］メニュー

プリントヘッドのギャップ調整ができます。

設定項目	設定値	内容
ヨウシアツ	ヒョウジュン 0S 3S 0.0 ～ 1.6mm	ギャップ調整で使用する用紙の厚さを選択します。 • エプソン純正専用紙を使用する場合は、［ヒョウジュン］を選択してください。用紙厚センサーが用紙厚を検出して、自動的に値を設定します。 薄紙の場合→ 0.2mm 厚紙の場合→ 1.2mm • 以下の用紙を使用する場合は、［0S］または［3S］を選択してください。 0S：フィルムなど特殊薄紙 3S：厚手 RC 系フチなし印刷推奨用紙 • エプソン純正専用紙以外の用紙を使用する場合は、用紙厚を 0.1mm 単位で設定してください。 以下の設定項目は、［ヨウシアツ］を設定した場合のみ表示されます。
チョウセイ	BI-D ブラック	K1 ブラック（一番左のスロット #1 に装着したインクカートリッジ色）を使い、双方向印刷でギャップ調整を行います。
	BI-D ゼンショク	すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整を行います。
	UNI-D ゼンショク	K1 ブラック（一番左のスロット #1 に装着したインクカートリッジ色）を基準に、ほかの 6 色すべてのインクを使って単方向印刷でギャップ調整（列間補正）を行います。
#1 K1 ～ #3 K1	1 ～ 5 ～ 9	［BI-D ブラック］を選択した場合に、#1 から #3 まで K1 色のギャップ調整を行います。調整パターンの中からもっともずれの少ないパターン番号を設定します。
#1 K1 ～ #3 Y	1 ～ 5 ～ 9	［BI-D ゼンショク］を選択した場合に、#1 から #3 まで全色のギャップ調整を行います。調整パターンの中からもっともずれの少ないパターン番号を設定します。
#1 K2 ～ #3 Y	1 ～ 5 ～ 9	［UNI-D ゼンショク］を選択した場合に、#1 から #3 まで K1 色を基準に全色のギャップ調整を行います。調整パターンの中からもっともずれの少ないパターン番号を設定します。

ギャップ調整に関する詳細な説明は以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 21 ページ「ギャップ調整」

パネル設定モード一覧

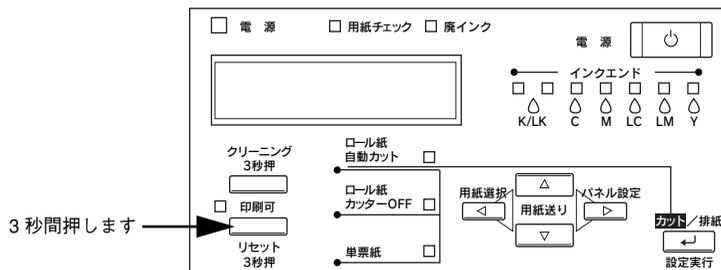
（グレーの網掛け）は工場出荷時の設定（初期値）です。

メニュー	設定項目	設定値
プリンタセッテイ 147 ページ	プラテンギャップ	ヒョウジュン
		セマイ
		ヨリヒロメ
		ヒロメ
	キリトリセン	ON
		OFF
	インターフェイス	ジドウ
		パラレル
		USB
		オプション
	コードページ	PC437
		PC850
	ロールシヨハク	タテ 15mm
		15mm
		3mm
	ヨウシハバケンシュツ	ON
		OFF
	シャコウエラーケンシュツ	ON
		OFF
	タイムアウトジカン	OFF
		30 ビョウ
		60 ビョウ
		180 ビョウ
		300 ビョウ
	フチナシセッテイ	シヘン 1 カット
		シヘン 2 カット
		サユウ
	カッターイチチョウセイ	ジッコウ
	マージンリフレッシュ	ON
		OFF
	セッテイショキカ	ジッコウ
テストインサツ 150 ページ	ノズルチェックパターン	インサツ
	ステータスシート	インサツ
	ジョブジョウホウ	インサツ

メニュー	設定項目	設定値
プリンタステータス ☞ 151 ページ	バージョン	Bxxxxx P
	インサツカノウマイスウ	K1 xxxxxxx マイ
		K2 xxxxxxx マイ
		C xxxxxxx マイ
		M xxxxxxx マイ
		LC xxxxxxx マイ
		LM xxxxxxx マイ
		Y xxxxxxx マイ
	インクザンリョウ	K1 E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)
		K2 E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)
		C E＊＊＊＊＊F (nn%、0%)
		M E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)
		LC E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)
		LM E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)
		Y E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)
	メンテナンスタンクカウント	E＊＊＊＊＊F（nn%、0%）
	ショウヒカウンタ	インク xxxxx.x ml
		ヨウシ xxxxx.x cm
	ショウヒカウンタクリア	インク ジッコウ
		ヨウシ ジッコウ
	ジョブリレキ	No.0 ～No.9
	ジョブリレキクリア	ジッコウ
	インサツマイスウ	nnnnnn マイ
	ショウモウヒンジュミョウ	CR モーター E＊＊＊＊＊F
		PF モーター E＊＊＊＊＊F
		カッター E＊＊＊＊＊F
		ヘッドユニット E＊＊＊＊＊F
		クリーニングユニット E＊＊＊＊＊F

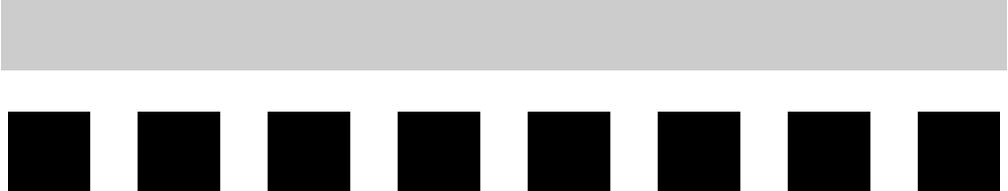
メニュー	設定項目	設定値
ユーザヨウシセッテイ ☞ 154 ページ	ヨウシバンゴウ	ヒョウジュン（STD）
		1～10
	ケンシュツパターン	インサツ
	ヨウシアツバンゴウ *[ケンシュツパターン]実行時のみ表示されます。	1～17
	カットアツ	100%
		0～110%
	カットホウホウ	3 ダン
		4 ダン
	ヨウシオクリホセイ	0.00%
		-1.00～1.00%
	カンソウジカン	xxx ビョウ
		0.0～10.0 ビョウ
	キュウチャクリョク	ヒョウジュン
		ヨワイ
	インジチョウセイ	5
		1～9
メンテナンス ☞ 156 ページ	パワークリーニング	ジッコウ
	ブラックインクコウカン	ジッコウ
	カッターコウカン	ジッコウ
ギャップチョウセイ ☞ 157 ページ	ヨウシアツ	ヒョウジュン
		0S
		3S
	*以下の設定項目は、[ヨウシアツ] 設定時のみ表示します。	0.0～1.6mm
	チョウセイ	BI-D ブラック
		BI-D ゼンショク
		UNI-D ゼンショク
	#1 K1～#3 K1	1～5～9
	#1 K1～#3 Y	1～5～9
	#1 K2～#3 Y	1～5～9

印刷の中止方法

操作パネルスイッチを使って印刷を中止する方法を説明します。

1 **［リセット］スイッチを 3 秒間押します。**

受信データが消去され、印刷が終了します。

2 **コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、印刷データの削除をします。**

Windows：本書 34 ページ「印刷の中止方法」
Macintosh：本書 97 ページ「印刷の中止方法」

オプションと消耗品

ここでは、オプションと消耗品を紹介します。

オプションと消耗品の紹介

本機をより幅広くお使いいただくために、以下のオプション（別売品）と消耗品を用意しています。インターフェイスケーブルについては以下のページを参照してください。

スタートアップガイド25ページ「コンピュータとの接続」

専用紙

本機でご利用いただけるエプソン純正専用紙に関する最新の情報は、インターネットからエプソン販売のホームページでご覧ください。

http://www.i-love-epson.co.jp

ロール紙

PX-7000は24インチ幅までのロール紙を、PX-9000は44インチ幅までのロール紙を使用できます。

型番	サイズ	用紙名称
PMSP24R6	24インチ　約610mm × 45m（2本）	普通紙ロール
PMSP36R6	36インチ　約914mm × 45m（2本）	
PMSP44R6	44インチ　約1,118mm × 45m（2本）	
MCSP24R4	24インチ　約610mm × 25m	MC厚手マット紙ロール
MCSP36R4	36インチ　約914mm × 25m	
MCSP44R4	44インチ　約1,118mm × 25m	
PXMC24R1	24インチ　約610mm × 30.5m	PX/MC写真用紙ロール＜厚手 光沢＞
PXMC36R1	36インチ　約914mm × 30.5m	
PXMC44R1	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCPX24R2	24インチ　約610mm × 30.5m	PX/MC写真用紙ロール＜厚手 半光沢＞
MCPX36R2	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCPX44R2	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
PXMC10R3	10インチ　約254mm × 30.5m	PX/MC写真用紙ロール＜厚手 絹目＞
PXMC24R3	24インチ　約610mm × 30.5m	
PXMC36R3	36インチ　約914mm × 30.5m	
PXMC44R3	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCPX24R4	24インチ　約610mm × 30.5m	PX/MC写真用紙ロール＜厚手 微光沢＞
MCPX36R4	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCPX44R4	44インチ　約1,118mm × 30.5m	

型番	サイズ	用紙名称
MCSP24R1	24インチ　約610mm × 30.5m	MC写真用紙ロール＜光沢＞
MCSP36R1	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCSP44R1	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCSR24R2	24インチ　約610mm × 30.5m	MC写真用紙ロール＜半光沢＞
MCSR36R2	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCSR44R2	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCSP24R8	24インチ　約610mm × 30.5m	MCフォトスタンダード紙ロール＜光沢＞
MCSP36R8	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCSP44R8	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCSP24R9	24インチ　約610mm × 30.5m	MCフォトスタンダード紙ロール＜半光沢＞
MCSP36R9	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCSP44R9	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCSP22R3	22インチ　約559mm × 20m	MC光沢紙ロール
MCSP44R3	44インチ　約1,118mm × 20m	
PXMC24R5	24インチ　約610mm × 30.5m	PX/MCプレミアムマット紙ロール
PXMC36R5	36インチ　約914mm × 30.5m	
PXMC44R5	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCSP24R6	24インチ　約610mm × 18m	MC画材用紙ロール
MCSP36R6	36インチ　約914mm × 18m	
MCSP44R6	44インチ　約1,118mm × 18m	
PXMC24R6	24インチ　約610mm × 15.2m	PX/MCコットン画材用紙ロール
PXMC36R6	36インチ　約914mm × 15.2m	
PXMC44R6	44インチ　約1,118mm × 15.2m	
MCSP24R10	24インチ　約610mm × 40m	MCマット合成紙2ロール
MCSP36R10	36インチ　約914mm × 40m	
MCSP44R10	44インチ　約1,118mm × 40m	
MCSP24R10N	24インチ　約610mm × 30.5m	MCマット合成紙2ロール＜のり付き＞
MCSP36R10N	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCSP44R10N	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCSP44R11N	44インチ　約1,118mm × 20m	MCマット塩ビロール＜のり付き＞
PMSP24R5	24インチ　約610mm × 20m	光沢フィルムロール紙
PMSP36R5	36インチ　約914mm × 20m	
PMSP44R5	44インチ　約1,118mm × 20m	
MCSP24R7	24インチ　約610mm × 30.5m	MCバックライトフィルムロール
MCSP36R7	36インチ　約914mm × 30.5m	
MCSP44R7	44インチ　約1,118mm × 30.5m	
MCPM24R1	24インチ　約610mm × 20m	MC/PMクロスロール＜防火＞
MCPM44R1	44インチ　約1,118mm × 20m	

型番	サイズ	用紙名称
KA3NROLPRF	329mmx15.2m	PX プルーフ用紙ロール＜微光沢＞
PXMC24R7	24 インチ　約 610mm × 30.5m	
PXMC36R7	36 インチ　約 914mm × 30.5m	

単票紙

PX-7000 は A4 から A1 ノビ（24 × 36 インチ）までの単票紙を、PX-9000 は A4 ～ B0 ノビ（1118 × 1580mm）までの単票紙を使用できます。

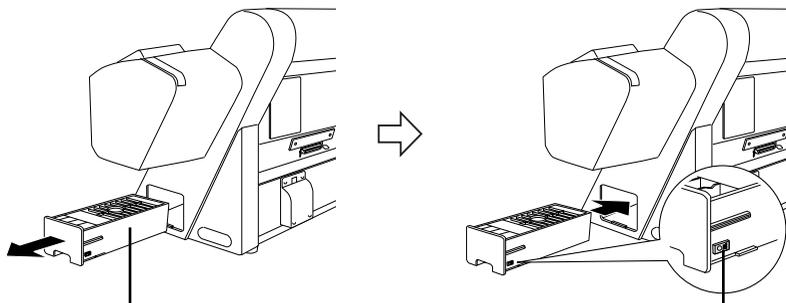
型番	サイズ	用紙名称
KA4250NP	A4（250 枚入り）	上質普通紙
KA4250NPD	A4（250 枚入り）	両面上質普通紙＜再生紙＞
KA3250NPD	A3（250 枚入り）	
KA420MK	A4（20 枚入り）	MC 光沢紙
KA320MK	A3（20 枚入り）	
KA3N20MK	A3 ノビ（20 枚入り）	
KA3N20MG	A3 ノビ（20 枚入り）	MC 画材用紙
KA45MB	A4（5 枚入り）	マットボード紙
PMSPB2B3	B2（10 枚入り）	
PMSPB1B3	B1（5 枚入り）	

インクカートリッジ

標準 110ml タイプ型番	大容量 220ml タイプ型番（PX-9000 のみ）	名称
ICBK24	ICBK25	インクカートリッジ（フォトブラック）
ICMB24	ICMB25	インクカートリッジ（マットブラック）
ICGY24	ICGY25	インクカートリッジ（グレー）
ICC24	ICC25	インクカートリッジ （シアン）
ICLC24	ICLC25	インクカートリッジ（ライトシアン）
ICM24	ICM25	インクカートリッジ （マゼンタ）
ICLM24	ICLM25	インクカートリッジ （ライトマゼンタ）
ICY24	ICY25	インクカートリッジ （イエロー）

メンテナンスタンク

型番	名称
PXMT1	メンテナンスタンク

メンテナンスタンクの交換方法

取り出す際にメンテナンスタンクを傾けないでください。排出されたインクがこぼれるおそれがあります。

新しいメンテナンスタンクをセットする際、緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作できなくなるおそれがあります。

メンテナンスタンクのリサイクルについて

弊社では環境保全活動の一環として、使用済メンテナンスタンクのリサイクル、再資源化を行っています。「使用済みカートリッジ回収ポスト」を回収協力販売店に設置し、集まった使用済みメンテナンスタンクを定期的に回収しています。ぜひ回収ポストに入れてくださいますようご協力をお願いいたします。

専用スタンド

型番	名称
PX70STD	専用スタンド（PX-7000 用）

カッター替え刃

型番	名称
PX90SPB	ペーパーカッター替え刃

本書 195 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら」

自動巻き取りユニット

型番	名称
PXARFU1	自動巻き取りユニット（PX-9000 のみ）

カッターユニット

型番	名称
PX70MCU	PX-7000 用カッターユニット
PM10MCU	PX-9000 用カッターユニット
PM10MCUB	カッターユニット替え刃（PX-7000/9000 共通）

スピンドル

型番	名称
PX70RPSD	ロール紙スピンドル（PX-7000 用）、2 インチ /3 インチ紙管兼用
PX70HSD	ハイテンションスピンドル（PX-7000 用）、2 インチ /3 インチ紙管兼用
PX90RPSD	ロール紙スピンドル（PX-9000 用）、2 インチ /3 インチ紙管兼用
PX90HSD	ハイテンションスピンドル（PX-9000 用）、2 インチ /3 インチ紙管兼用

ロール紙の種類によってはハイテンションスピンドル（オプション）を使用しないと正常に印刷できないものがあります、ハイテンションスピンドルを使用する必要があるかについてはロール紙の取扱説明書を ご覧ください。また指定のロール紙以外で使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因になります。

インターフェイスカード

型番	名称・説明
PRIFNW3S	100BASE-TX 、10BASE-T マルチプロトコルEthernet I/F カード 本機をEthernet でネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。IPX/SPX、TCP/IP 、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。接続には、Ethernet ツイストペアケーブル（カテゴリー 5）が別途必要です。
PRIF14	IEEE1394 I/F カード 本機を IEEE-1394 規格（FireWire）のインターフェイスを装備したコンピュータに接続するためのインターフェイスカードです。Macintosh シリーズと接続して使用する際は、本製品に添付されている Macintosh 用プリンタドライバをお使いください。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120 ー 251 ー 528（フリーダイヤル）
	受け付け時間：月〜金曜日　AM9:00 〜 PM6:15 土曜日　AM9:00 〜 PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

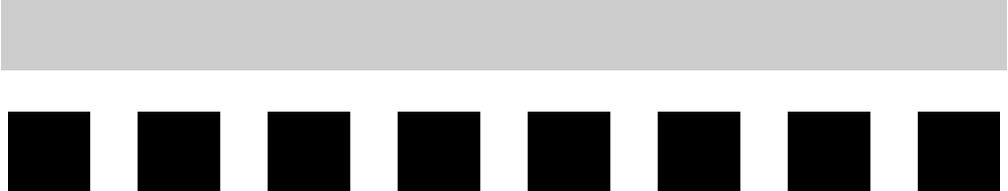
お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	取り扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 ー 251 ー 528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページ、または電話にてご確認ください。

困ったときは

ここでは、トラブル発生時の対処方法を説明をしています。現在の症状がどれに当てはまるのかを以下の項目から選び、該当するページをご覧ください。

操作パネルにエラーメッセージが表示される

表示されるメッセージには、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。プリンタの状態に関するメッセージとその意味は以下のページを参照してください。

本書 143 ページ「操作パネルのメッセージ」

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプ表示とディスプレイメッセージでお知らせます。以下のメッセージ内容を確認し、必要な処置してください。ランプ表示の詳細については以下のページを参照してください。

本書 140 ページ「ランプとディスプレイ」

エラーメッセージ	内容	処置方法
＊＊＊シヲ セットシテクダサイ	用紙が正しくセットされていません。＊＊＊には用紙名（ロール / タンピョウ）が表示されます。	表示された用紙を正しくセットしてください。またプリンタドライバの設定と［用紙選択］スイッチの設定が、用紙と合っていることを確認してください。
インクカートリッジガ アリマセン	インクカートリッジがセットされていないか、外れています。	新しいインクカートリッジを正しく取り付けてください。エラーを起こしたインクカートリッジは取り付けないでください。 スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジカクニン	取り付けたインクカートリッジの型番が、本機で使用できる正規の型番ではありません。	本機で使用できる正規型番のインクカートリッジを取り付けてください。 スタートアップガイド 41 ページ「インクカートリッジの種類」 スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
インクカートリッジコウカン （2 行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	インクがなくなりました。	新しいインクカートリッジを取り付けてください。 スタートアップガイド 41 ページ「インクカートリッジの種類」 スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」

エラーメッセージ	内容	処置方法
インクカートリッジコウカン	本機では使用できないインクカートリッジがセットされています。	本機で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。 スタートアップガイド 41 ページ「インクカートリッジの種類」 スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
	装着しているインクカートリッジに不良個所が発見されました。または、接触不良の可能性があります。	インクレバーを上げて、インクカートリッジをしっかりとセットし直してレバーを下げてください。セットし直しても同じエラーとなった場合は、新しいインクカートリッジに交換してください（不良インクカートリッジは取り付けないでください）。 スタートアップガイド 41 ページ「インクカートリッジの種類」 スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
インクガスクナクナリマシタ （2 行目は各インク残量とメンテナンスタンクの空き容量を表示）	インクの残量が残り少なくなりました。	インクエンドランプが点灯するまで印刷することはできますが、新しいインクカートリッジの用意をしてください。 スタートアップガイド 41 ページ「インクカートリッジの種類」
インクガタリマセン	インクが足りないためクリーニングが実行できません。	新しいインクカートリッジを取り付けてからクリーニングを実行してください。 スタートアップガイド 41 ページ「インクカートリッジの種類」 スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」
インサツデキマセン	パネル設定モード中に何らかのエラーが発生しているためノズルチェックパターン、ギャップ調整パターンなどを印刷できません。	一旦パネル設定モードを終了してください。その後表示されたエラーを解除してから再度印刷を実行してください。 本書 144 ページ「パネル設定モード」

エラーメッセージ	内容	処置方法
オプション I/F エラー	本機では使用できないインターフェイスカードが取り付けられています。	インターフェイスカードを取り外してください。 スタートアップガイド 13 ページ「インターフェイスカード」
コマンドエラー	• コマンドで指定したインクの種類と本機に装着しているインクの種類が異なっています。 • 本機が対応していない形式のデータを受信しました。 • 受信コマンドにエラーがあります。	印刷を中止して、［リセット］スイッチを 3 秒間押して本機をリセットしてください。
	使用するプリンタドライバと、接続されているプリンタが異なっている可能性があります。	印刷を中止し、［リセット］スイッチを 3 秒間押して本機をリセットしてください。接続されているプリンタと、プリンタドライバが一致しているか確認してください。
サービスコール nnnnnnnn	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました（2 行目の「nnnnnnnn」はどんなトラブルが発生したかを示すコードです）。	一旦電源をオフにし、しばらくたってからオンにします。エラーが解除されたら、そのまま使用可能です。再び同じエラーが発生したら、エプソンの修理窓口へ連絡してください。対処方法は以下のページを参照してください。 本書 175 ページ「サービスコールが発生したら」
サイキドウシテクダサイ	エラー復帰途中でプリンタの再起動が必要になっています。	一旦本機の電源をオフにし、しばらくたってから再度電源をオンにしてください。
シバラクオマチクダサイ	プリンタ内部で、タイマのリセットやバッファのクリアをしています。	そのまましばらくお待ちください。
フロントカバーガ アイテイマス	フロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じてください。
メンテナンスコール nnnn	定期交換部品の交換時期が近づきました（2 行目の「nnnn」には交換時期が近づいた部品のコードを示します）。	エプソンの修理窓口へ連絡します。部品を交換しない限り解除されません。対処方法は以下のページを参照してください。 本書 175 ページ「メンテナンスコールが発生したら」
メンテナンスタンクガ アリマセン	メンテナンスタンクが取り外されています。	メンテナンスタンクを正しく取り付けてください。 本書 166 ページ「メンテナンスタンク」

エラーメッセージ	内容	処置方法
メンテナンスタンクケイコク	メンテナンスタンクの空き容量が少なくなりました。	［印刷可］スイッチを押して印刷を続行できますが、すみやかに新しいメンテナンスタンクと交換してください。 本書 166 ページ「メンテナンスタンク」
メンテナンスタンクコウカン	メンテナンスタンクの空き容量がありません。	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 本書 166 ページ「メンテナンスタンク」
ヨウシガ カットサレマセンデシタ	［ロール紙自動カット］の設定で、用紙がカットされませんでした。	• フロントカバーを開けて、カットされなかった用紙片を取り除きます。「ヨウシヲタダシクセットシテクダサイ」と表示されたら、用紙セットレバーを解除して用紙をセットし直します。 本書 194 ページ「用紙が詰まったときは」 • カッター刃が磨耗している場合は、交換してください。 本書 195 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら」
ヨウシガツマリマシタ	用紙が詰まりました。	フロントカバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。フロントカバーを閉め「サイキドウシテクダサイ」と表示されたら、プリンタの電源を一旦オフにして、しばらくたってから再度オンにします。 本書 194 ページ「用紙が詰まったときは」
ヨウシガシャコウシテイマス	用紙が斜めに給紙されています。	• 印刷領域に正しく印刷されていない可能性があります。印刷結果を確認してください。 • 次の印刷のために用紙を正しくセットし直してください。 スタートアップガイド 61 ページ「ロール紙のセット方法」 スタートアップガイド 63 ページ「単票紙の使い方」

エラーメッセージ	内容	処置方法
ヨウシナシ	● 用紙がセットされていません。 ● 印刷の途中でロール紙がなくなりました。	● 用紙を正しくセットし直してください。 スタートアップガイド 61 ページ「ロール紙のセット方法」 スタートアップガイド 63 ページ「単票紙の使い方」 ● 印刷の終了した用紙を取り外し、新しい用紙をセットします。残ったデータが印刷されます。
ヨウシレバーヲ モドシテクダサイ	用紙セットレバーが後ろに倒れています（解除状態）。	用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
ヨウシヲセットシテクダサイ （2 行目は吸着力を表示）	用紙をセットするために用紙セットレバーを後ろに倒しています（解除状態）。	用紙をセットし、用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
ヨウシヲタダシク セットシテクダサイ	用紙が正しくセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。 スタートアップガイド 61 ページ「ロール紙のセット方法」 スタートアップガイド 63 ページ「単票紙の使い方」
	単票紙が正しく排紙されませんでした。	単票紙を取り除いてください。
	自動巻き取りユニットの巻き取り動作が停止しています。 （PX-9000 のみ）	用紙セットレバーを後ろに倒し（解除状態）、検知エリアに不要な物がないか確認します。ロール紙がたるんでいる場合は［Auto ］スイッチをオフにし、［Manual］スイッチで用紙のたるみを直してから用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。 自動巻き取りユニットの取扱説明書
ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	厚紙がセットされているためクリーニングが実行できません。	厚紙を取り外してから用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。

メンテナンスコールが発生したら

メンテナンスコールは、本機の定期交換部品の交換時期が近づいたことを示すワーニングメッセージです。「メンテナンスコール nnnn」と表示された場合は、本機を購入された販売店またはエプソンの修理窓口に連絡し、定期交換部品の交換を依頼してください。定期交換部品は保証期間内外を問わず有償になります。2 行目の「nnnn」(数字)を必ず伝えてください。

本書 222 ページ「サービス・サポートのご案内」

サービスコールが発生したら

サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。

- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した
- 定期交換部品の寿命が尽きた

サービスコールが発生すると、プリンタは自動的に印刷を停止します。一旦電源をオフにし、再度電源をオンにしたときにサービスコールのメッセージが表示されなくなった場合は、しばらくそのままお使いいただくことができます。再度同じサービスコールのメッセージが表示されてプリンタが使用できなくなった場合は、本機を購入された販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。2 行目の「nnnnnnnn」(数字)は、どんなトラブルが発生したかを示すコードです。連絡の際には、必ずこのコード番号を伝えてください。

本書 222 ページ「サービス・サポートのご案内」

電源ランプが点灯しない

電源をオンにしても電源のランプが点灯しない場合は、次の3点を確認してください。

電源プラグがコンセントまたはプリンタ本体から抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

AC電源は規定の電圧になっていますか？

コンセントの電圧を確認し、正しい電圧で使用してください。また、タコ足配線や、テーブルタップへの接続、コンピュータの背面などに設けられているコンセントへの接続はしないでください。

以上の3点を確認の上で電源をオンにしても電源ランプが点灯しない場合は、お買い求めのエプソン販売店かエプソンの修理窓口にご相談ください。

本書222ページ「サービス・サポートのご案内」

印刷しない

プリンタとコンピュータの接続を確認する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタ[*1] とコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。
予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

*1　コネクタ：インターフェイスケーブルの先端を差し込むところ。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞ スタートアップガイド 25 ページ「コンピュータとの接続」

コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ[*1] および延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

*1　プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

インターフェイスケーブルを交換していませんか？

Windows で USB ケーブルからパラレルケーブルへ、またパラレルケーブルから USB ケーブルへ交換するときはプリンタドライバの再設定が必要です。

☞ 本書 214　ページ「インターフェイスケーブルの交換方法（Windows　95/NT4.0/Macintosh を除く）」

パラレルインターフェイスと USB インターフェイスの両方に接続していませんか？

パラレルインターフェイスとUSB インターフェイスを同時に使用することはできません。両方のインターフェイスにコンピュータを接続している場合、USB インターフェイスに接続したコンピュータからのみ、プリンタを使用できます。パラレルインターフェイスに接続したコンピュータからプリンタを使用する場合は、USB インターフェイスと接続しているコンピュータを外してください。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

プリンタドライバがインストールされているか確認する

お使いの機種のプリンタドライバが正しく登録されていますか？

Windowsの場合

PX-7000/9000のプリンタドライバが、［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか？また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

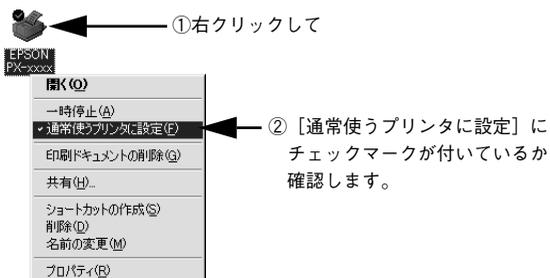
1. **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］を開きます。**
   - Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合

     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - Windows XPの場合

   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、❷へ進みます。
   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③［プリンタとFAX］をクリックします。

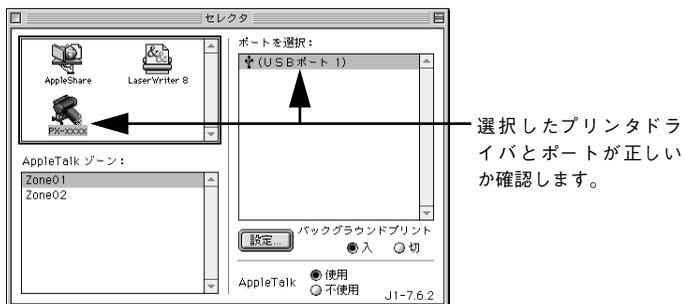
2 ［通常使うプリンタに設定］になっているいか確認します。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

使用するプリンタ名（PX-7000/9000）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

- Windows XP の場合

［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（PX-7000/9000）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Macintosh の場合

本機の Macintosh プリンタドライバ［PX-7000/9000］がセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

Windows において、プリンタドライバからの印字テストは正常に行えますか？

プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。

① プリンタが印刷可能状態であること（電源ランプのみが点灯）を確認し、プリンタに用紙をセットします（単票紙の場合は複数枚セットします）。
② ［スタート］から［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダを開きます。
③［PX-7000/9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。
④ プロパティ画面で Windows 95/98 の場合は［情報］または［全般］タブを選択し右下の［印字テスト］をクリック、Windows NT4.0/2000/XP の場合は［全般］タブを選択し、右下の ［テストページの印刷］をクリックします。

しばらくすると、テストページの印刷がはじまります。下図を参考にして印刷結果が正常かどうかを確認してください。

※印刷されるページは 1 枚のみです。A4 サイズなどの用紙の場合、用紙の下端において印刷が途切れますが、異常ではありません。

※ テストページに記載されている「ドライババージョン」とはWindows 内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

- テストページが正しく印刷された場合は、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。
- テストページが正しく印刷されない場合は、本書のここまでの項目を再度確認してください。

☞ 本書 177 ページ「印刷しない」

エラーが発生していないか確認する

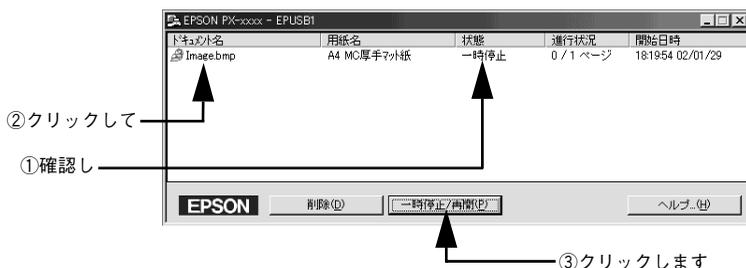
プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示とパネルメッセージで確認します。

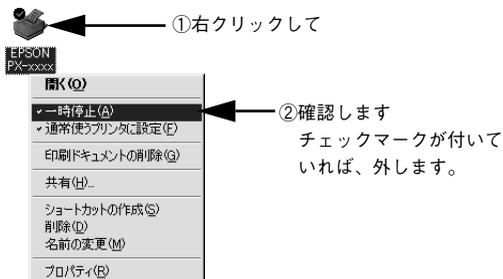
本書 140 ページ「ランプとディスプレイ」
本書 170 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」

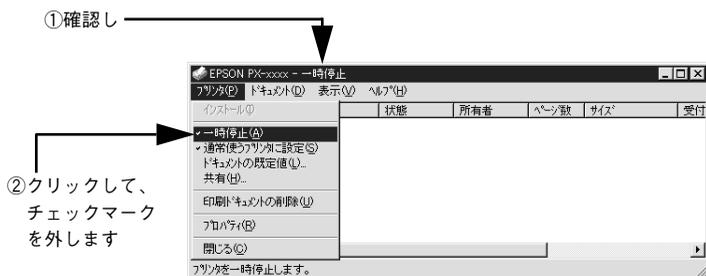
Windows の EPSON スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me その 1

① タスクバー上の［EPSON PX-7000/9000］をクリックしてスプールマネージャを開きます。
② 印刷データの［状態］が［一時停止］になっている場合は、印刷データをクリックして［一時停止 / 再開］ボタンをクリックしてください。
印刷の必要のないデータは削除してください。

Windows 95/98/Me その 2

① ［スタート］の［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。
② ［PX-7000/9000］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［一時停止］にチェックが付いている場合は、クリックして「✔」を外します。

Windows NT4.0/2000/XP

① ［スタート］から［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダを開きます。
② ［PX-7000/9000］アイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックして「✔」を外します。

プリンタを接続したポートと、Windows プリンタドライバのプリンタ接続先の設定が合っていますか？

Windows では通常、プリンタの接続先は、パラレルインターフェイスの場合［LPT1］に、USB インターフェイスの場合は[EPUSBx]（Windows 98/Me）/[USBx]（Windows 2000/XP）に設定されています。接続先に誤りがある場合は、ご使用のインターフェイスケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。また、WPS（Microsoft Windows Printing System）プリンタをインストールしている場合、接続先が「File：」に変更されていることがあるので注意が必要です。

☞ 本書 84 ページ「プリンタ接続先の変更」
☞ 本書 187 ページ「USB 接続時のトラブル」

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh 用プリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。
印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 31 ページ「システム条件の確認」

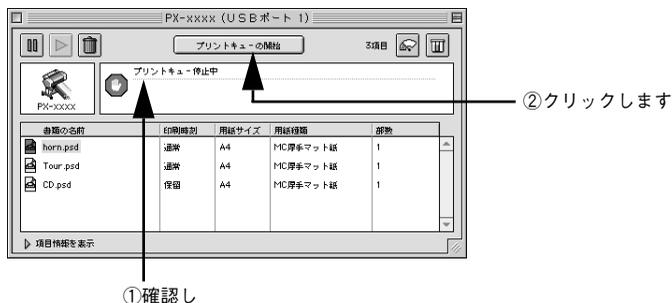
Macintosh でのメモリの設定

① アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。
② メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

Macintosh の EPSON Monitor3 で、ステータスが「プリントキュー停止中」になっていませんか？

EPSON Monitor3 の［プリンタ］メニューで［プリントキューの停止］を選択すると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

① 画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。

② ステータスが「プリントキューの停止中」の場合は、画面上部の［プリンタ］メニューから［プリントキューの開始］をクリックします。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」、「用紙がありません。」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

アプリケーションソフトを確認する

ここでは、トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけで起こるものなのかどうかについて判断します。

違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？

データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。ほかのデータを印刷することで確認してください。また、データ量が大きな場合はデータ量を少なくして確認してください。データ量が大きいときにだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性があります。

Macintoshで、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては適切ですか？

メモリの空き容量を確保した上で、以下の方法で使用するアプリケーションソフトへのメモリの割り当てサイズを増やして、正常な印刷が行えるかどうかを確認してください。

① ハードディスクの中から、メモリの割り当てサイズの変更を行いたいアプリケーションソフトのフォルダをダブルクリックして開きます。
② 開いたフォルダの中の、アプリケーションソフトを起動させるファイル（起動ファイル）をクリックして選択した状態で、画面左上の［ファイル］から［情報を見る］を選択します。
③ 画面上に選択したアプリケーションソフトの情報が表示されますので、そのウィンドウの［メモリ使用条件］の項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］を増やしてください。

インクカートリッジの状態を確認する

プリントヘッドは動くが印刷しない場合は、プリンタの動作確認をしてみましょう。

本機は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。まず、ノズルチェックパターン印刷をしてください。

☞ スタートアップガイド20ページ「ノズルチェックパターン印刷」

<良い例>	<悪い例>

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ スタートアップガイド21ページ「ヘッドクリーニング」

ポイント

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。
  ☞ スタートアップガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- 使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印字ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

プリンタを長期使用せずにいませんでしたか？

プリンタを長期使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期使用しなかった場合の処理については、以下のページを参照してください。

本書219 ページ「プリンタを長期間使用しなかった場合は」

もう一度コンピュータを確認する

システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、PX-7000/9000 をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

Windows：スタートアップガイド27 ページ「システム条件の確認」
Macintosh：スタートアップガイド31 ページ「システム条件の確認」

Windows でお使いの場合、BIOS の設定を確認してください。

コンピュータの BIOS[*1] システムセットアップのパラレルポートのモード設定が EPP などとなっている場合には、Bi-Directional、Compatible、ECPなどに変更してください。BIOS システムセットアップの方法は各社、各機種により異なりますので、コンピュータの取扱説明書などを参照して、設定の確認、変更を行ってください。

*1　BIOS：（Basic Input/Output System）コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。

OS は正常に動作していますか？

以下の方法で、簡単な OS のチェック、修復ができます。詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などを参照してください。

- Windows 95/98/XP の場合

  ［スタート］から［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［スキャンディスク］を起動し、Windows 95/98/Me が入っているドライブのチェック、修復を行ってください。
- Windows NT4.0/2000 の場合

  ［マイコンピュータ］の中から、Windows NT4.0/2000/XP がインストールされているドライブを選択し、［プロパティ］-［ツール］-［エラーチェック］を行ってください。
- Macintosh の場合

  Mac OS に添付の［DiskFirstAid］を実行することにより、OS のチェック、修復が行えます。詳しくは、Mac OS の取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。一度プリンタドライバを削除（アンインストール）してから、再度インストールしてください。

Windows：本書 90 ページ「プリンタドライバの削除」
Windows：スタートアップガイド 27 ページ「ソフトウェアのインストール（Windows）」
Macintosh：本書 134 ページ「プリンタドライバの削除」
Macintosh：スタートアップガイド 31 ページ「ソフトウェアのインストール（Macintosh）」

以上のことを確認しても印刷しない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
本書 222 ページ「サービス・サポートのご案内」

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

ご利用のコンピュータは、USB 接続するためのシステム条件を備えていますか？

本機をUSB ケーブルで接続するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ、または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ）
- USB に対応していて、コンピューターメーカーによりUSB ポートの動作が保証されているコンピュータ

Windows 95 からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

印刷先のポートにプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機は USB ハブの 1 段目（1 台目）までに接続されていますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合はコンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してください。

Windows で USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の〈ユニバーサルシリアルバス〉の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

印刷できない（Windows）

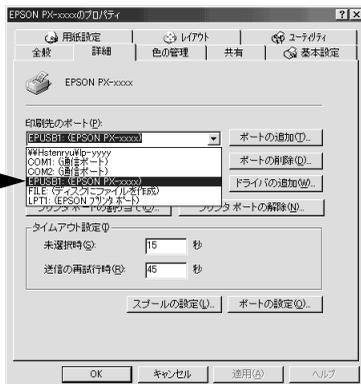
[プリンタ]/[プリンタとFAX]フォルダに[PX-7000/9000]アイコンはありますか？

- ［PX-7000/9000］アイコンがある場合
  プリンタドライバはインストールされています。次項の［印刷先のポート］（Windows 98/Me）/［印刷するポート］（Windows 2000/XP）を確認します。
- ［PX-7000/9000］アイコンがない場合
  プリンタドライバが正常にインストールされていません。プリンタドライバをインストールしてください。
  ☞ スタートアップガイド 27 ページ「ソフトウェアのインストール（Windows）」

［印刷先のポート］/［印刷するポート］が［EPUSBx］/［USBx］になっていますか？

プリンタの電源をオンにして、印刷先のポートを確認します。

- Windows 98/Me の場合：
  プリンタドライバの［詳細］ダイアログを開いて、［印刷先のポート］に［EPUSBx：（PX-7000/9000）］が選択せれているか確認します（x はポート番号を表す数字）。
- Windows 2000/XP の場合：
  プリンタドライバの［ポート］ダイアログを開いて、［印刷するポート］で［USBx］が選択されているか確認します（x はポート番号を表す数字）。

＜例＞ Windows 98 の場合

［EPUSBx］/［USBx］の表示がない場合	［EPUSBx］/［USBx］の表示がある場合
USB デバイスドライバが正しくインストールされていません。プリンタドライバを削除して、インストールし直してください。 本書 90 ページ「プリンタドライバの削除」 スタートアップガイド 27 ページ「ソフトウェアのインストール（Windows）」	ドライバは正常にインストールされています。［EPUSBx：(PX-7000/9000)］/［USBx］を選択してテスト印刷を実行して、印刷できるかご確認ください。

プリンタドライバの接続先は正しいですか？（Windows 98/Me）

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートを確認してください。

本書 84 ページ「プリンタ接続先の変更」

Windows 98/Me 使用時は次の点に注意してください。

- EPUSBx の表示がない場合は、USB デバイスドライバがインストールされていません。USB デバイスドライバをインストールしてください。
- USB デバイスドライバをインストールする前に、一旦プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。

用紙関係のトラブル

給紙･排紙がうまくできない

給紙がうまくできないときは、まず、用紙を正しくセットし直してください。

プリンタの操作パネルとプリンタドライバの用紙種類の設定がセットされている用紙と合っていますか？

［用紙選択］スイッチで用紙の種類をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログの設定をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。

用紙セット位置に合わせて用紙をセットしましたか？

以下のページを参照して正しい位置に用紙をセットしてください。

スタートアップガイド 58 ページ「ロール紙の使い方」
スタートアップガイド 63 ページ「単票紙の使い方」
スタートアップガイド 65 ページ「厚紙のセット方法」

用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。

用紙にシワや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか？

用紙によってはオプションのハイテンションスピンドルを使用しないと正常に給紙できないものがあります。

例）

- MC マット合成紙 2 ロール、MC マット合成紙 2 ロール<のり付>
  用紙にしわが発生します。
- MC 画材用紙ロール
  用紙が斜行します。

以下のページを参照していただくか、用紙の取扱説明書をご覧ください。

スタートアップ 53 ページ「エプソン純正専用紙」

一般の室温環境下で使用していますか？

専用紙は一般の室温環境下（温度: 15 ～ 25 ° C、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。

用紙が湿気を含んでいませんか？

湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、専用紙は、お使いになる分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。未使用のロール紙はプリンタ本体から取り外し、膨らまないように巻き直してから梱包されていた個装袋に戻してください。

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合や、ラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIPの製造元にお問い合わせください。

プリンタに用紙が詰まっていませんか？

プリンタのフロントカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。もし紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照しながら用紙を取り除いてください。

☞ 本書 194 ページ「用紙が詰まったときは」

用紙にしわが発生する

用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか？

用紙によってはオプションのハイテンションスピンドルを使用しないと用紙にしわが発生する場合があります。

例）

- MC マット合成紙 2 ロール、MC マット合成紙 2 ロール<のり付>
  用紙にしわが発生します。

以下のページを参照していただくか、用紙の取扱説明書をご覧ください。

☞ スタートアップ 53 ページ「エプソン純正専用紙」

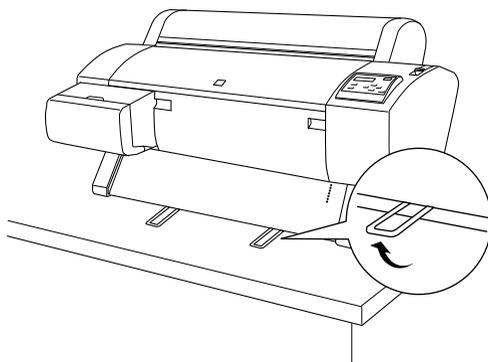
ロール紙の巻き込みが発生した

ロール紙の巻きが強すぎませんか？

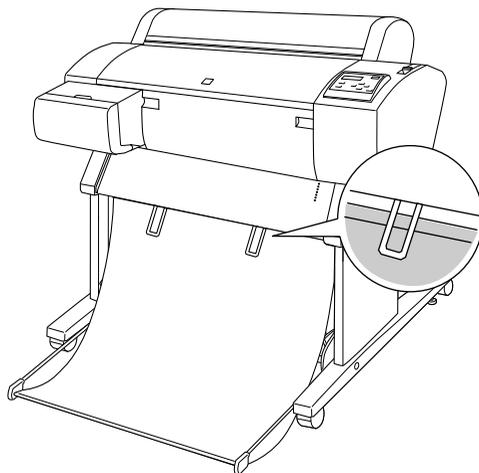
排紙サポートを引き出してください。

排紙サポートは下記の現象が発生した場合にのみ使用します。通常は使用しませんので、必ずプリンタ本体内に収納しておいてください。

PX-7000 にオプションの専用スタンドを装着せず机の上などに設置している場合

巻きの強いロール紙を使用すると、排紙時にプリンタ本体側に巻き込まれたり、机の上面に当たったりして正常に排紙できないことがあります。このような場合は、排紙サポート（2 個）をプリンタ本体から出して使用してください。

PX-7000/9000 に専用スタンドを装着している場合

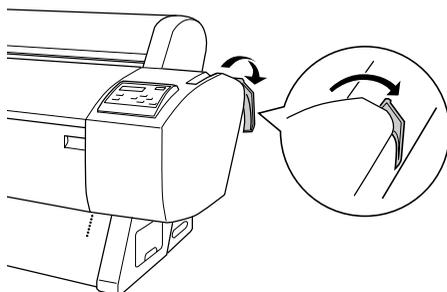
- LP-7000 の専用スタンドはオプション（PX70STD）で、排紙サポートは下図のように 2 個あります。
- LP-9000 の専用スタンドは標準装備品で、排紙サポートは 3 個あります（下図を参考に配置してください）。

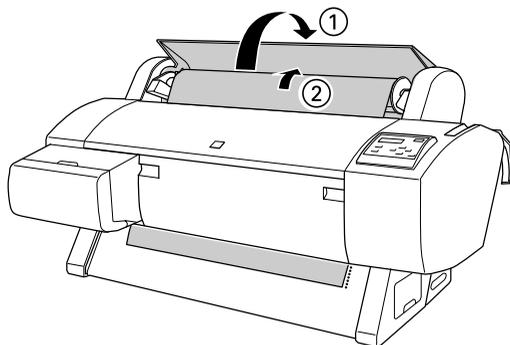
前方排紙の場合は、排紙サポートをオプションの紙受け用バスケットのシャフトに乗せます。

後方排紙の場合は、引き出した排紙サポートをそのまま下に垂らします。

用紙が詰まったときは

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **用紙セットレバーを上げて解除します。**

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

2 **用紙カバーを開けて、ロール紙を巻き戻します。**

単票紙の場合は、そのまま取り出します。

3 **操作パネルに「サイキドウシテクダサイ」と表示されたら、一旦電源をオフにし、再度オンにします。**

用紙がきれいに切り取れなくなったら

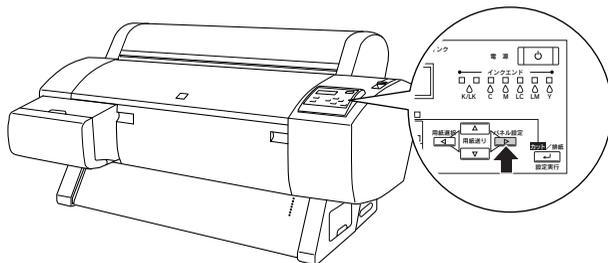
用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。本機で使用できるカッターの当社純正品は、以下の通りです。

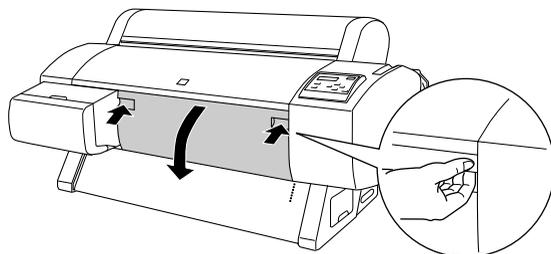
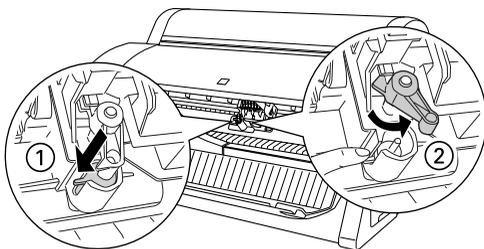
ペーパーカッター替え刃	PX90SPB

- カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッドがカッター交換位置にあるままで放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。
- カッター刃を傷付けないように取り扱ってください。落下や硬い物に当たると刃が欠けることがあります。

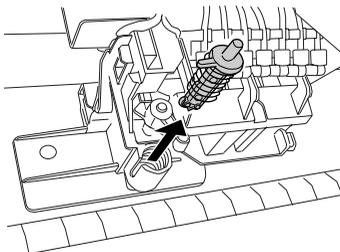
1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

2. **［パネル設定］スイッチを 5 秒間押し続けます。**
パネル設定モードの［メンテナンス］メニューで［カッターコウカン］を実行しても、以降の手順は同じです。

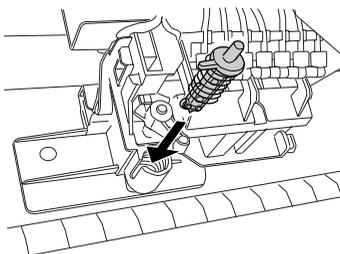
ディスプレイ表示	フロントカバーヲ アケテクダサイ

3. **フロントカバー両端のつまみを持ち、手前に引いてフロントカバーを開けます。**
カッター交換位置までプリントヘッドが移動し、交換位置で停止しています。

カッターヲ コウカンシテクダサイ

4 カッター押さえのツマミを軽く押しながら（①）、カッター押さえのレバーを図の方向に回転させます（②）。

カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

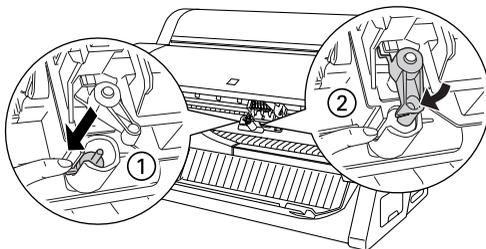
5 カッターを取り出します。

⚠注意 カッター取り扱い時には、カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。なお、子供の手に触れないようにご注意ください。

使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

6 **新しいカッターを箱から取り出し、カッターを図のように取り付けます。**

ガイドに沿って奥まで差し込みます。

ポイント

カッターホルダに組み込まれているバネを飛ばさないように取り付けてください。

7 **カッター押さえのツマミを軽く押しながら（①）、カッター押さえのレバーを元の位置に戻します（②）。**

注 意

カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

8 **フロントカバーを閉じます。**

フロントカバーヲ トジテクダサイ

プリントヘッドが右端に移動します。

以上でカッター交換作業が終了しました。

ポイント

カッター交換が終了したら、ノズルチェックパターン印刷をして目詰まりしてないことを確認してください。

☞スタートアップガイド 20 ページ「ノズルチェックパターン印刷」

印刷品質のトラブル

印刷品質が良くないときは、まず、次の3点を確認してください。

プリンタを、長期間使用せずにいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期間使用しなかった場合の処置については、以下のページを参照してください。

☞ 本書219ページ「プリンタを長期間使用しなかった場合は」

ギャップ調整がされていますか？

双方向印刷をしていて画像がぼけたときは、ギャップ調整をしてください。

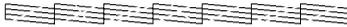
☞ スタートアップガイド21ページ「ギャップ調整」

ポイント

ギャップ調整が必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。

☞ スタートアップガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質に影響する場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

☞ スタートアップガイド20ページ「ノズルチェックパターン印刷」

＜良い例＞	＜悪い例＞

ノズルチェックパターンが欠けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ スタートアップガイド21ページ「ヘッドクリーニング」

ポイント

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。
  ☞ スタートアップガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- 使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印字ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

印刷される文字が画面表示と異なる

ネットワーク環境で、他機種のプリンタドライバを使って本機に接続していませんか？

本機のプリンタドライバが正しく選択されているか確認してください。また、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

本書 178 ページ「プリンタドライバがインストールされているか確認する」

印刷位置が画面表示と異なる

Macintosh でお使いの場合、アプリケーションソフトウェアでページレイアウトの設定をしましたか？

ページレイアウトの設定で用紙サイズと余白（マージン）を確認してください。用紙サイズに対して印刷設定が適切か見直してください。

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に使用している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバ［用紙設定］ダイアログの設定と実際の用紙サイズが合っていなければ正しい位置に印刷されません。設定と実際に印刷する用紙のサイズは合わせてください。

Windows：本書 53 ページ「用紙設定」
Macintosh：本書 99 ページ「[用紙設定］ダイアログ」

カラー印刷ができない

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

ソフトウェア上でカラーデータになっているかどうか確認してください。

例）

アプリケーションソフト「Adobe Photoshop」の場合は［モード］メニューをクリックしてモードがカラーになっているかどうかを確認します。

プリンタドライバのインクの設定が［カラー］になっていますか？

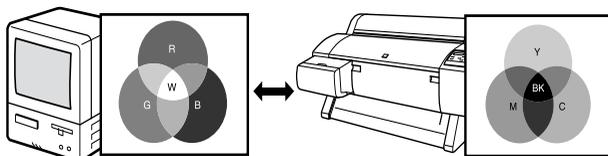
プリンタドライバ[基本設定] ダイアログ(Windows) / [印刷] ダイアログ (Macintosh) 内のインクの設定が［黒］に設定されていると、カラー印刷ができません。設定が［カラー］になっているか確認してください。

Windows：本書 41 ページ「基本設定」
Macintosh：本書 105 ページ「[印刷］ダイアログ」

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

- テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3 色すべてが光っている状態が白となります。
- 一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）・マゼンタ（M）・シアン（C）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのがもちろん白で、3 色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせこみ）を行うのが、ICM/sRGB（Windows 95/98/2000）や ColorSync（Macintosh）です。

プリンタドライバのオートフォトファイン !4 機能を有効にしていませんか？

オートフォトファイン !4 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !4 を有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。

☞ Windows：本書 44 ページ「[手動設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 109 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

Macintosh で ColorSync をお使いの場合、システム特性の設定を行いましたか？

ColorSync が正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞ 本書 129 ページ「ColorSync について」

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。目的に応じて用紙（専用紙と普通紙など）を使い分けていただくことをお勧めします。

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバ[基本設定]ダイアログ(Windows) / [印刷]ダイアログ(Macintosh)の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響をおよぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

［速い］で印刷していませんか？

プリンタドライバで［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で［きれい］を選択してください。

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり色合いが変わる場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

☞ スタートアップガイド 20 ページ「ノズルチェックパターン印刷」

＜良い例＞	＜悪い例＞

ノズルチェックパターンが欠けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ スタートアップガイド 21 ページ「ヘッドクリーニング」

ポイント

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。
  ☞ スタートアップガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- 使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印字ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限（プリンタ装着後は6ヵ月以内）までに使用することをお勧めします。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで色合いが変わる場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？

印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。

罫線が左右にガタガタになる

ギャップ調整された状態で双方向印刷（高速印刷）をしていますか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。

☞ スタートアップガイド21ページ「ギャップ調整」

一部のデータが印刷されない

ロール紙余白を15mmに設定していませんか？

パネル設定モードの［ロールシヨハク］を15mmに設定すると、自動回転した場合や用紙幅いっぱいの印刷（24インチ幅のロール紙にA1縦サイズの印刷をしたりA2横サイズの印刷をする場合など）をすると、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなります。ロール紙余白を3mmに設定して印刷してください。

☞ 本書147ページ「［プリンタセッテイ］メニュー」

用紙が斜行していませんか？

通常は用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の［シャコウエラーケンシュツ］が［OFF］になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。パネル設定モードの［シャコウエラーケンシュツ］を［ON］に設定してください。

☞ 本書147ページ「［プリンタセッテイ］メニュー」

用紙幅は適切ですか？

印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］が［OFF］になっていると用紙幅を超えても印刷してしまいます。パネル設定モードの［ヨウシハバケンシュツ］を［ON］に設定してください。

☞本書 147 ページ「［プリンタセッテイ］メニュー」

印刷にムラがある、薄い、または濃い

以下のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを掲載していますので参照してください。

☞スタートアップガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限（プリンタ装着後は6ヵ月以内）までに使用することをお勧めします。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで印刷品質に影響する場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバ［基本設定］ダイアログ（Windows）/［印刷］ダイアログ（Macintosh）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響をおよぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

［速い］で印刷していませんか？

プリンタドライバ上で［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、［きれい］を選択してください。

プリンタドライバでカラー調整をしましたか？

出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。

Windows：本書 44 ページ「［手動設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 109 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？

印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。

印刷がきたない、汚れる、にじむ

ポイント

以下のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを掲載していますので参照してください。

スタートアップガイド巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIP の製造元にお問い合わせください。

厚い用紙でプリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？

厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このような場合には、パネル設定モードの［プラテンギャップ］を［ヒロメ］または［ヨリヒロメ］に設定してください。

本書 147 ページ「［プリンタセッテイ］メニュー」

薄い用紙で用紙が送れず同じ部分に印刷していませんか？

薄い用紙を使用すると、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないことがあります。このような場合には、パネル設定モードの［キュウチャクリョク］を［ヨワイ］に設定してください。

本書 154 ページ「［ユーザヨウシセッテイ］メニュー」

普通紙を使用していませんか？

カラー画像の印刷や、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。

プリンタの内部が汚れていませんか？

用紙の上端および用紙の裏面が汚れる場合は、プリンタ内部の用紙の通過経路が汚れている可能性があります。プリンタの内部の汚れをきれいにしてください。

☞ 本書 218 ページ「プリンタのお手入れ」

ロール紙の余白（マージン）を 3mm に設定していますか？

使用する用紙や環境によっては印刷が汚れる場合があります。パネル設定モードの[ロールシヨハク]の設定を[15mm]または[タテ 15mm]に設定して印刷してください。

☞ 本書 147 ページ「[プリンタセッテイ] メニュー」

枠線がぼやけていますか？

使用環境の温度あるいは湿度が動作保証以下になっている場合に発生します。動作保証環境下で印刷してください。

設定と印刷物の用紙サイズが異なる

ロール紙余白を 15mm に設定していませんか？

パネル設定モードの［ロールシヨハク］の設定を 3mm に設定しても 15mm に設定しても印刷可能領域のサイズは変わりません。つまり、余白 15mm の設定をすると、余白 3mm の設定に比べ、1 辺につき 12mm ずつ余白が広く確保されるということです。このためプリンタドライバ上の用紙サイズが同一であっても余白 15mm の設定にして印刷した方が印刷物のサイズが大きくなります。

☞ 本書 147 ページ「[プリンタセッテイ] メニュー」

印刷した用紙の裏側が汚れる

プリンタ内部が汚れていませんか？

プリンタ内部の汚れを取り除いてください。

☞ 本書 218 ページ「プリンタのお手入れ」

通常は印刷イメージが用紙幅より大きい場合や用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定モードの［ヨウシハバケンシュツ］や［シャコウエラーケンシュツ］が［OFF］になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］や［シャコウエラーケンシュツ］は［ON］に設定してください。

☞本書 147 ページ「[プリンタセッテイ] メニュー」

EPSON プリンタウィンドウ !3 でのトラブル

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタの電源が入っていますか？
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオンにします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
スタートアップガイド 25 ページ「コンピュータとの接続」

Windows プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？
EPSON プリンタウィンドウ !3 は、双方向通信機能を利用して動作可能なユーティリティです。通常は、インストールすることで自動的に設定されますが、プリンタが監視できない場合などに双方向通信機能の設定を確認してください。

- Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

お使いのコンピュータ（またはケーブル）は、双方向通信に対応していますか？
お使いのコンピュータが双方向通信に対応しているかをコンピュータのメーカーに確認してください。EPSON PC シリーズ全機種、および NEC PC-9800 シリーズ、各社 DOS/V 系の一部の機種は対応しておりません。また、お使いのケーブルがエプソン製プリンタケーブル PRCB5 の場合も双方向通信機能は使用できませんので、PRCB5N をご使用ください。

Windows 98/Me/2000/XP をご利用の場合、接続に使用しているインターフェイスケーブルと印刷先のポートの設定が合っていますか？

パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は［LPT1］を、USB ケーブルをご利用の場合は「EPUSBx」（Windows 98/Me）/［USBx］（Windows 2000/XP）を印刷のポートに設定します。

本書 84 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリンタにエラーが発生していませんか？

プリンタにエラーが発生していると、コンピュータとプリンタが通信できなくなる場合があります。プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示を確認してください。

本書 140 ページ「ランプとディスプレイ」

その他のトラブル

オプションのインターフェイスカード経由で印刷できない

インターフェイスカードは正しく取り付けられていますか？
インターフェイスカードがプリンタ内部のコネクタにしっかりと差し込まれているか確認してください。また、カードはネジで必ず固定してください。

インターフェイスカードとコンピュータの設定条件が合っていますか？
インターフェイスカードとコンピュータの取扱説明書を参照して、同じ条件に設定してください。

インターフェイスカードが有効となる設定になっていますか？
インターフェイスカードによってはカード上のディップスイッチなどで有効 / 無効を選択するものがあります。カードの取扱説明書で確認してください。

パネル設定モードで［パラレル］または［USB］になっていませんか？
パネル設定モードの［インターフェイス］が［パラレル］または［USB］になっているとオプションのインターフェイスカードが使用できません。［ジドウ］または［オプション］に設定してください。
本書 147 ページ「［プリンタセッテイ］メニュー」

ネットワーク環境下で印刷ができない

プリンタとコンピュータを 1 対 1 で接続して、印刷を行ってみてください。
1 対 1 の接続で印刷ができる場合は、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者にご相談いただくか、お使いのシステムやインターフェイスカードなどの取扱説明書を参照してください。1 対 1 の接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目を参照してください。

NEC PC-98 版 Windows 95 から印刷ができない

NEC PC-9821 シリーズに変換コネクタ（ハーフピッチ 36 ピン→ 14 ピン）が装着されていませんか？
変換コネクタ（ハーフピッチ 36 ピン→ 14 ピン）を取り外して、エプソン製ケーブル PRCB5N で接続してください。

Macintosh で印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

Macintosh 本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどしてメモリの空き容量を増やすか、Macintosh のメモリを増設してください。

- システムの空きメモリ容量とは、アップルメニューから［このコンピュータについて ...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
- 印刷に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。
  ☞ スタートアップガイド 31 ページ「システム条件の確認」
- 必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的に Macintosh の仮想メモリを使用してください（［システムが使用するメモリ］＋［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください）。

ご使用の環境にもよりますが、以上の措置により、より快適にご使用になれる場合があります。

Macintosh のセレクタにプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバは QuickDraw GX には対応しておりませんので、QuickDraw GX がインストールされている Macintosh のセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバは表示されません。

この場合、QuickDraw GX を使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。

Windows でプリンタドライバのコピーができてしまったら？

同じプリンタドライバを何度もインストールしていませんか？

Windows において、PX-7000/9000 のプリンタドライバがインストールされている状態で新たに PX-7000/9000 のプリンタドライバをインストールすると、[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダの中に [EPSON PX-7000/9000（コピー2）]、[EPSON PX-7000/9000（コピー3）] というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。[EPSON PX-7000/9000] アイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても何ら問題はありません。プリンタフォルダ内に [EPSON PX-7000/9000] アイコンが 1 つでも残っていれば、ほかの PX-7000/9000 のアイコンを削除しても、PX-7000/9000 のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。

そのような場合は、以下のページを参照し、プリンタドライバを入手してください。
本書 216 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

お問い合わせいただく前に

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。
→プリンタの動作確認

1. **電源をオフにし、プリンタケーブルを外します。**
2. **電源をオンにします。**
3. **プリンタにロール紙をセットし、［用紙選択］スイッチで用紙を選択します。**
4. **［パネル設定］スイッチを押します。**
5. **［用紙送り（▼ / ▲)］スイッチを押して［テストインサツ］を表示させせます。**
6. **［パネル設定］スイッチを押して、設定項目の階層に入ります。**
   ディスプレイに［ノズルチェックパターン］と表示されます。
7. **再度［パネル設定］スイッチを押して、設定値の階層に入ります。**
   ディスプレイの 2 行目に［インサツ］と表示されます。
8. **［設定実行］スイッチを押します。**
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。印刷しない場合は、1 からもう一度やり直してください。

正常に印刷ができない　　**正常に印刷できる**

お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
本書 222 ページ「サービス・サポートのご案内」

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows 標準添付のワードパッドおよび、Macintosh 標準添付の Simple Text で簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

Windows

［ファイル］メニュー内の［印刷］を実行します。

Macintosh

［ファイル］メニュー内の［プリント］を実行します。

正常に印刷ができない

プリンタドライバのインストール･設定･バージョンに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

正常に印刷できる

- ご使用のアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。この場合は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合せ先へご相談ください。
- プリンタドライバをバージョンアップさせることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。

  本書 216 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

それでもトラブルが解消できない場合は､お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

本書 222 ページ「サービス・サポートのご案内」

お問い合せの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトウェアの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称（PX-7000/9000）をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

ここでは、より快適にお使いいただくための提案や、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

インターフェイスケーブルの交換方法（Windows 95/NT4.0/Macintosh を除く）

パラレルケーブルとUSB ケーブルでは印刷のために必要なドライバや印刷先の設定が異なります。ケーブルを交換して印刷する場合は以下の手順に従ってください。

パラレルケーブルを USB ケーブルに交換する場合

1. アプリケーションを起動している場合は終了させます。

2. PX-7000/9000 プリンタドライバと EPSONプリンタウィンドウ !3 を一旦削除します。
☞ 本書 90 ページ「プリンタドライバの削除」

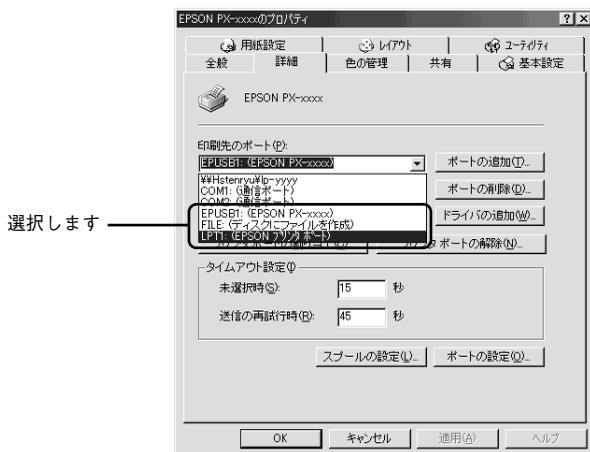
3. プリンタの電源をオフにして、プリンタ、コンピュータそれぞれにUSB ケーブルを接続します。

4. スタートアップガイドを参照して、プリンタドライバなどをインストールします。
☞ スタートアップガイド 28 ページ「プリンタドライバのインストール」

ポイント

- パラレルケーブルを外すときは、プリンタ、コンピュータそれぞれの電源をオフにしてから外してください。
- インストールは、必ず「スタートアップガイド」の手順に従って行ってください。それ以外の手順では正しくインストールできません。

USB ケーブルをパラレルケーブルに交換する場合

1. 印刷先のポートを［EPUSBx:（PX-7000/9000）］（Windows 98）/［USB PX-7000/9000］（Windows 2000）から［LPT1］に変更します。
本書 84 ページ「プリンタ接続先の変更」

- 印刷先のポートを変更するだけでも印刷できますが、より良い環境でお使いいただくために、一旦プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してから、プリンタとコンピュータの電源をオフにしてケーブルを接続し直し、「スタートアップガイド」の手順に従って再度プリンタドライバなどのインストールを行っていただくことをお勧めします。
スタートアップガイド 28 ページ「プリンタドライバのインストール」
- インストールは、必ず「スタートアップガイド」の手順に従って行ってください。それ以外の手順では正常にインストールできません。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新ドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細については、スタートアップ巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮[*1] ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍[*2]してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

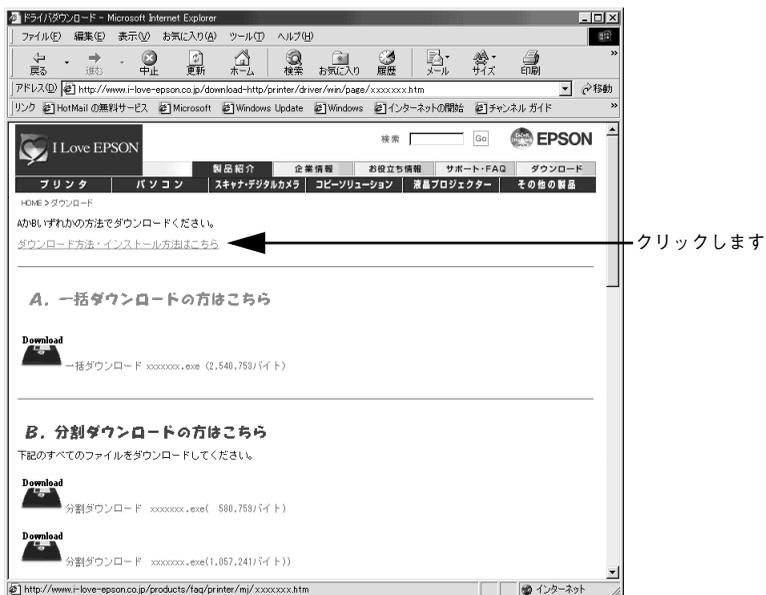
インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows：本書 90 ページ「プリンタドライバの削除」

Macintosh：本書 134 ページ「プリンタドライバの削除」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2 **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

プリンタのお手入れ

プリンタをいつでも良い状態でご使用できるように、定期的（1年に数回）にプリンタのお手入れをしてください。

1. プリンタから用紙を取り除きます。
2. プリンタの電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. 柔らかいブラシを使って、ホコリや汚れを注意深く払います。

⚠注意　プリンタ内部に水気が入らないように、注意して拭いてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

プリンタ内部がインクで汚れた場合は

プリンタの電源がオフになっていることを確認してから、よく絞った布で拭き取ります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、注意深く扱ってください。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油が必要と思われる場合は、エプソンの修理窓口にご相談ください。
  本書 222 ページ「サービス・サポートのご案内」

通常は印刷イメージが用紙幅より大きい場合や用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］や［シャコウエラーケンシュツ］が［OFF］になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］や［シャコウエラーケンシュツ］は［ON］に設定してください。

プリンタを長期間使用しなかった場合は

インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは7色全部を取り付けた状態にしてください。

- プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
  ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、印刷しない場合でも、月に1回はプリンタの電源をオンにして、数分（1～2分）おいてください。
- 長期間使用していないプリンタを使用する場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
  ☞ スタートアップガイド20ページ「ノズルチェックパターン印刷」
  ☞ スタートアップガイド21ページ「ヘッドクリーニング」
- 長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを5回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上経過した後、再度ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを実行してください。

- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、インフォメーションセンターへお問い合わせください。インフォメーションセンターのお問い合わせ先はスタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

プリンタの輸送・移動

輸送の方法

輸送の際は、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。輸送する場合は、本機をお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

移動の方法

- 水平の状態で移動させてください。プリンタ本体を傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動後の正常な動作が保証できません。
- オプションの専用スタンドに付属のキャスターは運搬機器のキャスターとは異なり、屋内の平坦な場所において多少の移動を行う場合のみを想定して作られています。

1. **用紙セットレバーを手前に戻し、フロントカバーが開いていないことを確認します。**

2. **すべてのインクカートリッジを取り外します。**
   取り外し方は、以下のページを参照してください。
   ☞ スタートアップガイド 42 ページ「インクカートリッジの交換」

電源はオン・オフどちらの状態でインクカートリッジを取り外してもかまいません。

3. **スピンドルを取り外します。**

4. **電源がオフになっていることを確認して、電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。**

5. **オプションの専用スタンドが付いているときはキャスターのロックを解除して移動します。**
   本機と専用スタンドを分離して移動するには、PX-7000 の場合はオプションの専用スタンド（型番：PX70STD）に付属の組立説明書を参照してください。PX-9000 の場合は、同梱の「開梱と据置作業を行われる方へ」を参照してください。

移動後の手順

移動後は以下の手順で本機を使用可能な状態にしてください。

1. **据置場所に適した場所を確認します。**
   ☞ 開梱と据置作業を行われる方へ「据置に適した場所」

2. **専用スタンドを使用する場合は、先に取り付けます。**
   PX-7000 の場合は、オプションの専用スタンド（型番 PX70STD）に付属の組立説明書を参照してください。

   ポイント
   PX-9000 の専用スタンドは標準装備品です。「開梱と据置作業を行われる方へ」を参照してください。

3. **専用スタンドごと移動した場合や専用スタンドを取り付けた場合は、キャスターをロックします。**

4. **電源ケーブルを取り付けます。**
   ☞ スタートアップガイド 14 ページ「電源ケーブルの接続」

5. **インクカートリッジを取り付けます。**
   ☞ スタートアップガイド 15 ページ「インクカートリッジの取り付け」

6. **プリントヘッドの目詰まりがないかをチェックします。**
   ☞ スタートアップガイド 20 ページ「ノズルチェックパターン印刷」

7. **ギャップ調整を行います。**
   ☞ スタートアップガイド 21 ページ「ギャップ調整」

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

インターネットサービス

EPSON製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書をFAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

本書 169 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。
保守サービスに関してのご相談、お申込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。）
  受付日時、受付時間については、スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しております。詳細については、お買い求めの販売店または最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	● 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ● 修理のつど発生する修理代・部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。 ● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください

* 定期交換に伴う出張基本料・技術料・部品代が、保証期間内・外を問わず有償となります。
（年間保守契約の場合は、定期交換部品のみ、有償となります。）
* 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので持込保守および持込修理はご遠慮願います。

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

基本仕様

印字方式	インクジェット
ノズル配列	ブラック系インク：96 ノズル× 2 色（合計 192 ノズル）
	カラー：96 ノズル × 5 色（合計 480 ノズル）
印字方向	双方向最短距離印刷
解像度（最大）	2880 × 1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター
紙送り方式	フリクションフィード
用紙幅（最大）	PX-7000：610mm（約 24 インチ）、A1 ノビ対応
	PX-9000：1,118mm（約 44 インチ）、B0 ノビ対応
内蔵メモリ	PX-7000：32MB
	PX-9000：64MB
インターフェイス	標準：パラレル IEEE1284 準拠双方向（コンパチブル、ニブルモード、ECP モード） USB（Rev. 1.1 および2.0 対応）
	オプション：Type B I/F（1 スロット）

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
顔料インク色	ブラック系：フォトブラック、マットブラック、グレー（2 色組み合わせ指定あり）
	カラー：シアン、ライトシアン、マゼンタ、ライトマゼンタ、イエロー
有効期間	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温）
印刷品質保証期限	6ヵ月（プリンタ取り付け後）
保存温度	保存時：-30 ～ 40℃（個装保存時 40 ℃の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：-30～60℃（個装輸送時60 ℃の場合120時間以内、40℃の場合 1ヵ月以内）
容量	標準 110ml タイプまたは大容量 220ml タイプ
カートリッジ外形寸法	110ml タイプ：幅 25.1mm ×奥行き 165.8mm ×高さ 106.6mm
	220ml タイプ：幅 25.1mm ×奥行き 280.8mm ×高さ 106.6mm（PX-9000 のみ）
重量	110ml タイプ：約 200g
	220ml タイプ：約 385g（PX-9000 のみ）

- インクは-15℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

用紙仕様

エプソン純正専用紙については以下のページを参照してください

☞ セットアップガイド 53 ページ「エプソン純正専用紙」

市販の用紙を使用する場合は、以下の仕様を満たす必要があります。

ロール紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	ロール紙サイズ	2 インチ芯径：外径 103mm 以内 /1 本セット可能
		3 インチ芯径：外径 150mm 以内 /1 本セット可能
	用紙サイズ 2 インチ芯径	PX-7000 :203mm ～ 610mm（横）× ～ 45m（縦）（ロールサイズ内のこと）
		PX-9000 :203mm ～ 1118mm（横）× ～ 45m（縦）（ロールサイズ内のこと）
	用紙サイズ 3 インチ芯径	PX-7000 :203mm ～ 610mm（横）× ～ 202m（縦）（ロールサイズ内のこと）
		PX-9000 :203mm ～ 1118mm（横）× ～ 202m（縦）（ロールサイズ内のこと）
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.11mm（用紙重量 64 ～ 90gf/m²）
		その他の用紙種類の場合：0.08mm ～ 0.50mm
	フチなし印刷可能幅 （左右フチなし印刷）	PX-7000：8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ
		PX-9000：8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ
単票紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	用紙サイズ	PX-7000：A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）、A2、A1、A1 ノビ（24 × 36 インチ）、B4、B3、B2、Letter（8-1/2 × 11 インチ）、全紙（18 × 22 インチ）、大全（20 × 24 インチ）、全倍（22 × 36 インチ）、8 × 10 インチ、30 × 24 インチ、30 × 45cm、60 × 90cm
		PX-9000：A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）、A2、A1、A1 ノビ（24 × 36 インチ）、A0、A0 ノビ（914 × 1292mm）、B4、B3、B2、B1、B1（横）、B0、B0ノビ（1118 × 1580mm）、Letter（8-1/2× 11 インチ）、全紙（18 × 22 インチ）、大全（20 × 24 インチ）、全倍（22 × 36 インチ）、8 × 10 インチ、30 × 24インチ、44 × 36インチ、30 × 45cm、60 × 90cm
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 ～ 0.11mm（用紙重量 64 ～ 90gf/m²）
		その他の用紙種類の場合 • 用紙長さ 279mm 以上 728mm まで：0.08 ～ 1.50mm • 用紙長さ 728mm を超え 1580mm まで：0.08 ～ 0.50mm • 横入れの場合：0.08 ～ 1.50mm まで対応可能（ただし、普通紙および再生紙の単票紙は必ず縦長にセットしてください。）
	フチなし印刷可能幅 （左右フチなし印刷）	PX-7000：8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ
		PX-9000：8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ

- 普通紙および再生紙については、上記仕様の用紙を本機に装着して通紙できますが印字品質保証をするものではありません。
- その他の用紙種類については、上記仕様の用紙が本機に装着できますが通紙保証および印字品質保証をするものではありません。
- ロール紙、単票紙とも、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49 ～ 61Hz
定格電流	PX-7000：0.7A/100V
	PX-9000：0.8A/100V
消費電力	PX-7000：動作時 50W、省電力モード時 11W、電源スイッチオフ時 0.7W
	PX-9000：動作時 55W、省電力モード時 11W、電源スイッチオフ時 0.7W
絶縁抵抗	10MΩ 以上（DC500V にて AC ラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1 分または AC1.2kVrms 1 秒（AC ラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.25mA 以下
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCI クラス B

総合仕様

温度	動作時：10 ～ 35℃
	保存時：-20 ～ 40℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：-20 ～ 60℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露）
	保存時：20 ～ 85%（非結露）
	輸送時：5 ～ 85%（非結露）

プリンタ重量	PX-7000：約 43.5kg
	PX-9000：約 63.5kg（専用スタンド 20.5kg）
プリンタ外形寸法	PX-7000：1,100（幅）× 572（奥行き）× 560（高さ）mm（オプション専用スタンド装着時の高さ 1,250mm）
	PX-9000：1,624（幅）× 717（奥行き）× 1,181（高さ）mm

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A

AppleTalk（アップルトーク）

Macintosh の、ネットワーク用通信規約とそのソフトウェア。

B

Bit（ビット）

コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2 進数（Binary digit」の略。実数を 2 つの数字（0 または 1）で表す。

Byte（バイト）

コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。
1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byte で英数カナ文字 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現する。

C

ColorSync（カラーシンク）

アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh 用のカラーマネジメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を 100% 発揮させるためには、使用する機器とソフトウェアの全てが、ColorSync に対応している必要がある。

CPI（Characters Per Inch/ シーピーアイ）

25.4mm｛1 インチ｝の範囲に印字できる文字数を表す単位。
文字ピッチを示す単位として使う。

D

dpi（dot Per inch/ ディーピーアイ）

解像度の単位で、25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を示す。

DMA（Direct Memory Access）

CPU を介さずに直接メインメモリと周辺装置、あるいは周辺装置内でデータをやりとりする機能。

E

ESC（Escape/ エスケープ）
拡張用の制御コード。次に続くコードと組み合わせて 1 つの機能を実現する。コードの 27（〈1B〉 H）。

ESC/P（EPSON Standard Code for Printer/ イーエスシーピー）
セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

EtherTalk（イーサトーク）
Macintosh を Ethernet（イーサネット）に接続するための、AppleTalk の通信規約。LocalTalk より通信速度が速い。

F

FG 線
プリンタとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続するコード。通常、インターフェイスケーブルに用意されている。

J

JIS（Japanese Industrial Standard/ ジス）
日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

K

KB（Kilo Byte/ キロバイト）
データ量の単位。1KByte=1024 Byte。

M

MB（Mega Byte/ メガバイト）
データ量の単位。1MB=1024 KB=1024 × 1024 Byte。

O

OS
オペレーティングシステム（Operating System）の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。

R

RAM（Random Access Memory/ ラム）
データなどを読み書きできるメモリ。

ROM （Read Only Memory/ ロム）
データなどの読み出し専用のメモリ。

RS-423（アールエス 423）
シリアルインターフェイスの規格の 1 つ。

U

USB（Universal Serial Bus/ ユーエスビー）
中・低速向けのシリアルインターフェイス規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

V

VGA（ヴイジーエー）
もともと、IBM PS/2 のグラフィックス制御用チップの名称で、解像度・色数などのディスプレイへの表示能力を示す。VGA を拡張した SVGA という規格もある。

VGA	640 × 480 ドット 16 色
SVGA	800 × 600 ドット 256 色 1024 × 768 ドット 256 色

* コンピュータのグラフィックアクセラレータの性能により、更に高解像度・多色表示が可能。

数字

16 進数
16 進法で用いる英数字。一般的には、0 ～ 9 まではそのままの数字で、10 ～ 15 は A ～F で表す。

アイウエオ

ア

アイコン
コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類 , フォルダなどを象徴する図柄。

圧縮（データ圧縮）
1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。（これを「解凍」と言う。）

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。
ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

イ

インクカートリッジ
印刷用のインクが入った容器。

インクジェットプリンタ
プリントヘッドのノズル部分からインクを用紙に吹きつけて印刷するプリンタ。

インストーラ
CD-ROM やフロッピーディスクで供給されるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに、使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

印刷領域
印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2 ページにまたがって印刷される。

インターフェイス
異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード
プリンタに標準装備されているインターフェイス（本機の場合は、「パラレル」と「USB」）以外に、更にインターフェイスを増やしたい場合にプリンタに取りつけるカード。目的に合わせてさまざまなカードが用意されている。

インターフェイスケーブル
プリンタとコンピュータを接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

インチ
長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

オ

オプション
本書では、別売りのプリンタ関連用品を意味する。

カ

改行
印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度
画質の細かさを表す指標で、一般に dpi（dot Per inch; 25.4mm{1 インチ} あたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、データの容量も多くなり印刷に時間がかかる。

解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改頁
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

カラーマッチング
原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ

キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整
黒 / カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。

キャリッジ
プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

給紙
セットされている用紙をページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

グラフィックアクセラレータ
Windows や Macintosh が動作するパソコンにおいてグラフィックス表示を高速化する専用ビデオアダプタ。

クリック
マウスのボタンを“カチッ”と 1 回押すこと。

クリーニング
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

コ

コントロールコード
プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。

シ

充てん
プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値
電源スイッチをオンしたときに選択される設定。

初期動作
電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップ。

シリアルインターフェイス
データを 1 ビットずつ転送するインターフェイス。

セ

セルフクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

タ

ダウンロード
ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

ダブルクリック
マウスのボタンを、速い操作で 2 回連続して“カチカチッ”と押すこと。

チ

チェックボックス
ダイアログボックスやウィンドウ内で、項目（機能）の有効 / 無効を指定するための四角いマーク。クリックで有効⇔無効を切り替える。有効の場合は四角の中に×や 4 が表示され、無効の場合は四角の中が空白になっている。

テ

ディレクトリ
大量のファイルを整理および管理するために考え出された概念。ディレクトリ名は、記憶装置（ハードディスクや CD-ROM など）のどこにファイルが記憶されているかを示す「住所」のような働きをする。

デバイス
CPU に接続する全てのハードウェア装置の意味。

ト

ドライブ
CD-ROM、ハードディスク、フロッピーディスクなどの駆動装置。Windows の場合、管理のために各ドライブにアルファベットを割り振りドライブ名としている。

ノ

ノズル
インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

ノズルチェックパターン
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ

排紙
用紙をプリンタから排出すること。

バッファ
コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

パラレルインターフェイス
データ転送を8ビットずつ行う転送方式のインターフェイス。

フ

フォーマット
ハードディスクやフロッピーディスクなどを利用するOSに合わせて初期化すること。

フォルダ
ディレクトリと同義語。画面上ではディレクトリと言わずフォルダと呼ばれる場合が多い。

フォント（書体）
字体のこと。明朝体・ゴシック体などがある。

プラグアンドプレイ
Windows 95/98で提供される、コンピュータにハードウェア（プリンタなど）を接続するだけで自動的に動作環境が設定されてすぐに使用可能状態になる機能。

プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

プリントヘッド
用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

ヘ

ページ先頭位置
用紙の一番初めに印刷される位置。

ホ

ポイント
マウスカーソルをメニューの項目に合わせることで、クリックをしなくてもその先の階層メニューが自動的に表示される。

ポート
プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。

マ

マージン

余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域を言う。

マイクロウィーブ機能

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ

メモリ

情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持するROM（Read Only Memory ー読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納するRAM（Random Access Memory ー読み書き可能メモリ）などがある。

ラ

ラジオボタン

ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から1つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

索引

数字

C

D

E

I

S

U

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

め

も

ゆ

よ

り

れ

ろ

改訂履歴

Rev. / Ver.	日付	ページ	改訂内容
Rev. 00	2002.3.28	ALL	新版
Rev. 01	2002.9.5	表 1	Rev. 01 に変更
		50	③用紙送り補正値　単位追加
		115	③用紙送り補正値　単位追加
		167	スピンドルの表
		168	ご注文方法、お届け方法、お支払い方法、送料、消耗品カタログの送付　修正
		227	電気関係仕様　修正
Rev. 02	2002.11.22	表 1	Rev. 02 に変更
		166	PM90SPB→PX90SPB に変更
		195	PM90SPB→PX90SPB に変更